

令和元年度

主要な施策の成果について

1 一般会計施策別決算状況

(単位 千円)

政策名	施策名	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	対前年度比較 (A)-(B)
いきいきと人が輝くまちづくり	子育て環境の充実	5,315,804	4,961,306	354,498
	学校教育の推進	2,392,827	1,491,119	901,708
	生涯学習の推進	710,456	991,709	△ 281,253
	生涯スポーツの推進	460,223	318,532	141,691
	文化芸術の振興と継承	1,036,795	806,676	230,119
笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	地域医療体制・制度の充実	2,352,500	2,363,959	△ 11,459
	健康づくりの推進	456,027	424,378	31,649
	高齢者福祉の推進	1,229,527	1,172,873	56,654
	障がい者福祉の推進	1,601,869	1,551,425	50,444
	福祉ネットワークの推進	1,613,313	1,369,504	243,809
安全に安心して暮らせるまちづくり	地域コミュニティ活動の推進	60,645	67,396	△ 6,751
	防災・減災対策の推進	2,303,112	1,481,648	821,464
	暮らしの安全対策の推進	190,148	251,853	△ 61,705
	公共交通網の充実	136,597	146,626	△ 10,029
環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	道路環境の整備	859,891	824,698	35,193
	住環境整備の推進	436,473	392,007	44,466
	水道水の安定供給	96,813	16,546	80,267
	生活排水対策の推進	1,184,932	1,028,369	156,563
	環境の保全と循環型社会の形成	4,261,294	5,672,825	△ 1,411,531
活力とにぎわいあふれるまちづくり	雇用の創出と雇用環境の充実	1,526,902	131,075	1,395,827
	農林業の振興	2,259,764	3,139,952	△ 880,188
	商工業の振興	374,870	679,334	△ 304,464
	観光振興と交流促進	267,356	285,871	△ 18,515
計画実現のための行政経営の更なる推進	持続可能な行政経営の推進	4,020,840	5,296,611	△ 1,275,771
	効果的で効率的な事務の執行	867,801	4,379,002	△ 3,511,201
	開かれた行政の推進	127,331	114,231	13,100
その他	人件費	4,261,186	4,493,404	△ 232,218
計		40,405,296	43,852,929	△ 3,447,633

2 歳入歳出決算書事務事業対照表

(1)一般会計

掲載事業 173事業

政策	施策	基本事項	事務事業名	担当	掲載ページ	決算書ページ
1 いきいきと人が輝くまちづくり						
1 子育て環境の充実						
1 幼児教育・保育の充実【重点】						
			保育所管理運営事業	こども課	9	209
			私立認可保育所一時保育促進補助事業	こども課	10	213
			保育所整備補助事業	こども課	11	215
			保育所5歳児保育料給付事業	こども課	12	215
			保育所保育料給付事業	こども課	13	215
			病児保育補助事業	こども課	14	215
			保育所施設改修事業	こども課	15	217
			保育所トイレ洋式化事業	こども課	16	217
			こども園管理運営事業	こども課	17	219
			こども園5歳児保育料給付事業	こども課	18	223
			こども園保育料給付事業	こども課	19	223
			こども園施設改修事業	こども課	20	223
			こども園トイレ洋式化事業	こども課	21	223
			幼稚園管理運営事業	こども課	22	421
			幼稚園トイレ洋式化事業	こども課	23	425
			幼稚園施設改修事業	こども課	24	425
			幼稚園型一時保育促進補助事業	こども課	25	425
			私立幼稚園就園奨励事業	こども課	26	427
			幼稚園5歳児授業料給付事業	こども課	27	427
			幼稚園授業料給付事業	こども課	28	427
			親子ふれあいブックスタート事業	中央図書館	29	451
2 放課後の居場所づくり						
			児童クラブ館管理運営事業	こども課	30	225
			児童クラブ館管理運営委託事業	こども課	31	227
			児童クラブ館施設改修事業	こども課	32	229
			うつみね児童クラブ館移転整備事業	こども課	33	229
3 多様な子育てニーズへの対応【重点】						
			すくすく赤ちゃん応援事業	こども課	34	205
			子ども・子育て支援事業	こども課	35	205
			子育て世代包括支援事業	こども課	36	205
			子育て支援センター運営事業	こども課	37	217
			ファミリーサポートセンター運営委託事業	こども課	38	217
			ひとり親家庭医療費助成事業	こども課	39	233
			こども医療費助成事業	こども課	40	235
			こどもセンター運営事業	市民交流センター企画課	41	235
4 妊産婦と子どもの健康管理						
			子育て世代包括支援センター運営事業	健康づくり課	42	243
			妊娠・出産包括支援事業	健康づくり課	43	245
			妊婦一般健康診査事業	健康づくり課	44	245
			任意予防接種費用助成事業	健康づくり課	45	265
5 家族形成の支援						
			結婚新生活支援補助事業	こども課	46	127
			特定不妊治療費助成事業	健康づくり課	47	249

政策	施策	基本事項	事務事業名	担当	掲載ページ	決算書ページ
2 学校教育の推進						
1 確かな学力の育成【重点】						
			英語指導助手招致事業	学校教育課	48	395
			小中一貫教育推進事業	学校教育課	49	397
			学校図書館教育推進事業	学校教育課	50	399
			教育研修センター管理運営事業	学校教育課	51	401
			小学校英語活動推進事業	学校教育課	52	407
			実用英語技能検定支援事業	学校教育課	53	419
2 心の教育の推進						
			心の教室相談員支援事業	学校教育課	54	395
			いじめ不登校対策事業	学校教育課	55	399
4 開かれた学校づくりの推進						
			部活動支援事業	学校教育課	56	417
6 教育環境の計画的整備の推進						
			稲田小校舎改築事業	教育総務課	57	411
			阿武隈小校舎大規模改修事業	教育総務課	58	411
			西袋第一小校舎増築事業	教育総務課	59	411
			小学校トイレ洋式化事業	教育総務課	60	411
			阿武隈小給食室改築事業	学校教育課	61	413
			中学校トイレ洋式化事業	教育総務課	62	421
			第三中特別教室棟屋上防水改修事業	教育総務課	63	421
3 生涯学習の推進						
1 多様な学習や活動機会の充実						
			市民交流センター生涯学習推進事業	市民交流センター企画課	64	435
4 公民館機能の充実						
			若者交流応援事業	公民館	65	447
5 生涯学習施設環境の充実						
			稲田公民館改築事業	生涯学習スポーツ課	66	459
			岩瀬公民館移転整備事業	生涯学習スポーツ課	67	459
			公民館改修事業	生涯学習スポーツ課	68	459
4 生涯スポーツの推進						
1 スポーツ活動の推進						
			競技スポーツ推進事業	生涯学習スポーツ課	69	473
			スポーツ振興イメージアップ事業	生涯学習スポーツ課	70	473
			円谷幸吉メモリアルマラソン大会補助事業	生涯学習スポーツ課	71	475
2 スポーツ施設環境の充実						
			マレットゴルフ場整備事業	生涯学習スポーツ課	72	477
			須賀川地域体育施設改修事業	生涯学習スポーツ課	73	477
			長沼体育館改修事業	生涯学習スポーツ課	74	479
			岩瀬地域体育施設管理運営事業	いわせ悠久の里管理センター	75	479
5 文化芸術の振興と継承						
1 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進						
			文化センター耐震補強事業	文化振興課	76	459
			(仮称)文化創造伝承館整備事業	文化振興課	77	459
			文化センター自主事業	文化センター	78	465
2 特撮文化拠点都市の構築・発信【重点】						
			須賀川特撮アーカイブセンター整備事業	文化振興課	79	461
			円谷英二ミュージアム管理運営事業	市民交流センター企画課	80	469
3 文化芸能の継承						
			俳句振興事業	文化振興課	81	439
			松尾芭蕉来訪330周年記念事業	文化振興課	82	469

政策	施策	基本事項	事務事業名	担当	掲載ページ	決算書ページ
2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり						
1 地域医療体制・制度の充実						
1 充実した地域医療の確保【重点】						
			公立岩瀬病院企業団分賦金(不採算医療周産期分)	健康づくり課	83	249
			地域医療対策事業	健康づくり課	84	251
			寄附講座設置事業	健康づくり課	85	251
2 救急医療体制の充実【重点】						
			地域医療医師業務負担軽減支援補助事業	健康づくり課	86	251
			保健環境組合分担金(休日夜間急病診療所分)	健康づくり課	87	275
2 健康づくりの推進						
1 病気の予防と早期発見・早期治療の推進【重点】						
			基本健康診査事業	健康づくり課	88	255
			後期高齢者健康診査事業	健康づくり課	89	255
			特定健康診査事業	健康づくり課	90	255
			特定保健指導事業	健康づくり課	91	257
			糖尿病性腎症重症化予防事業	健康づくり課	92	257
			がん検診事業	健康づくり課	93	257
			骨粗しょう症検診事業	健康づくり課	94	259
			YOU悠ドック事業	健康づくり課	95	259
			健康づくり推進活動事業	健康づくり課	96	259
			健康長寿推進事業	健康づくり課	97	261
			成人予防接種推進事業	健康づくり課	98	267
3 高齢者福祉の推進						
1 地域包括ケアシステムの推進【重点】						
			高齢者緊急通報システム事業	長寿福祉課	99	191
			認知症高齢者GPS機器貸与事業	長寿福祉課	100	193
2 介護予防と社会参加の促進						
			運動器具設置推進事業	長寿福祉課	101	197
4 介護保険制度の適正な運営						
			小規模多機能型居宅介護事業所整備等補助事業	長寿福祉課	102	195
4 障がい者福祉の推進						
2 障がい福祉サービスの充実と社会参加の促進						
			重度心身障がい者医療費助成事業	社会福祉課	103	173
			障がい者福祉サービス給付事業	社会福祉課	104	175
			重度心身障がい者タクシー料金及び自動車燃料費助成事業	社会福祉課	105	179
			人工透析患者通院交通費助成事業	社会福祉課	106	181
5 福祉ネットワークの推進						
1 地域による福祉活動の充実【重点】						
			須賀川市社会福祉協議会補助事業	社会福祉課	107	183
			心配ごと相談等委託事業	社会福祉課	108	183
			ボランティアセンター運営委託事業	社会福祉課	109	183
2 生活困窮者への自立支援						
			生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	110	183
99 施策の総合推進(福祉ネットワークの推進)						
			包括的相談支援体制構築事業	社会福祉課	111	185

政策	施策	基本事項	事務事業名	担当	掲載ページ	決算書ページ
3 安全に安心して暮らせるまちづくり						
1 地域コミュニティ活動の推進						
1 自治会活動の活性化【重点】						
			自治会活動促進事業	企画政策課	112	135
			地域コミュニティ活性化推進事業	企画政策課	113	135
			集会施設整備補助事業	企画政策課	114	135
			コミュニティ助成事業	企画政策課	115	135
2 市民活動の推進【重点】						
			市民活動サポートセンター運営事業	市民交流センター企画課	116	135
2 防災・減災対策の推進						
1 地域防災力の向上【重点】						
			消防団管理運営事業	市民安全課	117	379
			消防施設整備事業	市民安全課	118	381
			消防自動車等整備事業	市民安全課	119	381
			防災体制推進事業	市民安全課	120	383
3 治水・浸水対策の推進						
			準用河川笹平河川河川改良事業(補助)	道路河川課	121	363
3 暮らしの安全対策の推進						
2 交通安全施設の整備						
			交通安全施設整備事業(補助)	道路河川課	122	361
			交通安全施設整備事業(単独)	道路河川課	123	361
4 犯罪に強い地域づくり						
			防犯灯設置事業	市民安全課	124	141
4 公共交通網の充実						
2 公共交通の利便性向上						
			乗合タクシー運行事業	市民安全課	125	143
			循環バス運行事業	市民安全課	126	145
4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり						
1 道路環境の整備						
1 道路の整備						
			道路整備事業(補助)	道路河川課	127	359
			道路整備事業(単独)	道路河川課	128	359
2 道路維持管理の推進						
			道路等側溝堆積物処理事業(補助)	道路河川課	129	357
3 橋りょう長寿命化の推進						
			橋りょう修繕事業(補助)	道路河川課	130	359
2 住環境整備の推進						
1 適切な土地・建物の利用推進						
			牡丹台アメニティゾーン整備事業	都市計画課	131	375
3 安全で快適な公園緑地化の推進						
			公園施設長寿命化対策事業(補助)	都市計画課	132	373
			公園施設長寿命化対策事業(単独)	都市計画課	133	375
4 良好な都市景観の創出・維持						
			空家対策事業	建築住宅課	134	353
			駅西地区東西幹線道路整備事業(補助)	都市計画課	135	365
			駅西地区東西幹線道路整備事業(単独)	都市計画課	136	367
			駅西地区都市再生整備事業(補助)	都市計画課	137	367
			駅西地区都市再生整備事業(単独)	都市計画課	138	367
4 生活排水対策の推進						
1 生活排水処理施設の整備						
			合併処理浄化槽設置整備補助事業	下水道施設課	139	269
3 処理場・下水道管の適切な維持管理						
			合併処理浄化槽維持管理事業	下水道施設課	140	269
5 環境の保全と循環型社会の形成						
1 低炭素社会の推進						
			再生可能エネルギー等利用推進事業	環境課	141	271
5 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進						
			資源回収実施団体奨励金等支給事業	環境課	142	283

※政策4 施策3「水道水の安定供給」の掲載事業はありません。

政策	施策	基本事項	事務事業名	担当	掲載ページ	決算書ページ
5 活力とにぎわいあふれるまちづくり						
1 雇用の創出と雇用環境の充実						
1 企業誘致の推進【重点】						
			企業誘致推進事業	商工課	143	335
			工場等立地奨励金補助事業	商工課	144	335
2 雇用の確保【重点】						
			須賀川地区就職ガイダンス開催事業	商工課	145	287
			合同就職面接会開催事業	商工課	146	287
			ふるさとすかがわ回帰支援事業	商工課	147	289
			外国人労働者交流促進事業	商工課	148	289
2 農林業の振興						
2 農林業生産環境の整備・保全						
			産地パワーアップ補助事業	農政課	149	309
			農業系汚染廃棄物処理事業	農政課	150	311
			農業用施設保全等支援補助事業	農政課	151	315
			農業水利施設等保全再生基金事業	農政課	152	317
			ふくしま森林再生事業	農政課	153	323
3 農業経営の安定確保						
			水田フル活用推進事業	農政課	154	299
4 特産農産物の生産振興【重点】						
			地域特産物育成補助事業	農政課	155	305
			特産品開発事業	農政課	156	305
5 特産農産物の販売促進						
			農産物ブランド化推進事業	農政課	157	307
			農産物PR事業	農政課	158	307
3 商工業の振興						
1 商業の振興【重点】						
			商店街にぎわい補助事業	商工課	159	325
			創業支援事業	商工課	160	325
			クラウドファンディング活用支援補助事業	商工課	161	-
			地域ブランド力活用事業	商工課	162	327
			ふるさと商品販路開拓支援事業	商工課	163	327
2 工業の振興【重点】						
			工業製品認定事業	商工課	164	329
			産業会館トイレ洋式化事業	商工課	165	347
3 中心市街地の活性化						
			まちなか活性化推進事業	商工課	166	331
4 観光振興と交流促進						
1 観光誘客の推進【重点】						
			観光誘客推進事業	観光交流課	167	337
			ウルトラマン関連事業	観光交流課	168	339
			インバウンド対策事業	観光交流課	169	341
			地域おこし協力隊活用事業	観光交流課	170	343
2 都市間交流・国際交流の推進						
			都市間交流推進事業	観光交流課	171	345
			国際交流推進事業	観光交流課	172	347
			体験型交流推進事業	観光交流課	173	347
			旅行商品企画助成事業	観光交流課	174	347

政策	施策	基本事項	事務事業名	担当	掲載ページ	決算書ページ
計画実現のための行政経営の更なる推進						
1 持続可能な行政経営の推進						
5 自主財源の確保						
			ふるさと納税推進事業	税務課	175	147
			納税コールセンター運営事業	収納課	176	153
99 施策の総合推進(持続可能な行政経営の推進)						
			新庁舎建設事業	行政管理課	177	137
2 効果的で効率的な事務の執行						
1 ITの適切な管理						
			基幹系システム管理事業	行政管理課	178	111
99 施策の総合推進(効果的で効率的な事務の執行)						
			市民交流センター維持管理事業	市民交流センター総務課	179	139
3 開かれた行政の推進						
1 広報活動の充実						
			広報紙発行事業	秘書広報課	180	121
			市政情報発信事業	秘書広報課	181	121

(2) 特別会計

掲載 特別会計	8会計
------------	-----

特別会計名	担当	掲載ページ	決算書ページ
市営墓地事業	環境課	182	2
下水道事業	経営課	183	4
農業集落排水事業	経営課	184	6
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	経営課	185	8
国民健康保険	保険年金課	186	18
介護保険	長寿福祉課	187	22
介護保険在宅医療介護連携推進事業	長寿福祉課	188	171
介護保険認知症初期集中支援推進事業	長寿福祉課	189	171
後期高齢者医療	保険年金課	190	26
勢至堂簡易水道事業	水道施設課	191	30

※表中の担当欄は、令和2年4月1日の行政組織改編後の担当課を表示しています。

事務事業評価表の見方

事務事業名称

開始年度	終了年度	事業番号	担当部
会計		キーコード	担当課
款	終了年度…事務事業の終了年度が決まっている場合に記載しています。	政策	政策・施策・基本事項…第8次総合計画の体系を記載しています。
項		施策	
目		基本事項	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
対象…事務事業を通して働きかける人、団体又は場所などを記載しています。	手段…当該年度に行った事務事業の取組内容や手順などを具体的に記載しています。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
意図…事務事業の実施により、対象をどのような状態にしたいのかを記載しています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名	単位	年度		
		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	活動指標 …事務事業の意図を達成するために、市が何をどれだけ行ったかを測るものさしです。 成果指標 …事務事業の意図がどこまで達成されたかを測るものさしです。成果指標を設定するのが難しく、代替的に設定している場合は、指標名の前に(代替)と記載しています。			
成果指標				
特財情報	事業費合計	事業費 …財源内訳ごとに千円単位で記載しています。(事業費合計は、千円未満四捨五入) 「その他」欄には、基金繰入金や使用料など他の欄に該当しない財源をまとめています。		
特定財源 …用途が特定された財源の場合、財源名称と補助率等を記載しています。	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	成果状況 …事務事業の成果指標値の動向を前年度実績との比較により選択しています。 成果向上余地 …成果指標値の向上余地がどの程度見込まれるかを選択しています。 評価コメント …成果状況、成果向上余地について、当該年度の状況、その原因、余地に沿ってそれぞれ評価結果を記載しています。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text"/>	活動進捗状況 …事務事業の当初計画がどの程度達成できたかを次の中から選択しています。 <input type="checkbox"/> 非常に順調 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延 <input type="checkbox"/> 不調・遅延 評価コメント …一部停滞・遅延や不調・遅延の場合、その事由を記載しています。
◆備考 <input type="text"/>	

3 事務事業評価表

保育所管理運営事業

開始年度		終了年度		事業番号	30267	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	250	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	03 保育所費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立保育所入所児童とその保護者	公立保育所の管理運営を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所数 7か所（第一、第二、第三、うつみね、ぼたん、長沼、長沼東保育所） ・通常保育 平日、土曜日7:30～18:30 ・延長保育 7:00～7:30、18:30～19:00 ・保育料 0円～73,000円（月額）（市民税課税状況及び入所児童の年齢により算出）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
保育サービスの充実や施設の適切な維持管理により、安心して保育を受けることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容 入所申込の受付審査、入所調整等 ・運営方法 すべて直営 ・維持管理方法 施設の点検、修繕、清掃等の委託等

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度				
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	運営費	千円	89,303	77,882	83,213		
成果指標	待機児童数	人	11	20	28		
	保育所での維持管理上の事故件数	件	0	0	0		
特財情報		事業費合計	千円	324,216	310,598	312,806	
保育料 延長保育料 保育所等運営費他市町村負担金（広域入所負担金） 日本スポーツ振興センター 共済掛金保護者負担金 民生費寄付金	事業費	国支出金	千円			0	
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円	99,205	93,517		67,831
		一般財源	千円	225,011	217,081		244,975

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）待機児童数は28人で、前年度と比較し8人増加しました。維持管理上の事故はありませんでした。 （原因）子どもの数は減少していますが、核家族化の進行や就労形態の多様化に伴い、保育所等に子どもを預けたい世帯が増加しているためです。また、事故件数0件は、施設の維持管理を適切に実施しているためです。 （余地）待機児童数は、施設整備や保育士の確保により減らすことができることから、成果向上の余地が大きいと考えます。また、維持管理上の事故件数は、施設の維持や修繕を適切に実施することで未然に防ぐことができると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

私立認可保育所一時保育促進補助事業

開始年度	2003 (H15) 年度	終了年度		事業番号	30273	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	257	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	03 保育所費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
私立認可保育所	一時保育を行っている私立の認可保育所等に対し、年間の延べ利用人数に応じて補助金を交付します。 <補助金単価> 一般型年間1,600～10,223千円（年間延べ利用人数による） 余裕活用型2,400円（児童1人あたり日額） <実施施設> ・私立保育所等4施設（オリーブの木、柏城保育園、くるみの木、天泉こども園） ・小規模保育施設3施設（アップル第二保育園、虹色保育園、これの木保育園）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
一時保育の受入れが促進され、子育て家庭が支援されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	9,777	9,533	8,235	
成果指標	一時保育年間延べ利用人数	人	2,388	1,349	581	
特財情報		事業費合計	千円	9,777	9,533	8,788
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3)	事業費	国支出金	千円	3,259	3,177	2,745
		県支出金	千円	3,259	3,177	2,745
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	3,259	3,179	3,298

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）一時保育年間延べ利用人数は581人で、前年度と比較し768人減少しましたが、需要に合わせて必要な方には提供できており、成果状況は維持されています。 （原因）保育所等に入所する児童の増加により、一時保育を利用する児童の数が減少したことが影響していると思われます。 （余地）一時保育に対する一定の需要はありますが、今後の施設の通常保育の入所児童数の増加や保育士数の増減といった受入環境により入所児童が増減し、一時保育の利用人数は横ばいとなる見込みであることから、成果向上の余地は小さいと考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

保育所整備補助事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2022 (R4) 年度	事業番号	31164	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1718	担当課	こども課
款	03 民生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施策	01	子育て環境の充実	
目	03 保育所費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
保育園舎を整備する補助対象事業者	<p>保育園舎の新築に要する費用の3分の2を国または県が、12分の1を市が補助します。</p> <p><安心こども基金特別対策事業（県補助事業）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備箇所 市内南上町地内 ・整備施設 小規模保育施設にれの木保育園 ・定員数 19人
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
園舎の新設により、乳幼児の受入れ定員数が増加します。	<p><保育所等整備事業（国庫補助事業）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備箇所 市内大町地内 ・整備施設（仮称）保育所イマジン ・定員数 60人

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	補助金額	千円			46,931
成果指標	増加定員数	人			19
特財情報		事業費合計	千円		46,931
保育所等整備国庫交付金 (2/3) 安心こども基金特別対策事業費 県補助金 (2/3)	事業費	国支出金	千円		12,946
		県支出金	千円		28,771
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		5,214

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）にれの木保育園の新築工事が令和元年5月31日に完了し、7月1日に開園しました。その結果、定員が19名増加しました。（仮称）保育所イマジンの令和元年度に予定していた10%分の工事は、令和2年3月31日に完了しました。 （原因）工期どおりに完了したためです。 （余地）令和2年2月に着工した（仮称）保育所イマジンの令和2年度90%分の工事は、令和3年2月末に完了し、令和3年4月に開園予定であるため、さらなる定員の増加が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

保育所5歳児保育料給付事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30277	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1643	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	03 保育所費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認可外保育施設、事業所内保育施設に通う5歳児とその保護者	認可外保育施設、事業所内保育施設に通う5歳児の保育料を無償化するため、市が保育料を給付します。 ＜給付限度額＞ ・認可外保育施設 月額35,000円/人 ・事業所内保育施設 月額15,000円/人
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校就学前の児童が等しく幼児教育を受けられることで、小学校教育へスムーズに移行することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	給付児童数	人	13	22	20	
成果指標	保育料給付率	%	2.0	3.5	3.1	
	教育・保育施設に通う5歳児の割合	%	99.4	97.9	98.9	
特財情報		事業費合計	千円	3,815	8,431	3,646
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	3,815	8,431	3,646

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）市内の5歳児のうち教育・保育施設に通う割合は98.9%で、前年度と比較し1.0ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいです。そのうち、認可外保育施設等に通う5歳児へ保育料を給付する割合は3.1%で、前年度と比較し0.4ポイント減少しましたが、ほぼ横ばいです。 （原因）認可外保育施設等に対するニーズが一定程度あるため、給付費も維持されていると考えられます。 （余地）令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、本事業は令和元年9月末で終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、市独自の本事業は令和元年9月末で終了となりました。

保育所保育料給付事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31361	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1834	担当課	こども課
款	03 民生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施策	01	子育て環境の充実	
目	03 保育所費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認可外保育施設、事業所内保育施設、小規模保育施設、私立認可保育所に通う児童とその保護者	認可外保育施設、事業所内保育施設、小規模保育施設、私立認可保育所に通う児童の保育料、給食費を無償化するため、市が保育料等を給付します。 <対象児童・給付限度額> ・3歳から5歳までの全ての児童 認可外保育施設・事業所内保育施設は保育料（月額37,000円）＋給食費（月額5,300円） 私立認可保育所は保育料（全額）＋主食費（月額800円）＋副食費（月額4,500円） ・0歳から2歳までの市民税非課税世帯の児童 認可外保育施設・事業所内保育施設は保育料（月額42,000円）、小規模保育施設・私立認可保育所は保育料（全額） ※延長保育料及び市徴収の保育料は給付対象外
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
全ての児童に質の高い幼児教育を保障するため、保護者負担の軽減が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	給付児童数	人			191
成果指標	保育料給付率	%			9.8
	教育・保育施設に通う3歳から5歳児の割合	%			97.3
特財情報		事業費合計	千円		20,766
教育・保育施設給付費国庫負担金 (1/2) 教育・保育施設給付費県負担金 (1/4) 施設等利用給付費国庫負担金 (1/2) 施設等利用給付費県負担金 (1/4)	事業費	国支出金	千円		8,200
		県支出金	千円		4,100
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		8,466

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市内の3歳から5歳児のうち教育・保育施設に通う割合は97.3%です。そのうち、認可外保育施設等に通う3歳から5歳児へ保育料等を給付する割合は9.8%です。 （原因）認可外保育施設等に対するニーズが一定程度あるためです。 （余地）多様な教育・保育ニーズがあるため、認可外保育施設等へ通う3歳から5歳児は一定程度見込まれることから、向上の余地はあると考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

病児保育補助事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31295	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1784	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	03 保育所費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
保護者が就労している小学6年生までの病後児または体調不良児	病後児対応型保育、体調不良児対応型保育を行う事業者に対して補助金を交付します。 <病後児対応型> ・補助基準額 7,391千円 ・補助率 国1/3、県1/3 ・対象施設 1施設
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<体調不良児対応型> ・補助基準額 4,472千円 ・補助率 国1/3、県1/3 ・対象施設 2施設
病院や保育所等の専用スペースで安全に保育されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	病児保育事業補助金額	千円		8,742	8,944
成果指標	病児保育の利用延べ児童数	人		669	636
特財情報		事業費合計	千円	8,742	8,944
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3)	事業費	国支出金	千円	2,914	2,981
		県支出金	千円	2,914	2,981
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	2,914	2,982

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）体調不良児対応型の2施設における利用延べ児童数は636人で、前年度と比較し33人減少しましたが、需要に合わせて必要な方に提供できており、成果状況は維持されています。 （原因）体調不良児対応型の2施設において、平均して各施設1日当たり1人以上が利用したためです。 （余地）市内全域の子どもを対象とした病後児対応型施設が設置されることにより、利用児童数が増加し、成果の向上が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	病後児対応型施設の設置について、関係機関との協議に時間を要したため年度内の設置が困難となりました。

◆備考

--

保育所施設改修事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31180	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1695	担当課	こども課
款	03 民生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施策	01	子育て環境の充実	
目	03 保育所費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立保育所	公立保育所の老朽化等に伴い、耐震診断及び修繕が必要な箇所の改修工事等を行います。 <事業概要> ・耐震診断 第三、うつみね、ぼたん保育園 ・屋根改修工事 長沼保育所 ・空調設備整備工事 第一、第三、長沼保育所 ・高圧気中開閉器更新工事 第二、長沼、白鳩保育園
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公立保育所の修繕や改修を行うことにより、施設の機能が維持できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円		77,117	53,666
成果指標	改修等実施箇所数	箇所		5	6
特財情報		事業費合計	千円	77,117	53,665
社会資本整備総合国庫交付金 (1/3) 公共施設等整備基金繰入金	事業費	国支出金	千円		1,548
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円	67,299	49,021
		一般財源	千円	9,818	3,096

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）令和元年台風第19号により第一保育所が被災し、予定した工事ができませんでしたが、その他の工事は予定通り実施しました。 （原因）関係者との緊密な協議・調整により、施設改修等が順調に進捗したためです。 （余地）実施箇所数は年度により増減しますが、計画的に実施することで、施設の機能の安定的な維持が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

保育所トイレ洋式化事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31185	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1699	担当課	こども課
款	03 民生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施策	01	子育て環境の充実	
目	03 保育所費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立保育所	公立保育所のトイレ洋式化工事を行います。 <全体計画> 2018 (H30) 年度 設計業務委託（第一、第二、第三、うつみね、ぼたん、長沼保育所） 改修工事（ぼたん、うつみね、長沼保育所）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	2019 (R1) 年度 改修工事（第一、第二、第三保育所）
公立保育所のトイレを洋式化することにより、和式に慣れていない幼児も安心して利用できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円		31,211	38,849	
成果指標	洋式化した便器数	基		19	19	
特財情報		事業費合計	千円	31,211	38,849	
児童福祉施設整備事業債		国支出金	千円		0	
		県支出金	千円		0	
		地方債	千円		24,900	31,000
		その他	千円			0
		一般財源	千円		6,311	7,849

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）令和元年台風第19号により被災した第一保育所以外の洋式化する便器数は19基で、すべて予定どおり改修しました。 （原因）関係者との協議・調整を緊密に実施し、改修が順調に進捗したためです。 （余地）本事業は令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

こども園管理運営事業

開始年度		終了年度		事業番号	30286	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	265	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	04 こども園費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
こども園入園児童	<p>公立こども園の管理運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園数 3か所（白方、白江、大東こども園） ・通常保育 保育認定 平日、土曜日 7:30～18:30 教育認定 平日 8:30～13:30 ・延長保育 7:00～7:30、18:30～19:00 ・預かり保育 7:30～8:30、13:30～18:30 ・保育料 0円～73,000円（月額）（市民税課税状況及び入園児童の年齢により算出）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
安心して保育・教育を受けることができ、子育て家庭が支援されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容 入園申込の受付審査、入園調整等 ・運営方法 すべて直営 ・維持管理方法 施設の点検、修繕、清掃等の委託等

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	運営費	千円	53,567	52,517	51,480	
成果指標	待機児童数	人	11	20	28	
	こども園での維持管理上の事故件数	件	0	0	0	
特財情報		事業費合計	千円	169,522	172,033	187,041
保育料 子ども・子育て支援事業費 国庫補助金(1/3) 子ども・子育て支援事業費 県補助金(1/3) 保育所等運営費他市町村負担金(広域入所負担金) 日本スポーツ振興センター 共済掛金保護者負担金 利用者負担金 職員給食賄材料費負担金	事業費	国支出金	千円	2,597	2,703	3,865
		県支出金	千円	2,597	2,703	3,324
		地方債	千円			0
		その他	千円	56,846	58,569	49,354
		一般財源	千円	107,482	108,058	130,498

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）待機児童数は28人で、前年度と比較し8人増加しました。維持管理上の事故はありませんでした。 （原因）子どもの数は減少していますが、核家族化の進行や就労形態の多様化に伴い、保育所等に子どもを預けたい世帯が増加しているためです。 また、事故件数0件は、施設の維持管理を適切に実施しているためです。
【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（余地）待機児童数は、施設整備や保育士の確保により減らすことができることから、成果向上の余地が大きいと考えます。また、維持管理上の事故件数は、施設の維持や修繕を適切に実施することで未然に防ぐことができると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

こども園5歳児保育料給付事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30290	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1641	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	04 こども園費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
私立認定こども園に通う5歳児とその保護者	私立認定こども園に通う5歳児の保育料を無償化するため、市が保育料を給付します。 <給付限度額> ・月額32,000円/人
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校就学前の児童が等しく幼児教育を受けられることで、小学校教育へスムーズに移行することができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	給付児童数	人	271	250	254	
成果指標	保育料給付率	%	42.3	40.0	39.6	
	教育・保育施設に通う5歳児の割合	%	99.4	97.9	98.9	
特財情報						
		事業費合計	千円	60,049	60,066	33,756
	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	60,049	60,066	33,756

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）市内の5歳児のうち教育・保育施設に通う割合は98.9%で、前年度と比較し1.0ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいです。そのうち、私立認定こども園に通う5歳児へ保育料を給付する割合は39.6%で、前年度と比較し0.4ポイント減少したものの高い割合となっています。 （原因）市内私立保育所・幼稚園の多くが認定こども園へ移行したため、私立認定こども園へ通う割合が高く、給付率も高くなっています。 （余地）令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、本事業は令和元年9月末で終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、市独自の本事業は令和元年9月末で終了となりました。

こども園保育料給付事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31362	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1835	担当課	こども課
款	03 民生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施策	01	子育て環境の充実	
目	04 こども園費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
私立認定こども園に通う児童とその保護者	私立認定こども園に通う児童の保育料、給食費を無償化するため、市が保育料等を給付します。 <対象児童> 3歳から5歳までの全ての児童 0歳から2歳までの市民税非課税世帯の児童 <給付限度額> 保育料（全額。延長保育料は対象外） 1号認定 主食費＋副食費（月額400円）＋預かり保育料（月額11,300円。新2号認定の場合のみ対象） 2号認定 主食費（月額800円）＋副食費（月額4,500円）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
全ての児童に質の高い幼児教育を保障するため、保護者負担の軽減が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	給付児童数	人			747
成果指標	保育料給付率	%			38.5
	教育・保育施設に通う3歳から5歳児の割合	%			97.3
特財情報		事業費合計	千円		116,982
教育・保育施設給付費国庫負担金 (1/2)		国支出金	千円		48,763
教育・保育施設給付費県負担金 (1/4)		県支出金	千円		24,382
施設等利用給付費国庫負担金 (1/2)		地方債	千円		0
施設等利用給付費県負担金 (1/4)		その他	千円		0
		一般財源	千円		43,837

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市内の3歳から5歳児のうち教育・保育施設に通う割合は97.3%です。そのうち、私立認定こども園に通う3歳から5歳児へ保育料等を給付する割合は38.5%です。 （原因）市内私立保育所・幼稚園の多くが認定こども園へ移行したため、私立認定こども園へ通う割合が高く、給付率も高くなっています。 （余地）認定こども園に対するニーズが高いため、成果向上の余地は大きいと考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

1号認定とは、満3歳以上の未就学児で教育部門（幼稚園）を利用する児童のことで、
 2号認定とは、満3歳以上の未就学児で保育を必要とする（保護者が就労しているなど）児童のことで、
 新2号認定とは、満3歳に達する日以降最初の3月31日を経過した未就学児で保育を必要とする（保護者が就労しているなど）児童のことで、

こども園施設改修事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31175	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1706	担当課	こども課
款	03 民生費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施 策	01	子育て環境の充実	
目	04 こども園費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立こども園	公立こども園の老朽化等に伴い、修繕が必要な箇所の改修工事を行います。 <事業概要> ・テラス改修工事 白方こども園 ・空調設備改修工事 白江こども園 白方こども園
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公立こども園の修繕や改修を行うことにより、施設の機能が維持できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			2,227
成果指標	改修等実施箇所数	箇所			2
特財情報		事業費合計	千円		2,227
公共施設等整備基金繰入金	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		627
		一般財源	千円		1,600

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）予定していた白方こども園テラス改修工事、白江こども園空調設備改修工事及び白方こども園空調設備改修工事を実施するとともに、不具合が生じた白方こども園のガスヒートポンプ修繕工事も実施しました。 （原因）関係者との緊密な協議・調整により、改修工事が順調に進捗したためです。 （余地）実施箇所数は年度により増減しますが、計画的に実施することで、施設の機能の安定的な維持が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

こども園トイレ洋式化事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31186	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1700	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	04 こども園費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立こども園	公立こども園のトイレ洋式化工事を行います。 ＜全体計画＞ 2018 (H30) 年度 設計業務委託（白方、白江こども園） 2019 (R1) 年度 改修工事（白方、白江こども園）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公立こども園のトイレを洋式化することにより、和式に慣れていない幼児も安心して利用できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円		725	4,950	
成果指標	洋式化した便器数	基		0	6	
特財情報		事業費合計	千円	725	4,950	
児童福祉施設整備事業債		国支出金	千円		0	
		県支出金	千円		0	
		地方債	千円			3,900
		その他	千円			0
		一般財源	千円		725	1,050

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）洋式化する便器数は6基で、すべて予定どおり改修しました。 （原因）関係者との緊密な協議・調整により、改修工事が順調に進捗したためです。 （余地）本事業は令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

幼稚園管理運営事業

開始年度		終了年度		事業番号	30754	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	284	担当課	こども課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	04 幼稚園費			施策	01	子育て環境の充実	
目	01 幼稚園管理費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立幼稚園入園児童	公立幼稚園の管理運営を行います。 ・幼稚園数 4か所（稲田、小塩江、仁井田、長沼幼稚園） ・通常保育 平日8:30～13:30 ・預かり保育 7:30～8:30、13:30～18:30 ・幼稚園授業料 0円～4,000円（月額） （市民税課税状況により算出）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
安心して教育を受けることができ、子育て家庭が支援されます。	・事業内容 入園申込の受付審査、入園調整等 ・運営方法 すべて直営 ・維持管理方法 施設の点検、修繕、清掃等の委託等

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	運営費	千円	15,614	12,915	13,611	
成果指標	待機児童数	人	0	0	0	
	幼稚園での維持管理上の事故件数	件	0	0	0	
特財情報		事業費合計	千円	49,115	53,290	62,242
幼稚園授業料 教育施設土地使用料 日本スポーツ振興センター 共済掛金保護者負担金 幼稚園運営費他市町村負担金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	1,465	1,510	1,416
		一般財源	千円	47,650	51,780	60,826

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）待機児童は発生していません。維持管理上の事故はありませんでした。 （原因）核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、幼稚園よりも保育所・こども園の入所を希望する保護者が増えているためです。また、事故件数0件は、施設の維持管理を適切に実施しているためです。 （余地）保護者のニーズに対応した定員数を確保しているため、今後も待機児童は発生しないものと考えられます。また、維持管理上の事故件数は、施設の維持や修繕を適切に実施することで未然に防ぐことができると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

幼稚園トイレ洋式化事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31184	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1698	担当課	こども課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	04 幼稚園費			施 策	01	子育て環境の充実	
目	01 幼稚園管理費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立幼稚園	公立幼稚園のトイレ洋式化工事を行います。 ＜全体計画＞ 2018 (H30) 年度 設計業務委託 （長沼、稲田、仁井田幼稚園） 改修工事（長沼幼稚園） 2019 (R1) 年度 改修工事（稲田、仁井田幼稚園）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公立幼稚園のトイレを洋式化することにより、和式に慣れていない幼児も安心して利用できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円		3,525	4,070
成果指標	洋式化した便器数	基		5	6
特財情報					
		事業費合計	千円	3,525	4,070
幼稚園施設整備事業債	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	2,600	3,000
		その他	千円		0
		一般財源	千円	925	1,070

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）洋式化する便器数は6基で、すべて予定どおり改修しました。 （原因）関係者との緊密な協議・調整により、改修工事が順調に進捗したためです。 （余地）本事業は令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

幼稚園施設改修事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31319	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1805	担当課	こども課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	04 幼稚園費			施 策	01	子育て環境の充実	
目	01 幼稚園管理費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立幼稚園	公立幼稚園の老朽化に伴い、修繕が必要な個所の改修工事を行います。 <事業概要> ・遊戯室ステージ改修工事 長沼幼稚園
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公立幼稚園の修繕や改修を行うことにより、施設の機能が維持できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			957
成果指標	改修等実施個所数	箇所			1
特財情報		事業費合計	千円		957
公共施設等整備基金繰入金	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		957
		一般財源	千円		0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）長沼幼稚園遊戯室ステージ改修工事は、予定通り実施し完了しました。 （原因）関係者との緊密な協議・調整により、改修工事が順調に進捗したためです。 （余地）実施個所数は、年度により増減しますが、計画的に実施することで施設の機能の安定的な維持が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

幼稚園型一時保育促進補助事業

開始年度	2015 (H27) 年度	終了年度		事業番号	30765	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1339	担当課	こども課		
款	10 教育費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	04 幼稚園費	施策	01	子育て環境の充実			
目	02 幼稚園振興費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認定こども園	幼稚園型一時保育を行っている認定こども園に対し、年間の延べ利用人数に応じて補助金を交付します。 ＜実施施設＞ すぎのこども園、天泉こども園、オリーブの木、くるみの木、りのひら
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
一時保育の受入れが促進され、子育て家庭が支援されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	7,684	6,835	7,612	
成果指標	一時保育年間延べ利用人数	人	10,607	8,518	4,587	
特財情報		事業費合計	千円	7,684	6,835	7,774
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3)	事業費	国支出金	千円	2,561	2,278	2,537
		県支出金	千円	2,561	2,278	2,537
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	2,562	2,279	2,700

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）一時保育の年間延べ利用人数は4,587人で、前年度と比較し3,931人減少しました。 （原因）この事業の対象者は、認定こども園の1号認定児童ですが、国の幼児教育・保育の無償化などにより2号認定へ変更した児童が増加し、1号認定での一時保育利用者が減少したためです。 （余地）国の幼児教育・保育の無償化により、1号認定での一時保育利用者の減少傾向がますます強まることが想定され、成果向上の余地は小さいと考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

1号認定とは、満3歳以上の未就学児で教育部門（幼稚園）を利用する児童のことです。 2号認定とは、満3歳以上の未就学児で保育を必要とする（保護者が就労しているなど）児童のことです。
--

私立幼稚園就園奨励事業

開始年度	2013 (H25) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30762	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	288	担当課	こども課		
款	10 教育費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	04 幼稚園費	施策	01	子育て環境の充実			
目	02 幼稚園振興費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
私立幼稚園に通う園児の保護者	対象者の市民税課税額、兄弟・姉妹の有無により補助単価を設定し、補助金を交付しています。支払った入園料、授業料が上限額となります。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公立幼稚園の保護者負担との格差が是正され、保護者の経済的負担が軽減されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	45,753	45,511	24,832	
成果指標	補助人数	人	334	323	351	
特財情報						
		事業費合計	千円	45,908	45,666	24,832
幼稚園就園奨励費国庫補助金 (1/3)	事業費	国支出金	千円	14,287	15,065	8,273
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	31,621	30,601	16,559

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）補助人数は351人で、前年度と比較し28人増加しました。 （原因）私立幼稚園への入園者が増加したためです。 （余地）令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、本事業は令和元年9月末で終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、令和元年9月末で事業終了となりました。

幼稚園5歳児授業料給付事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30760	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1642	担当課	こども課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	04 幼稚園費			施策	01	子育て環境の充実	
目	02 幼稚園振興費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
私立幼稚園に通う5歳児とその保護者	私立幼稚園に通う5歳児の授業料を無償化するため、市が幼稚園授業料を給付します。 <給付限度額> ・月額25,700円/人
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校就学前の児童が等しく幼児教育を受けられることで、小学校教育へスムーズに移行することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	給付児童数	人	135	109	130	
成果指標	授業料給付率	%	21.1	17.4	20.3	
	教育・保育施設に通う5歳児の割合	%	99.4	97.9	98.9	
特財情報						
		事業費合計	千円	14,221	11,445	8,077
	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	14,221	11,445	8,077

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）市内の5歳児のうち教育・保育施設に通う割合は98.9%で、前年度と比較し1.0ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいです。そのうち、私立幼稚園に通う5歳児へ授業料を給付する割合は20.3%で、前年度と比較し2.9ポイント増加しました。 （原因）保育ニーズは、幼稚園より保育所、こども園が高い傾向にあるため、給付率は低くなっています。 （余地）令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、本事業は令和元年9月末で終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

令和元年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に伴い、市独自の本事業は令和元年9月末で終了となりました。

幼稚園授業料給付事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31363	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1836	担当課	こども課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	04 幼稚園費			施策	01	子育て環境の充実	
目	02 幼稚園振興費			基本事項	01	幼児教育・保育の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
私立幼稚園に通う児童とその保護者	私立幼稚園に通う児童の授業料、給食費を無償化するため、市が授業料等を給付します。 <対象児童> 3歳から5歳までの全ての児童 <給付限度額> 授業料 月額25,700円（新1号認定及び新2号認定） 預かり保育料 月額11,300円（新2号認定の場合のみ対象） 主食費＋副食費 日額400円
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
全ての児童に質の高い幼児教育を保障するため、保護者負担の軽減が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	給付児童数	人			583
成果指標	授業料給付率	%			30.1
	教育・保育施設に通う3歳から5歳児の割合	%			97.3
特財情報		事業費合計	千円		67,404
施設等利用給付費国庫負担金 (1/2) 施設等利用給付費県負担金 (1/4) 子ども・子育て支援事業費国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費県交付金 (1/3)	事業費	国支出金	千円		28,130
		県支出金	千円		14,343
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		24,931

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市内の3歳から5歳児のうち教育・保育施設に通う割合は97.3%です。そのうち、私立幼稚園に通う3歳から5歳児へ授業料等を給付する割合は30.1%です。 （原因）保育ニーズは、幼稚園より保育所、こども園が高い傾向にあるため、給付率は低くなっています。 （余地）多様な教育・保育ニーズがあるため、私立幼稚園へ通う3歳から5歳児は一定程度見込まれることから、向上の余地はあると考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input checked="" type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

新1号認定とは、満3歳以上の未就学児で私立幼稚園を利用する児童のことで、 新2号認定とは、満3歳に達する日以降最初の3月31日を経過した未就学児で保育を必要とする（保護者が就労しているなど）児童のことで、

親子ふれあいブックスタート事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	30874	担当部	市民交流センター
会計	01 一般会計	キーコード		1560	担当課	中央図書館	
款	10 教育費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	05 社会教育費	施 策	01	子育て環境の充実			
目	04 図書館費	基本事項	01	幼児教育・保育の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
乳児3・4か月乳児とその保護者	図書館職員とボランティアが、赤ちゃんに優しい言葉で語りかけることの大切さを保護者に伝え、赤ちゃんの反応を見ながら読み聞かせを行い、親子で絵本を開くひとときの楽しさを早期に体験していただきます。 ・実施時期 3・4か月乳児の健康診査時 ・実施方法 ブックスタートパック（絵本2冊、図書館利用案内、おすすめ絵本リストなど）の提供
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
絵本を介して、親子の絆を深めるきっかけづくりができています。また、乳幼児期から本に親しむことにより、生涯にわたる読書習慣が形成されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業実施回数	回	16	16	15	
	3・4か月乳児健康診査の受診予定者数	組	545	574	516	
成果指標	参加者数	組	545	574	516	
特財情報		事業費合計	千円	888	931	990
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	888	931	990

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）健康診査の受診者全員に、事業趣旨の説明とブックスタートパックの手渡しが出来ており、事業が順調に実施されています。 （原因）健康づくり課との連携により、事業を行う環境整備がされていることによるものです。 （余地）3・4か月乳児健康診査の受診が困難な親子への対応について、今後も関係課と連携しながら実施していく必要があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

児童クラブ館管理運営事業

開始年度		終了年度		事業番号	30296	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	273	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	05 児童福祉施設費	基本事項	02	放課後の居場所づくり			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
児童クラブ館利用者	市直営児童クラブ館を管理運営するとともに、第二西袋児童クラブ館の運営業務を委託します。 <ul style="list-style-type: none"> 児童クラブ館数 3館 開館日数 288日 閉館日 日曜日、祝祭日、12月29日～1月3日 開館時間 平日 12:30～18:30 土曜・長期休暇等 7:30～18:30
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
児童クラブ館が、市直営及び運営委託により、適切に管理され、安心して児童を預けることができます。	<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブ保育料 3,000円（月額） 対象児童 小学1年生から6年生 維持管理方法 施設の点検、修繕、清掃等の委託等

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	利用申込受付件数	件	264	372	274	
成果指標	待機児童数	人	6	1	0	
	児童クラブ館での維持管理上の事故件数	件	2	0	0	
特財情報						
		事業費合計	千円	39,137	41,666	49,735
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3) 児童クラブ保育料	事業費	国支出金	千円	14,123	15,946	13,467
		県支出金	千円	14,123	15,946	9,503
		地方債	千円			0
		その他	千円	10,463	9,774	6,792
		一般財源	千円	428		19,973

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）待機児童は解消されました。また、維持管理上の事故はありませんでした。 （原因）待機児童の解消は、ぼたん・うつみね児童クラブ館を移転整備し、利用定員が増加したためです。また、事故件数0件は、施設の維持管理を適切に実施しているためです。 （余地）待機児童数は、移転整備が完了したため、成果向上の余地は小さいと考えます。維持管理上の事故は、施設の維持管理を適切に実施することで未然に防ぐことができますと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

児童クラブ館管理運営委託事業

開始年度	2004 (H16) 年度	終了年度		事業番号	30295	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード		275	担当課	こども課	
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	05 児童福祉施設費	基本事項	02	放課後の居場所づくり			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
児童クラブ館利用者	指定管理者に15児童クラブ館の管理運営業務を委託します。 ・開館日数 288日 ・閉館日 日曜日、祝祭日、12月29日～1月3日 ・開館時間 平日 12:30～18:30 土曜・長期休暇等 7:30～18:30
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	・保育料 3,000円（月額） ・対象児童 小学1年生から6年生 ・指定管理者 学校法人熊田学園、社会福祉法人うつみね福祉会、社会福祉法人須賀川市社会福祉協議会
児童クラブ館が、管理運営委託により、適切に管理され、安心して児童を預けることができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	利用申込受付件数	件	967	932	1,202	
成果指標	待機児童数	人	2	2	39	
	児童クラブ館での運営管理上の事故件数	件	1	2	7	
特財情報		事業費合計	千円	177,866	182,367	249,111
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3) 児童クラブ保育料	事業費	国支出金	千円	46,447	41,457	81,648
		県支出金	千円	46,477	41,457	67,060
		地方債	千円			0
		その他	千円	28,085	30,831	34,102
		一般財源	千円	56,857	68,622	66,301

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）待機児童数は39人で、前年度と比較し37人増加しました。管理運営上の事故が7件発生しました。 （原因）待機児童数が増加したのは、ニーズの高まりにより利用希望者が増加したためです。管理運営上の事故は、外遊び中などのけがです。 （余地）待機児童数は、学校の余裕教室活用等の施設整備により減らすことができます。管理運営上の事故は、指定管理者に対し、事故が起きた原因を検証するとともに情報の共有を図り、類似事故の再発防止の徹底を働きかけることで、成果向上が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

児童クラブ館施設改修事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31176	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1697	担当課	こども課
款	03 民生費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施 策	01	子育て環境の充実	
目	05 児童福祉施設費			基本事項	02	放課後の居場所づくり	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
児童クラブ館	児童クラブ館の老朽化等に伴い、修繕が必要な箇所の改修工事等を行います。 <事業概要> 空調設備設置工事 小塩江児童クラブ館 屋根設置工事 大森小児童クラブ館 床張替工事 かしまの森児童クラブ館 床張替工事 日高見児童クラブ館
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
児童クラブ館の修繕や改修を行うことにより、施設の機能が維持できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円		0	8,949	
成果指標	改修等実施箇所数	箇所		0	4	
特財情報		事業費合計	千円	0	8,948	
公共施設等整備基金繰入金		国支出金	千円		0	
		県支出金	千円		0	
		地方債	千円			0
		その他	千円			8,814
		一般財源	千円			134

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）4施設の改修工事を予定どおり実施しました。 （原因）関係者との緊密な協議・調整により、施設改修等が順調に進捗したためです。 （余地）実施箇所数は年度により増減しますが、計画的に実施することで、施設の機能の安定的な維持が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

うつみね児童クラブ館移転整備事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31360	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1837	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	05 児童福祉施設費	基本事項	02	放課後の居場所づくり			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
阿武隈小学校学区内の対象児童	阿武隈小学校敷地内にうつみね児童クラブ館を移転整備します。 <事業概要> ・施設規模 軽量鉄骨造平屋建 616㎡ ・対象児童 小学1年生から6年生まで ・定員 160人
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
うつみね児童クラブ館を阿武隈小学校敷地内に移転整備することにより、児童の登館時の安全を確保するとともに、希望するすべての児童が施設を利用できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			32,296
成果指標	事業進捗率	%			100
特財情報		事業費合計	千円		32,296
事業費		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		32,296

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）阿武隈小学校敷地内にうつみね児童クラブ館を整備し、10月23日に利用開始しました。これにより、児童の登館時の安全性が確保され、また、希望者全員が利用できるようになりました。 （原因）リース方式による整備や公募型プロポーザルによる業者選定により、整備期間を短縮することができたためです。 （余地）本事業は、令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

すくすく赤ちゃん応援事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	30260	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1569	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	01 児童福祉総務費	基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
0～1歳児の養育者で、子どもと養育者の住所が市内にある者	事前に利用登録を受けた事業所で、対象商品購入時に利用できる「すくすく赤ちゃん応援券」を、対象の子ども一人当たり3万円分（額面2,500円×12枚つづり）支給します。 <対象商品> ・おむつ、ミルク等、0歳～1歳児の育児に関連する用品
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
育児に関連する用品の購入を支援することにより、養育者の経済的負担が軽減されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	すくすく赤ちゃん応援券支給者数	人	1,144	1,202	1,186	
成果指標	すくすく赤ちゃん応援券給付費	千円	31,315	34,225	35,703	
特財情報		事業費合計	千円	31,520	34,432	35,888
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	31,520	34,432	35,888

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）平成30年度、平成31年度生まれの1,186人分の応援券を支給し、35,703千円分の利用がありました。前年度よりも支給者数は減少したものの、給付費は増加しました。 （原因）平成30年度より登録事業所に全国チェーンの子ども用品専門店が加わったことにより利便性が向上し、応援券が活用されたことが考えられます。 （余地）引き続き制度の周知広報、未申請者への定期的な勧奨案内を行うことで、成果向上が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

子ども・子育て支援事業

開始年度	2015 (H27) 年度	終了年度		事業番号	30261	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1400	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	01 児童福祉総務費	基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
<p>保育所・幼稚園・児童クラブや子育て支援施策対象者 妊産婦、児童の保護者</p>	<p>・子ども・子育て会議で策定した「子ども・子育て支援事業計画」を定期的に点検・評価するとともに、地域の実情に合わせて見直しを行います。 ・子育て支援アプリを導入し、妊産婦や子育て家庭が無料でアプリをダウンロードし、スマートフォン等で母親や子どもの健康記録の管理や子育て情報収集が容易にできる状況を整えます。</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>・地域の実情に合わせた保育・幼児期の幼児教育・子育て支援施策の総合的なサービスが計画的に行われています。 ・妊娠、出産、子育て期の情報収集等が容易にできています。</p>	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	子ども・子育て会議の開催回数	回	2	2	3	
	事業費	千円	133	752	862	
成果指標	計画目標の達成度	%	50.0	56.2	68.8	
	アプリのダウンロード数（累計）	件	-	343	534	
特財情報		事業費合計	千円	133	752	862
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	133	752	862

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）子ども・子育て支援事業計画の目標達成度は、各種事業16項目中11項目で計画目標を達成したため68.8%となり、前年度と比較し12.6ポイント増加しました。 （原因）事業計画の進捗管理を行い、目標達成に向け教育・保育サービスの提供に努めたためと考えられます。 （余地）子ども・子育て会議で各項目の実施状況の審議を受け、地域の実情を把握しながら必要に応じてニーズ等の見直しをすることで、成果向上の余地があります。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り</p>	

◆備考

--

子育て世代包括支援事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31296	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1785	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	01 児童福祉総務費	基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
妊産婦及び乳児から小・中学生の児童とその保護者	子育て世代包括支援センター設置により、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じます。 ＜事業内容＞ ・妊産婦及び子育て家庭等の実情把握 ・妊娠・出産・子育てに関する相談に応じた包括的な情報提供や相談者の目線に立った切れ目のない相談支援 ・地域の関係機関との連絡調整
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
妊娠・出産・子育ての悩みが解消され、安心して出産・育児をすることができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	延べ相談件数	件			896
成果指標	相談が役に立ったと思う相談者の割合	%			100
特財情報		事業費合計	千円		4,758
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3)	事業費	国支出金	千円		1,567
		県支出金	千円		1,556
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		1,635

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）令和元年度に実施した相談者へのアンケートでは、「相談が役に立ったと思う」と回答した割合は100%でした。 （原因）相談者に対し、必要な情報が漏れなく提供されたためと考えられます。 （余地）引き続き相談者に対し必要な情報を提供することにより、安心して出産、育児をすることができます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

子育て支援センター運営事業

開始年度	2003 (H15) 年度	終了年度		事業番号	30281	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	253	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	03 保育所費	基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
子育て支援センターを運営する保育所、こども園 地域の子育て世帯	<p><公立></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 3か所（長沼保育所内、白江こども園内、大東こども園内） ・開設時間 月～金 9:00～16:00 ・サービス内容 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 子育て不安に関する相談の実施 子育て支援に関する情報の提供、講習等の実施 <p><私立/補助金交付先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 4か所（プリムラこども園内、くるみの木内、天泉こども園内、白鳩保育園内）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
子育て世帯の育児支援が行われています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	70,533	67,751	68,304	
	開設日数（1か所当たり平均）	日	244	247	224	
成果指標	子育て支援センター利用人数	人	9,800	10,131	8,511	
特財情報		事業費合計	千円	70,533	67,751	68,304
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金（1/3） 子ども・子育て支援事業費 県交付金（1/3）	事業費	国支出金	千円	17,236	17,453	18,423
		県支出金	千円	17,236	17,453	17,891
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	36,061	32,845	31,990

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	<p>（状況）利用人数が前年度から1,620人減少しています。 （原因）1日当たりの利用が減少したほか、新型コロナウイルス感染症対策により、施設の開館日数が減少したためです。 （余地）公立、私立を問わず、活動内容の周知を継続することで利用人数の増加が見込めます。</p>
<p>【成果向上余地】</p> <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

ファミリーサポートセンター運営委託事業

開始年度	2001 (H13) 年度	終了年度		事業番号	30282	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	258	担当課	こども課		
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	03 保育所費	基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
小学6年生までの児童の保護者	児童の預かり援助を受けたい人と当該援助を行いたい人を会員登録し、ファミリーサポートセンターのコーディネートにより、会員同士が相互援助活動を行います。 <事業概要> ・対象児童 小学6年生まで ・委託先 須賀川市社会福祉協議会 ・内容 保育施設等への送迎、放課後の児童預かり等 ・利用料金（1時間あたり） 月～金曜日 6:00～22:00 600円 （4時間を超える時間帯 400円） 土・日・祝日及び年末年始 700円 （4時間を超える時間帯 500円）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
児童預かり援助により、保護者が安心して働くことができ、仕事と育児を両立することができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	新規の会員受付人数	人	64	74	28	
成果指標	年間利用回数	回	1,074	937	826	
	会員数	人	353	388	395	
特財情報						
子ども・子育て支援事業費		事業費合計	千円	5,681	5,702	5,724
国庫交付金 (1/3)		国支出金	千円	1,053	1,053	1,053
子ども・子育て支援事業費		県支出金	千円	1,053	1,053	1,053
県交付金 (1/3)		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	3,575	3,596	3,618

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）会員数は395人で前年度と比較し、7人増加しましたが、年間利用回数は826回で前年度と比較し、111回減少しました。 （原因）利用回数の減少は、新型コロナウイルス感染症に伴い、送迎利用者が減少したことによるものです。 （余地）引き続き、制度や育児サポート講習会の周知等に努め、会員数の増加を図り、適切なコーディネートにより利便性の向上を図ることで成果向上が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

ひとり親家庭医療費助成事業

開始年度	2000 (H12) 年度	終了年度		事業番号	30303	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード		175	担当課	こども課	
款	03 民生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 児童福祉費	施策	01	子育て環境の充実			
目	06 母子福祉費	基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
本市に住所がある医療保険に加入しているひとり親家庭の父又は母とその児童、父母のいない児童	支給対象者の申請を受け、医療機関等で受診した際の自己負担額を審査のうえ、助成対象者に給付します。 ひとり親家庭医療費（負担限度額1千円を除く）の1/2を県が補助します。 <助成額> 診療月ごとに一世帯における保険適用診療にかかる自己負担額の合計のうち、1千円を超えた額
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
医療費による経済的負担の軽減が図られ、安心して医療機関を受診することができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度				
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	助成金額	千円	11,993	12,766	12,881		
成果指標	受給により医療費による負担が軽減された年間延べ人数	人	4,161	4,728	4,407		
	一人あたりの医療費助成年額	円	15,010	17,705	19,081		
特財情報		事業費合計	千円	13,376	14,057	12,947	
ひとり親家庭医療費助成事業費県補助金（1/2）		国支出金	千円			0	
		県支出金	千円	5,996	6,169	6,440	
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円	7,380	7,888	6,507	

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）医療費負担が軽減された年間延べ人数は4,407人で、前年度と比較し321人減少しました。また、一人あたりの医療費助成年額は19,081円で、前年度と比較し1,376円増加しました。 （余地）条例に基づき、適切に実施しています。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

こども医療費助成事業

開始年度	1989 (H1) 年度	終了年度		事業番号	30309	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計		キーコード	177	担当課	こども課	
款	03 民生費		政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり		
項	02 児童福祉費		施策	01	子育て環境の充実		
目	07 こども医療給付費		基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応		

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
須賀川市に住所があるこどもの保護者等 （子ども＝出生の日から年齢が18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）	受給資格を有するこどもの保護者等にこども医療費受給資格証を交付し、医療費の助成を行います。受診時に全国の医療機関で提示することにより原則として窓口負担はありません。また、窓口負担があった場合は、申請により、医療機関等で診療を受けた際の自己負担額を、審査のうえ支給申請者に給付します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<費用負担> ・0歳～6歳 県1/2、市1/2 ・7歳～9歳 市10/10 ・10歳～18歳 県10/10
子どもの医療費による経済的負担の軽減が図られ、安心して医療機関を受診することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	助成金額	千円	363,751	359,388	351,518	
成果指標	受給により医療費による負担が軽減された年間延べ人数	人	154,128	153,182	148,300	
	一人あたりの医療費助成年額（社保分）	円	30,204	30,271	29,769	
特財情報		事業費合計	千円	375,974	371,057	362,573
乳幼児医療費県補助金 (1/2) こども医療費県補助金 (10/10)	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円	194,616	192,751	188,402
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	181,358	178,306	174,171

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）医療費負担が軽減された年間延べ人数は148,300人で、前年度と比較し4,882人減少しました。また、一人当たりの医療費助成年額は29,769円で、前年度と比較し502円減少しています。 （余地）条例に基づき、適切に実施しています。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

こどもセンター運営事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31198	担当部	市民交流センター
会計	01 一般会計			キーコード	1746	担当課	企画課
款	03 民生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 児童福祉費			施策	01	子育て環境の充実	
目	08 こどもセンター費			基本事項	03	多様な子育てニーズへの対応	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
こどもセンター利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間 9:00～17:00 ・休館日 火曜日、(12月29日～1月3日) <こどもセンターを構成する施設> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター ・子育て相談、親子の交流の場の提供、子育て支援に関する情報提供等 ・屋内遊び場（わいわいパーク） ・預かりルーム 対象児童 生後6か月から小学校入学前まで 利用方法 事前登録・事前受付制 利用料金 市内在住の方 300円（1時間1人当たり） 市外在住の方 500円（1時間1人当たり）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
子育て世帯の育児支援や児童の健全育成の場として利用できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	開館日数	日		69	290
成果指標	施設利用者数	人		28,404	101,697
特財情報		事業費合計	千円	6,572	30,112
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3) 被災した子どもの健康・生活等総合支援事業費県補助金 (2/3) こどもセンター使用料	事業費	国支出金	千円	1,454	3,901
		県支出金	千円	2,954	10,861
		地方債	千円		0
		その他	千円	146	738
		一般財源	千円	2,018	14,612

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）施設利用者数は、101,697人で、前年度と比べ73,293人増加しました。前年度は、平成31年1月11日開館後の3ヶ月のみの実績です。 （原因）わいわいパーク、子育て支援センター、預かりルームいずれも、市民のニーズが高かったため、また、開館間もなく関心も高かったためと考えられます。 （余地）出生者数は減少しているものの、支援を必要としている子育て世帯は増加しているため、向上の余地はあると考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

子育て世代包括支援センター運営事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31127	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1668	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	01	子育て環境の充実	
目	01 保健衛生総務費			基本事項	04	妊産婦と子どもの健康管理	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
妊産婦及び乳児から小・中学生の児童とその保護者	子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じます。 <事業内容> ・妊産婦および乳幼児等の実情把握 ・妊娠・出産・子育てに関する相談に応じた包括的な情報提供や相談者の目線に立った切れ目のない支援 ・支援プラン策定 ・保健医療または福祉の関係機関との連絡調整
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
妊娠・出産・子育ての悩みが解消され、安心して出産・育児をすることができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	延べ相談件数	件		2,528	2,677
成果指標	相談が役に立ったと思う相談者の割合	%		100	100
	産後の指導・ケアを十分に受けられたと思う割合	%		89.9	86.5
特財情報		事業費合計	千円	4,555	4,467
子ども・子育て支援事業費 国庫交付金 (1/3) 子ども・子育て支援事業費 県交付金 (1/3)	事業費	国支出金	千円	1,504	1,437
		県支出金	千円	1,504	1,437
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	1,547	1,593

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）相談者全体へのアンケートで「相談が役に立った」と回答した割合は100%、産後の指導・ケアを十分に受けられたと思う割合は86.5%と高い水準で推移しています。 （原因）母子健康手帳交付時の面接や妊娠中の電話支援等で、対象者に合わせた継続的な支援が有効であったためと考えられます。 （余地）今後も引き続き子育て世代包括支援センターの周知をしていきます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

妊娠・出産包括支援事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	30322	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		1607	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	01	子育て環境の充実			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	04	妊産婦と子どもの健康管理			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
出産から1年未満の産婦及び乳児で次のいずれかに該当する方 ・身体の回復に不安がある方 ・子育てに不安がある方 ・産後の休養や食事など自宅での生活に不安のある方	出産後の母子に対して、心身のケアや育児サポートを行います。 <宿泊ケア> 利用者を宿泊させ、心身のケアや育児サポートを実施します。（利用期間は7日以内） <日帰りケア> 日中来所した利用者に対し、心身のケアや育児サポートを実施します。（利用期間は5日以内）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
出産後の母子に対して心身のケアや育児支援により、安心して子育てができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	利用日数	日	16	30	24	
成果指標	利用者数	人	7	9	9	
	利用率	%	1.2	1.6	1.7	
特財情報		事業費合計	千円	447	2,068	2,569
母子保健衛生費国庫補助金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	223	577	437
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	224	1,491	2,132

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）利用者数が9名、利用日数が24日とほぼ横ばいに推移しています。 （原因）チラシ等での周知や、該当者への利用勧奨を行いました。実際に利用するまでには至りませんでした。 （余地）妊娠届出時だけでなく、出産直後に事業の説明をしたり、医療機関から勧めってもらうことで、利用者の増加が考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

妊婦一般健康診査事業

開始年度	1997 (H9) 年度	終了年度		事業番号	30321	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計		キーコード	358	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費		政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり		
項	01 保健衛生費		施策	01	子育て環境の充実		
目	01 保健衛生総務費		基本事項	04	妊産婦と子どもの健康管理		

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
妊婦一般健康診査及び産婦の産後1か月健康診査受診票交付者	<p><妊婦一般健康診査内容>（全15回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠前期 血液検査、不規則抗体価検査、梅毒血清反応検査、風しん抗体価検査等（12週前後:1回） ・妊娠後期 HTLV-1抗体検査、クラミジア検査（30週前後:1回） ・36週前後 B群溶血性連鎖球菌検査（GBS）、貧血検査、超音波検査（1回）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の健康診査 産婦の産後1か月健康診査（1回） 問診及び診察、血圧・体重測定、尿検査、保健指導、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）等 <p>※県外受診者は償還払いでの健診負担額助成を行います。</p>
妊婦一般健康診査及び産婦の産後1か月健康診査の受診の重要性について、妊産婦等に対して正しく周知され、妊産婦及び胎児の健康管理ができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	妊娠11週以下での妊娠の届出率	%	88.5	89.6	91.8	
成果指標	妊婦一般健康診査受診率	%	97.9	98.0	94.9	
特財情報		事業費合計	千円	66,637	64,639	66,043
母子保健衛生費国庫補助金 (1/2)	事業費	国支出金	千円		1,362	1,265
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	66,637	63,277	64,778

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	<p>（状況）妊婦一般健康診査受診率は、94.9%と高い水準で維持されています。</p> <p>（原因）妊婦一般健康診査及び産婦の産後1か月健康診査の重要性が正しく認識されており、周知も適切であることから高い受診率を維持していると考えられます。</p> <p>（余地）受診票交付の際に受診勧奨をすることにより、成果向上の余地があると考えられます。</p>
<p>【成果向上余地】</p> <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

任意予防接種費用助成事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31117	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1666	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	01	子育て環境の充実	
目	02 予防費			基本事項	04	妊産婦と子どもの健康管理	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
<ul style="list-style-type: none"> ・ ロタワクチン1価 生後6週0日～24週0日の乳児 ・ ロタワクチン5価 生後6か0日～32週0日の乳児 ・ おたふくかぜワクチン 1歳～小学校就学前の幼児 	<p>任意予防接種費用の一部を助成します。接種希望者は市指定医療機関でワクチンを接種します。</p> <p>被接種者は、自己負担分として、ワクチン接種費用と助成額の差額を医療機関へ支払います。</p> <p><助成額及び回数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロタワクチン1価 1回あたり12,000円 2回まで ・ ロタワクチン5価 1回あたり 8,000円 3回まで ・ おたふくかぜワクチン 5,000円 1回のみ
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>ワクチンの接種費用を一部助成することで、子育て世帯の経済的負担が軽減され、ロタウイルス感染症胃腸炎及びおたふくかぜの罹患・まん延が予防されます。</p>	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	助成金額（ロタワクチン）	千円		10,964	11,306
	助成金額（おたふくかぜワクチン）	千円		4,830	4,910
成果指標	助成制度利用者数（ロタワクチン）	人		1,278	1,301
	助成制度利用者数（おたふくかぜワクチン）	人		966	982
特財情報		事業費合計	千円	16,655	16,355
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	16,655	16,355

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）ロタワクチンの助成制度利用者数は前年度と比較すると23人増加し、おたふくかぜワクチンの助成制度利用者数も前年度と比較すると16人増加しました。</p> <p>（原因）接種勧奨等が被接種者数の増加につながったと考えられます。</p> <p>（余地）今後も接種勧奨等を行い、助成制度の利用普及を図ります。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="非常に順調"/></p>	

◆備考

--

結婚新生活支援補助事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	30065	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1636	担当課	こども課
款	02 総務費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	01 総務管理費			施策	01	子育て環境の充実	
目	06 企画費			基本事項	05	家族形成の支援	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
新規に婚姻した世帯	<p>新婚世帯に対して、住居費や引越費用の補助を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象世帯 2019 (H31) 年1月1日～2020 (R2) 年3月31日までの間に婚姻した夫婦（婚姻日における年齢が34歳以下、新婚世帯の所得が340万円未満） 支給上限額 上限30万円 対象経費 2018 (H30) 年10月1日～2020 (R2) 年3月31日までの間で次の項目に該当するもの 住居費（敷金、礼金、家賃等） 引越費用（運送業者への支払分） 支給対象 2019 (H31) 年1月1日～2020 (R2) 年3月31日までの間に支払ったもの
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
経済的理由により結婚に踏み出せない方々を支援することにより、新婚世帯の経済的不安が軽減されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度				
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	補助件数	件	9	11	12		
成果指標	結婚新生活の経済的不安が軽減されたと思う割合	%	100	100	100		
特財情報							
		事業費合計	千円	2,104	3,066	3,067	
結婚新生活支援事業費県補助金 (1/2)		事業費	国支出金	千円		0	
			県支出金	千円	1,578	1,532	1,533
			地方債	千円			0
			その他	千円			0
			一般財源	千円	526	1,534	1,534

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）平成31年度の交付世帯へのアンケートでは、「経済的不安が軽減されたと思う」と回答した割合は100%でした。</p> <p>（原因）住居費や引越費用に対する経済的支援は新婚世帯のニーズに合致しており、効果的な支援ができたためと考えられます。</p> <p>（余地）引き続き制度の周知に努めることで、新婚生活を送ろうとする世帯の増加を図ることができます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

特定不妊治療費助成事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度		事業番号	30327	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		363	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	01 保健衛生費	施 策	01	子育て環境の充実			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	05	家族形成の支援			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
<ul style="list-style-type: none"> 夫婦合算の年間所得額が730万円未満で法律上の婚姻をしており、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）又は男性不妊治療を行った者 福島県特定不妊治療費助成を受けている者 妻の年齢が43歳未満の者 	<p>特定不妊治療及び男性不妊治療費の一部を助成します。助成内容等について相談を受けた場合は、随時対応します。</p> <p><助成回数及び助成額></p> <p>（特定不妊治療）</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療開始日時時点で40歳未満の人 通算6回、上限10万円 治療開始日時時点で40歳以上43歳未満の人 通算3回、上限10万円 <p>（男性不妊治療）</p> <ul style="list-style-type: none"> 通算6回、上限10万円
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>妊娠を希望しながらも恵まれない夫婦が、特定不妊治療に要する治療費の一部助成を受けることで、経済的負担の軽減と出生率の向上が図られています。</p>	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	市特定不妊治療費助成事業助成件数（実数）	件	26	37	22	
	市特定不妊治療費助成事業助成件数（延べ数）	件	36	51	39	
成果指標	不妊治療による出生数	人	8	17	11	
特財情報		事業費合計	千円	3,372	4,827	3,708
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	3,372	4,827	3,708

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）不妊治療による出生数が前年度より6人減少しました。</p> <p>（原因）前年度と比較し出生数が減少していますが、対象者の状況による個人差が大きいため明確な原因をあげることは難しいです。</p> <p>（余地）事業の周知を図り、特定不妊治療等の治療者の経済的負担を軽減することで、出生率の増加が期待されます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

英語指導助手招致事業

開始年度	1988 (S63) 年度	終了年度		事業番号	30685	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	739	担当課	学校教育課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	01 教育総務費			施策	02	学校教育の推進	
目	02 事務局費			基本事項	01	確かな学力の育成	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立中学校の生徒	中学校に外国語指導助手4名を派遣し、チームティーチングによる外国語活動の授業を実施します。 ALT指導力向上研修会を実施し指導力を高めます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
外国の言語や文化についての理解を深め、コミュニケーション能力の基礎が養われます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	中学校への外国語指導助手の派遣人数	人	4	4	4	
成果指標	中学校1クラスあたりのALTの平均活用回数	回	35	35	35	
	市学力調査におけるコミュニケーションへの関心意欲態度に関する項目の正答率	%	60.8	57.7	85.8	
特財情報		事業費合計	千円	18,796	18,730	18,476
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	18,796	18,730	18,476

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）コミュニケーションに関する項目がなくなったため「英語の勉強は大切だと思いますか」を用いました。肯定的な回答は85.8%で、英語への関心は高いと考えられます。 （原因）実践的なコミュニケーション能力を身につけるために、ネイティブスピーカーとのコミュニケーション活動に取り組んできたことが原因です。 （余地）ALTの指導力向上を図ることで、成果向上の余地が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

ALTは、Assistant Language Teacherの略です。日本人の教員と協力してチームティーチング（共同授業）等を行う外国人のことです。 ティームティーチングとは、2人以上の指導者による共同授業のことです。

小中一貫教育推進事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度	2023 (R5) 年度	事業番号	30686	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1331	担当課	学校教育課		
款	10 教育費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	01 教育総務費	施 策	02	学校教育の推進			
目	02 事務局費	基本事項	01	確かな学力の育成			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立小・中学校	各中学校区単位の小・中学校の設置条件（併設型・施設一体型・連携型）に応じて、各学校の小中一貫教育を推進します。 <小中一貫教育を推進する取組> ・各学校から提出された事業要望書を審査し、小中一貫教育推進活動費交付金を交付します。 ・小学校教員が中学校に、中学校教員が小学校に出向いて授業を行い、学力向上や進級進学の不安感解消等を図ります。 ・他校の取組に学び合う研修会を開催します（2月）。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
各中学校区毎に、小・中学校9年間で目指す児童生徒像を共有しながら、連続性・一貫性を重視した教育活動を展開し、義務教育終了段階で身に付けさせたい資質や能力が高まっています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	小・中一貫教育授業研究を実施した小・中学校数	校	26	26	26	
	交付決定校数	校	26	26	26	
成果指標	小中一貫教育の事業内容に改善が見られた学校数	校	25	26	26	
	小中一貫教育の実践により効果が上がったとする学校数	校	25	26	26	
特財情報		事業費合計	千円	11,307	8,459	8,168
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	11,307	8,459	8,168

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）全ての学校で小・中学校9年間で目指す児童生徒像を共有しながら教育活動を展開・推進し、取組の効果が上がっています。 （原因）全ての学校で小中一貫教育グランドデザインを作成し、教員の交流等を進め、中1ギャップの軽減につながったことなどが原因です。 （余地）施設一体型の小中一貫校稲田学園の取組における改善事例をフィードバックすることで、事業内容の改善、実践による効果が維持でき、成果向上の余地が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

学校図書館教育推進事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	30687	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1568	担当課	学校教育課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	01 教育総務費			施策	02	学校教育の推進	
目	02 事務局費			基本事項	01	確かな学力の育成	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立小・中学校の児童生徒	常勤の市臨時職員として全中学校区（小・中学校兼務）に配置します。（合計11名） 第一中学校区 1名 第二中学校区 2名 第三中学校区 1名 西袋中学校区 1名 稲田学園 1名
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	小塩江中学校区1名 仁井田中学校区1名 大東中学校区 1名 長沼中学校区 1名 岩瀬中学校区 1名
学校司書を配置し、読書に親しむ環境を整え、図書館を活用した授業の支援や本との出会いの機会を設けることにより、児童生徒の学力が向上するとともに、よき読書人が育ち、豊かな心がはぐくまれます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	学校司書を配置している小・中学校数	校	26	26	26	
	学校司書研修会への延べ参加者数	人	33	44	44	
成果指標	読書が好きな児童生徒の割合	%	71.8	-	69.0	
	図書館を活用した学習を支援した取組の回数	回	621	855	849	
特財情報		事業費合計	千円	21,076	21,428	22,404
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	21,076	21,428	22,404

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）「読書が好きな児童生徒の割合」は69.0%で、H29年度よりやや減少しました。図書の貸出数は月平均15909冊で前年度より915冊増加しています。 （原因）学校司書の配置により、読書環境の整備が進み、図書館に足を運んだり本に興味を持つ機会が増えているものの、読書習慣の定着までは至っていないのが原因です。 （余地）中学校では未読率が10%を超えるなど読書習慣に課題があります。また、図書館の利用回数・図書の貸出冊数は年々増加しており、この取組を継続することにより成果向上の余地が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

教育研修センター管理運営事業

開始年度	2010 (H22) 年度	終了年度		事業番号	30716	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	742	担当課	学校教育課		
款	10 教育費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	01 教育総務費	施 策	02	学校教育の推進			
目	03 教育研修センター費	基本事項	01	確かな学力の育成			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立幼稚園、こども園、小・中学校教員	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー研修、ジャンプアップ研修等の各種研修会等を開催します。 ・教育活動に関する指導支援としての学校教育アドバイザー、指導主事を短期派遣します。 ・適応指導教室の運営、心のケアを必要とする児童生徒への支援や教育相談を実施します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
教職員の研修と教育に関する専門的・技術的な情報提供を通して、教職員一人ひとりの資質及び指導力が向上します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	各種研修会の開催回数	回	75	71	74	
成果指標	各種研修会への参加人数（のべ）	人	558	439	583	
	指導者の派遣人数（のべ）	人	248	182	329	
特財情報		事業費合計	千円	27,540	21,982	24,050
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	163		0
		一般財源	千円	27,377	21,982	24,050

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）研修会の参加人数及び指導者の派遣人数がともに増加しました。 （原因）各種研修会の参加人数及び指導者の派遣人数が増加したのは、幼稚園、こども園、小・中学校の要請に応じ、指導主事が出向いて実施する「ジャンプアップ研修」の要請回数が、前年度と比較して大幅に増加したことが原因です。 （余地）学校教育アドバイザーを活用した助言指導などをさらに充実させ、研修センターを軸とした教職員の資質、指導力向上を図る取組を推進することで、成果向上が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

小学校英語活動推進事業

開始年度	2009 (H21) 年度	終了年度		事業番号	31243	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	733	担当課	学校教育課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 小学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	02 教育振興費			基本事項	01	確かな学力の育成	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立小学校3～6年生	小学校に外国語指導助手を5名派遣し、小学校3～6年生を対象にティームティーチングによる外国語活動の授業を実施します。 計画的な指導訪問や外国語研修、ALT指導力向上研修会で教員の指導力を高めます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校3～6年生を対象にした外国語活動においてネイティブスピーカーとの学習機会を増やすことにより、外国語の言語文化についての理解を深め、コミュニケーション能力の素地が養われます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	小学校への外国語指導助手の一人あたりの総派遣数	回	199	197	191	
成果指標	小学校1クラスあたりのALTの平均活用回数	回	35	35	35	
	英語を楽しいと思う児童の割合	%	79.8	79.8	82.3	
特財情報		事業費合計	千円	11,275	19,310	17,527
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	11,275	19,310	17,527

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）指標「英語を楽しいと思う」が変更になったため、「地域のことについて外国人にもっと知ってもらいたい」を使用しました。肯定的な回答の割合は82.3%となりました。 （原因）英語担当者の導力向上及びネイティブスピーカーとのコミュニケーション活動によるものと考えられます。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（余地）小学校での外国語及び外国語活動の時数増加に合わせて、英語指導助手のティームティーチング（共同授業）を増やすことで、英語の理解が深まり、成果向上の余地が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

ALTは、Assistant Language Teacherの略です。日本人の教員と協力してティームティーチング（共同授業）等を行う外国人のことです。
 ティームティーチングとは、2人以上の指導者による共同授業のことです。

実用英語技能検定支援事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31342	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1824	担当課	学校教育課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	03 中学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	02 教育振興費			基本事項	01	確かな学力の育成	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立中学校の生徒	実用英語技能検定の検定料1回分を市が負担します。 ＜受験級の目安＞ ・中学1年生…5級 ・中学2年生…4級 ・中学3年生…3級
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	目安の受験級以上を取得している場合は、さらに上位級に挑戦できるよう検定料を市が負担します。
英語力や学ぶ意欲が向上します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	実用英語技能検定の受検率	%			91.0
成果指標	実用英語技能検定3級取得率	%			15.5
	実用英語技能検定の取得率	%			47.9
特財情報		事業費合計	千円		5,509
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		5,509

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）英検の受験者数は中学生全体の91%にあたる1984名、そのうちの52%にあたる1044名が2級から5級に合格しました。中学3年生で3級以上に合格した生徒は94名で、中学3年生全体の15.5%にあたります。 （原因）検定料を補助したことで、学校を会場に実施できたことで受験者数が増加したと考えられます。 （余地）継続実施することで、さらなる受験者数と合格者数の増加が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

心の教室相談員支援事業

開始年度	2004 (H16) 年度	終了年度		事業番号	30690	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	741	担当課	学校教育課		
款	10 教育費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	01 教育総務費	施 策	02	学校教育の推進			
目	02 事務局費	基本事項	02	心の教育の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
<p>学校において人間関係がうまく築けないなど悩みやストレスを抱える児童生徒 不登校傾向にある又は不登校状態から学校復帰に向けて別室登校等により段階的な取組をしている児童生徒</p>	<p>必要とする学校に心の教室相談員を配置します。 ＜業務内容＞ ・悩みを話せる環境を準備し、子どもの心に寄り添った相談や支援を行います。 ・学級担任と連携し、不適応や問題行動等の未然防止、早期解決に努めます。 ・教室に入れない不登校傾向の子どもや、学校復帰に向けて別室登校している子どもに対し、別室での相談や支援を行います。</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>悩み等を気軽に話すことにより、悩みを軽減するなど深刻な二次障害に陥らないようにして、不登校等の出現を抑えます。不登校状態からの復帰に向けて、障害となる心理面や学習面のサポートにより、段階的に学校復帰が図られます。</p>	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	小学校における心の教室相談員配置校数	校	3	3	3	
	中学校における心の教室相談員配置校数	校	3	4	4	
成果指標	相談件数	件	1,280	1,408	1,520	
特財情報		事業費合計	千円	5,151	7,786	7,595
スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業費県補助金(10/10) 好きですすかがわガンバレ基金繰入金	事業費	国支出金	千円		2,223	0
		県支出金	千円	2,404	2,404	4,624
		地方債	千円			0
		その他	千円	2,747	3,072	2,924
		一般財源	千円		87	47

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）県からはスクールカウンセラー、市ではスクールソーシャルワーカーを配置していますが、心の教育相談員への相談件数は1520件で、前年度と比べ112件増加しています。相談体制の構築に十分な成果が得られています。 （原因）心のケアを必要とする児童生徒が増加していることが、相談件数の増加につながっています。 （余地）子どもを取り巻く環境は複雑化しており、今後も支援要請が増加すると思われるので、事業を継続することで成果向上の余地が見られます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

いじめ不登校対策事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	30691	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1511	担当課	学校教育課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	01 教育総務費			施策	02	学校教育の推進	
目	02 事務局費			基本事項	02	心の教育の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立小学校3～6年生、中学校1～3年生及び教員	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 全小・中学校において、児童生徒と学級集団の状態を把握するための第1回Q-U心理検査を実施します。 ・6月 各学校または中学校区において、Q-U心理検査の診断結果をもとに、結果分析や指導についての研修を行い、学級集団育成の方針を定めます。 ・7～10月 全小・中学校において、目標とする学級集団づくりに向けて授業や生活場面での取組を展開します。 ・11月～ 全小・中学校において第2回Q-U心理検査を実施し、児童生徒と学級集団の変容を把握し、学級集団育成の方針を修正しながら取組を続けます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の基盤となる学級集団における児童生徒の規範意識や自己肯定感、協働性が高まっています。 ・教員は児童生徒や学級集団の状態を把握・確認し、目標とする学級集団の育成に向けて適切な指導を行っています。 	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	Q-U心理検査を実施した学年の数	学年	94	94	94	
成果指標	学校生活満足群の割合が全国平均を上回った市内の学年の割合	%	96.0	100	92.5	
特財情報		事業費合計	千円	5,159	7,607	4,444
好きですかがわガンバレ 基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	2,228	4,375	4,444
		一般財源	千円	2,931	3,232	0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）Q-U心理検査の結果、学校生活満足群の割合が全国平均を上回った市内の学年の割合は92.5%です。平成30年度より、7.5%悪化しています。 （原因）学校生活満足群の割合の悪化原因は、様々な要因が考えられるため、原因を特定することは難しいと思われます。 （余地）各学校で児童生徒の学級集団の変容を把握し、学級集団育成の方針を修正しながら取り組みを継続することで、成果向上の余地が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

Q-U心理検査は、よりよい学校生活と友達づくりのための検査の事です。 学校生活満足群とは、学級集団が児童生徒の学校生活を充実させる条件を満たしているかどうかの質問に対して、学校生活に満足しており、安心である状態の事です。

部活動支援事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31237	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1761	担当課	学校教育課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	03 中学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	01 学校管理費			基本事項	04	開かれた学校づくりの推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
中学校で部活動を担当している教員	必要とする中学校に部活動指導員を配置します。また、年3回の研修会を実施し、指導力の向上を図ります。 <事業内容> ・実技指導 ・学校外での活動（大会や練習試合）の引率
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
中学校で部活動を担当している教員の勤務負担が軽減されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	中学校における部活動指導員配置人数	人		2	4
成果指標	部活動指導員の総勤務時間数	時間		793	1,430
特財情報		事業費合計	千円	1,446	2,692
部活動指導員派遣事業費国庫補助金(1/3) 部活動指導員派遣事業費県補助金(1/3) ※補助経費対象は、部活動指導員の賃金のみです。	事業費	国支出金	千円	368	763
		県支出金	千円	368	763
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	710	1,166

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）部活動指導員4人が配置されている3校で、総勤務時間が1,430時間と前年度と比較し637時間増え、部活動顧問の勤務負担が軽減され、今までより校務の処理や教材研究の時間を確保することができています。 （原因）4人の部活動指導員の勤務時間数が増えたことで、その分、教員の勤務時間の削減が図られ、教員の働き方に寄与しているものと考えます。 （余地）部活動指導員に適した人材確保が課題となっておりますが、必要とする学校に指導員を配置することにより成果向上の余地はあります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

稲田小校舎改築事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30735	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計	キーコード	1145	担当課	教育総務課		
款	10 教育費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	02 小学校費	施 策	02	学校教育の推進			
目	03 学校建設費	基本事項	06	教育環境の計画的整備の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
稲田小学校	<p><構造・規模></p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 ・延面積 3,231㎡ <p><全体計画></p> <p>2014 (H26) 年度 プロポーザル競技、基本設計、敷地測量 2015 (H27) 年度 実施設計、地質調査 2016 (H28) ～2017 (H29) 年度 校舎改築（杭、建築、電気、機械） 2018 (H30) 年度 旧校舎解体、屋外整備 2019 (R1) 年度 屋外整備（グラウンド・テニスコート）</p> <p>校舎完成年月 2018 (H30) 年3月</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
校舎の完成により、児童が安全に利用でき、グラウンド整備により教育環境が整います。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	年度別事業費	千円	1,074,993	126,977	176,129	
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	86.2	93.1	100	
特財情報		事業費合計	千円	1,074,993	126,977	176,129
義務教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円	240,744		0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円	769,200	118,700	167,100
		その他	千円			0
		一般財源	千円	65,049	8,277	9,029

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）小学校校舎の改築が2017（H29）年10月、中学校校舎の改修及び既存校舎の解体が2018（H30）年3月、外構工事（グラウンド・テニスコート）が2020（R2）年3月に完了しました。 （原因）計画どおりに工事が進んだからです。 （余地）工事が完了し、事業は終了しました。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

阿武隈小校舎大規模改修事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2021 (R3) 年度	事業番号	31230	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1759	担当課	教育総務課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 小学校費			施 策	02	学校教育の推進	
目	03 学校建設費			基本事項	06	教育環境の計画的整備の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
阿武隈小学校	<p><構造・規模></p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造 鉄筋コンクリート造2階建一部3階建 ・延面積 4,602㎡ <p><全体計画></p> <p>2018 (H30) 年度 実施設計 2019 (R1) ～2020 (R2) 年度 改修工事 2021 (R3) 年度 仮設校舎解体</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
校舎の改修により、児童が快適に利用できるようになります。	改修完了年月 2021 (R3) 年3月

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	年度別事業費	千円		17,646	199,324
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		1.6	19.6
特財情報		事業費合計	千円	17,646	199,324
学校施設環境改善国庫交付金 (1/3) 義務教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円		16,503
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	14,900	131,500
		その他	千円		0
		一般財源	千円	2,746	51,321

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/>向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/>低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/>大 <input type="checkbox"/>中 <input type="checkbox"/>小 <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>	<p>（状況）第1期の改修工事を実施し、累計別事業費ベースでみた事業進捗率は19.6%となっていますが、工事工程計画上での進捗率は約80%となっています。</p> <p>（原因）台風第19号の影響で、計画どおりに工事が進まなかったからです。</p> <p>（余地）第1期工事を2020 (R2) 年6月までに、第2期工事を2021 (R3) 年3月までに完了を目指します。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="checkbox"/>一部停滞・遅延</p>	<p>工期の延期に伴い、第1期工事の予算を2020 (R2) 年度に繰越しました。</p>

◆備考

--

西袋第一小学校舎増築事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	31142	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1313	担当課	教育総務課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 小学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	03 学校建設費			基本事項	06	教育環境の計画的整備の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
西袋第一小学校	<p><構造・規模></p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造 鉄骨造2階建 ・延面積 495㎡ <p><全体計画></p> <p>2018 (H30) 年度 実施設計 2019 (R1) 年度 増築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1棟増築 ・特別教室4室（音楽室、図工室、図書室、特別活動室）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
児童数の増加にともなう教室不足が解消されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	年度別事業費	千円		15,029	125,681
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		3.7	50.0
特財情報		事業費合計	千円	15,029	125,681
公立学校施設整備費国庫負担金（1/2） 義務教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円		21,097
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	11,200	79,400
		その他	千円		0
		一般財源	千円	3,829	25,184

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）増築工事を実施し、累計別事業費ベースでみた事業進捗率は50%となっておりますが、工事工程計画上での進捗率は90%となっております。 （原因）台風第19号の影響で、計画どおりに工事が進まなかったからです。 （余地）工期を延期して、2020（R2）年5月までに完了を目指します。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	工期の延期に伴い、予算を2020（R2）年度に繰越しました。

◆備考

--

小学校トイレ洋式化事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31144	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1684	担当課	教育総務課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 小学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	03 学校建設費			基本事項	06	教育環境の計画的整備の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立小学校	<p>小学校のトイレ洋式化工事を行います。</p> <p>・小学校8校 254基</p> <p><全体計画></p> <p>2018 (H30) 年度 実施設計、改修工事</p> <p>2019 (R1) 年度 改修工事 (7校 123基)</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校トイレを洋式化することにより、快適に利用することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	年度別事業費	千円		103,678	98,780
成果指標	洋式化した便器数	基		131	123
特財情報		事業費合計	千円	103,678	98,780
学校施設環境改善国庫交付金 (1/3) 義務教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円	33,128	30,881
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	65,900	67,800
		その他	千円		0
		一般財源	千円	4,650	99

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）小学校の便器123基を洋式化しました。その結果、小学校8校254基が洋式便器になっています。 （原因）計画どおりに工事が進んだからです。 （余地）工事が完了し、事業は終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

国の平成29年度1次補正予算の補助決定により、3月補正予算で予算計上後、平成30年度へ事業繰越をしました。 また、国の平成30年度2次補正予算の補助決定により、3月補正予算で予算計上後、令和元年度へ事業繰越をしました。
--

阿武隈小給食室改築事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	31324	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1796	担当課	学校教育課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	02 小学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	03 学校建設費			基本事項	06	教育環境の計画的整備の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
阿武隈小学校	<p>狭隘で老朽化した給食室を改築します。</p> <p>・給食室延床面積：297.5㎡</p> <p><全体計画></p> <p>2019 (R1) 年度 給食室建築工事</p> <p>2020 (R2) 年度 既存給食室解体工事</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
安全・安心な給食が提供されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	年度別事業費	千円			105,112
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%			46.2
特財情報		事業費合計	千円		105,112
学校施設環境改善国庫交付金(1/3) 義務教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円		15,600
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		85,000
		その他	千円		0
		一般財源	千円		4,512

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）給食室建築工事を実施し、累計別事業費ベースでみた事業進捗率は46.2%ですが、工事工程計画上での建築工事の進捗率は約80%となっています。</p> <p>（原因）台風第19号の影響で、計画どおりに進まなかったからです。</p> <p>（余地）工期を延期して、給食室建築を2020 (R2) 年6月までに、既存給食室解体を2021 (R3) 年3月までに完了を目指します。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延</p>	<p>工期の延期に伴い、給食室建築工事の予算を2020 (R2) 年度に繰越しました。</p>

◆備考

--

中学校トイレ洋式化事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31145	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1685	担当課	教育総務課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	03 中学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	03 学校建設費			基本事項	06	教育環境の計画的整備の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市立中学校	<p>中学校のトイレ洋式化工事を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校6校 212基 <p><全体計画></p> <p>2018 (H30) 年度 実施設計、改修工事 (3校 156基)</p> <p>2019 (R1) 年度 改修工事 (3校 56基)</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
中学校トイレを洋式化することにより、快適に利用することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	年度別事業費	千円		120,086	51,124
成果指標	洋式化した便器数	基		156	56
特財情報		事業費合計	千円	120,086	51,124
学校施設環境改善国庫交付金 (1/3) 義務教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円	38,481	14,710
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	79,500	35,800
		その他	千円		0
		一般財源	千円	2,105	614

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）中学校の便器56基を洋式化し、その結果、中学校6校212基が洋式便器になっています。 （原因）計画どおりに工事が進んだからです。 （余地）工事が完了し、事業は終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 順調・予定通り	

◆備考

国の平成29年度1次補正予算の補助決定により、3月補正予算で予算計上後、平成30年度へ事業繰越をしました。 また、国の平成30年度2次補正予算の補助決定により、3月補正予算で予算計上後、令和元年度へ事業繰越をしました。
--

第三中特別教室棟屋上防水改修事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31285	担当部	教育委員会事務局
会計	01 一般会計			キーコード	1775	担当課	教育総務課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	03 中学校費			施策	02	学校教育の推進	
目	03 学校建設費			基本事項	06	教育環境の計画的整備の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
第三中学校	第三中学校特別教室棟の屋上防水改修工事を行います。 工事面積 368㎡ 施工期間 5月～9月
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
防水工事を実施することで、特別教室棟の快適な学習環境が整い、学校施設の長寿命化が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			12,566
成果指標	事業進捗率	%			100
特財情報		事業費合計	千円		12,566
公共施設等整備基金繰入金	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		12,566
		一般財源	千円		0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）屋上防水改修工事を行い、完了しました。 （原因）計画どおりに工事が進んだからです。 （余地）工事が完了し、事業は終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

市民交流センター生涯学習推進事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31165	担当部	市民交流センター
会計	01 一般会計			キーコード	1720	担当課	企画課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施 策	03	生涯学習の推進	
目	01 社会教育総務費			基本事項	01	多様な学習や活動機会の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内居住または勤務・通学する者	市民交流センターにおいて、定期的に生涯学習事業やイベントを開催します。 <イベント内容> ・市民参加型イベント ・絆事業 ・tetteシネマ ・市文化祭 ・若手アーティスト応援事業 <講座関連> ・tetteスクール（一般、子ども、親子、高齢者対象） ・ジュニアボランティア養成講座 ・tetteミステリーツアー
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
市民交流センターで実施する生涯学習事業を通して、市民が知識や技術を習得します。また、各種イベントを通じて、地域住民相互の交流と親睦が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	生涯学習事業・イベント開催回数	回		18	119
成果指標	生涯学習事業・イベントに参加した市民の割合	%		1.7	27.0
	生涯学習事業・イベントの満足度	%		99.0	96.0
特財情報		事業費合計	千円	8,046	22,163
市民交流センター事業入場料	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		204
		一般財源	千円	8,046	21,959

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）生涯学習事業・イベントの参加者数は市人口の27%で、平成30年度の1.7%から向上していますが、平成30年度は平成31年1月開館のため3か月間の実績です。 また、満足度は96%でほぼ横ばいです。 （原因）あらゆる世代を対象としたプログラムを実施したほか、開館記念イベントも多く開催したことから参加者数も多く満足度も高かったと考えられます。 （余地）生涯学習事業やイベントに対する市民のニーズは今後も増加すると考えられるため、向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input checked="" type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

若者交流応援事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	30810	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1653	担当課	公民館
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施策	03	生涯学習の推進	
目	03 公民館費			基本事項	04	公民館機能の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内居住または勤務・通学する独身男女 (20歳から概ね40歳まで)	友達づくり、仲間づくりが自然とできるような交流会や移動研修等を実施し、若者同士の交流を応援します。（8公民館合同で実施）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公民館での活動を通して、若者同士が交流を深めることで、自然に友達づくり、仲間づくりができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	講座開催回数	回	6	6	6	
成果指標	講座実施の満足度	%	89.1	83.8	92.8	
	講座参加者数（延べ）	人	183	128	67	
特財情報						
	事業費	事業費合計	千円	2,562	1,661	697
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	2,562	1,661	697

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）講座参加者数は67人で、前年度と比較して61人減少しています。 （原因）事業の企画意図と参加者のニーズがマッチングしなかったことが要因と考えられます。 （余地）令和元年度に実施した公民館事業「TOMO活」と勤労青少年ホーム事業「教養講座」を合わせた形で、令和2年度は公民館で若者の交流を伴った教養講座を開催します。また、前年度の参加者の声を聞いて計画する企画委員会を設けることにより、成果向上が図られるものと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	事業内容は計画どおりに実施し、経費の不必要な支出を抑制したことにより、不用額がありました。

◆備考

--

稲田公民館改築事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	30892	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1150	担当課	生涯学習スポーツ課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施 策	03	生涯学習の推進	
目	06 社会教育施設費			基本事項	05	生涯学習施設環境の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
稲田公民館	<p><全体計画></p> <p>平成28年度 用地交渉、契約締結</p> <p>平成29年度 基本設計、用地測量</p> <p>平成30年度 実施設計、地質調査、用地造成工事、道路改築工事</p> <p>令和元年度 建築主体工事、道路改築工事、給水管布設工事、駐車場整備工事</p> <p>令和2年度 多目的広場舗装工事、旧公民館解体工事</p> <p><施設概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造 木造平屋建、延床面積 496.8㎡ ・事務室、会議室、和室、調理実習室
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>現行の耐震基準を下回っている公民館を稲田地域体育館隣接地に移転整備することにより、地域コミュニティ、協働の拠点として有効に活用されています。</p>	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	16,581	100,838	242,731	
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	5.0	23.0	60.0	
特財情報		事業費合計	千円	16,581	100,838	242,731
社会教育施設整備事業債		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円		95,300	230,200
		その他	千円			0
		一般財源	千円	16,581	5,538	12,531

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）建築主体工事他が年度内に完了しなかったため、令和2年度に予算の一部を繰越しました。</p> <p>（原因）台風第19号の影響により工事が遅れたことが原因です。</p> <p>（余地）関係機関と連携し、計画的かつ円滑に事業を進めることで、充実した施設の整備を図ることができ、利用者の利便性向上に繋がると考えられます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延</p>	<p>台風第19号の影響により、建築主体工事他が年度内に完了しなかったため、令和2年度に予算の一部を繰越しました。</p>

◆備考

--

岩瀬公民館移転整備事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30893	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1589	担当課	生涯学習スポーツ課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施 策	03	生涯学習の推進	
目	06 社会教育施設費			基本事項	05	生涯学習施設環境の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
岩瀬公民館	<p><全体計画> 平成29年度 実施設計業務委託 平成30年度 改修工事 令和元年度 移転業務、旧公民館解体工事実施設計委託 （旧公民館は所管替えし、当面の間、文化振興課の収蔵庫として活用します。）</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<p><施設概要> ・構造 鉄筋コンクリート造3階建、延床面積 2,490㎡ ・エレベーター9人乗り1基、トイレ改修等の内装、電気・機械設備改修</p>
岩瀬公民館を岩瀬市民サービスセンターに移転整備することにより、機能が集約され、地域コミュニティ、協働の拠点として有効に活用されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	11,810	376,101	2,609	
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	2.4	90.0	100	
特財情報		事業費合計	千円	11,810	376,101	2,609
社会教育施設整備事業債		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円		351,000	1,300
		その他	千円	11,810		0
		一般財源	千円		25,101	1,309

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況） 事業進捗率は100%となり、事業が完了しました。</p> <p>（原因） 各工事が計画的かつ円滑に施工できたためです。</p> <p>（余地） 公民館の移転は完了しました。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

公民館改修事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31320	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1806	担当課	生涯学習スポーツ課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施策	03	生涯学習の推進	
目	06 社会教育施設費			基本事項	05	生涯学習施設環境の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公民館	公民館の老朽化等に伴う修繕や必要な箇所の改修工事等を行います。 <事業概要> 令和元年度 ・東公民館 電気設備工事 ・長沼公民館 空調設備工事（中央公民館より移設） ・岩瀬公民館 給水設備改修工事
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公民館施設を機能的、効果的に整備することにより、利用者の利便性向上が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			21,131
成果指標	事業進捗率	%			100
特財情報		事業費合計	千円		21,131
社会教育施設整備事業債		事業費	国支出金	千円	0
			県支出金	千円	0
			地方債	千円	18,000
			その他	千円	0
			一般財源	千円	3,131

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）事業進捗率は100%となり、予定通り事業が完了しました。 （原因）関係者との緊密な協議・調整により、施設改修等が順調に進捗したためです。 （余地）実施箇所数は年度により増減しますが、使いやすく整備することにより、施設機能の安定的な維持と利便性の向上を図ることができると考えています。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

競技スポーツ推進事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度		事業番号	30924	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1240	担当課	生涯学習スポーツ課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	06 保健体育費			施策	04	生涯スポーツの推進	
目	01 保健体育総務費			基本事項	01	スポーツ活動の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、本市出身者	競技スポーツによる上位大会出場者に激励金を交付します。 ＜出場大会基準＞ ・オリンピック ・国際大会 ・国民体育大会 ・全日本または全国呼称の各種大会で国民体育大会と同等と判断できるもの等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
競技スポーツの推進を通して、本市在住・本市出身アスリートの育成支援が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	激励金支給件数	件	118	137	163	
成果指標	激励金受給者の上位大会（東北大会以上）での入賞者数	人	50	57	51	
特財情報		事業費合計	千円	2,351	2,735	2,230
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	2,351	2,735	2,230

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）激励金受給者の上位大会（東北大会以上）での入賞者数は51人で、前年度と比較し6人減少しましたが、ほぼ横ばいとなっています。 （原因）激励金の交付、市長への出場報告会の開催など、出場者への応援・サポートが結果に繋がったと考えられます。 （余地）激励金の交付件数は163件で、前年に比べ26件多く交付していることから、上位大会に出場した経験を活かし、今後更なる競技力の向上が見込めると考えられます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

スポーツ振興イメージアップ事業

開始年度	2015 (H27) 年度	終了年度		事業番号	30926	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計	キーコード	1477	担当課	生涯学習スポーツ課		
款	10 教育費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	06 保健体育費	施策	04	生涯スポーツの推進			
目	01 保健体育総務費	基本事項	01	スポーツ活動の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	スポーツ振興イメージアップ事業基本計画に基づき事業を実施します。 ・円谷幸吉メモリアルマラソン大会の公認コースを更新します。 ・円谷幸吉「新成人に贈る言葉」の冊子を作成し、新成人に配布します。また、円谷選手の功績を紹介した小学生向けの冊子を市内小学5年生に配布します。 ・イメージアップタオルを作成し、上位大会に出場する選手に配布し、本市のPRに役立ちます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
円谷幸吉選手の功績を再認識し、次世代へ継承されています。誰もが、いつでも気軽にスポーツに親しむことができるまちとしてのイメージが高まります。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	基本計画における推進事業件数	件	29	29	29	
成果指標	推進事業実施件数	件	8	15	15	
特財情報		事業費合計	千円	5,513	4,260	14,424
保健体育費県補助金 好きですすがわガンバレ 基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			2,900
		地方債	千円			0
		その他	千円			2,763
		一般財源	千円	5,513	4,260	8,761

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）円谷幸吉「新成人に贈る言葉」（冊子）の新成人への配布や、東京2020オリンピック聖火リレーの参加（新型コロナの影響で中止）など、事業実施件数は15件で、前年度から横ばいです。 （原因）事業実施件数は横ばいですが、円谷幸吉選手の顕彰事業など、須賀川市スポーツ振興協会や各種スポーツ団体との連携・協力により、東京2020オリンピックに向け、事業を継続して実施することができています。 （余地）基本計画書にのっとり、スポーツ振興により本市のイメージアップを図ることで、地域の活性化につながります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	東京オリンピック関連トークショーが台風第19号の豪雨災害により中止となりました。また、東京オリンピック聖火リレーが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

◆備考

--

円谷幸吉メモリアルマラソン大会補助事業

開始年度	1976 (S51) 年度	終了年度		事業番号	30923	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計	キーコード	822	担当課	生涯学習スポーツ課		
款	10 教育費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	06 保健体育費	施策	04	生涯スポーツの推進			
目	01 保健体育総務費	基本事項	01	スポーツ活動の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、ランニング愛好者、円谷幸吉メモリアルマラソン大会実行委員会	円谷幸吉メモリアルマラソン大会の円滑な運営のため、大会実行委員会に補助金を交付します。 <大会概要> ・開催日 令和元年10月20日 ・種目 一般男女ハーフマラソン他24部門 ・参加料 一般男女3,500円、高校生1,000円、親子3,000円 中学生500円、小学生500円
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	2019 (R1) 年度 補助金額 7,760千円
円谷幸吉メモリアルマラソン大会を日本陸連公認大会とし、その運営を円滑に進めることにより、参加者が増加するとともに本市への関心の高まりと競技力の向上が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	8,110	8,600	7,760	
	実行委員会との協議回数	回	3	3	3	
成果指標	円谷幸吉メモリアルマラソン大会参加者数	人	3,075	3,084	0	
特財情報		事業費合計	千円	8,110	8,600	7,760
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	8,110	8,600	7,760

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）台風第19号の影響により中止となりました。 （原因）台風第19号の影響により、会場となる須賀川アリーナや一部コースが浸水被害を受けたためです。 （余地）2021 (R3) 年度に予定されている東京オリンピックへ向けて、円谷幸吉選手への注目が更に高まることや、知名度の高い選手の招待などにより、大会参加者が増加する余地があると考えます。また一方で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今後の開催方法の検討も求められます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	台風第19号の影響により中止となりました。

◆備考

--

マレットゴルフ場整備事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30932	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1654	担当課	生涯学習スポーツ課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	06 保健体育費			施策	04	生涯スポーツの推進	
目	02 体育施設費			基本事項	02	スポーツ施設環境の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	虹の台地内にあるテクニカルリサーチガーデンにマレットゴルフ場を整備します。 ・36ホール（平地コース18ホール・山間コース18ホール） ・駐車場、トイレ等 <全体計画> 平成29年度 基本設計 平成30年度 実施設計 令和元年度 整備工事
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
テクニカルリサーチガーデンにマレットゴルフ場を整備することで、市民が健康の保持増進が図られるとともに、安全にマレットゴルフを楽しむことができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	5,184	7,830	108,161	
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	5.0	13.0	100	
特財情報		事業費合計	千円	5,184	7,830	108,161
公共施設等整備基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			99,000
		一般財源	千円	5,184	7,830	9,161

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）年次計画に基づき、整備工事を行いました。実施にあたっては、マレットゴルフを愛好する団体からの意見を取り入れました。 （原因）関係機関と定期的に協議を行うなど、適切な進行管理に努めたためです。 （余地）本事業は、令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

須賀川地域体育施設改修事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	31314	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1801	担当課	生涯学習スポーツ課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	06 保健体育費			施策	04	生涯スポーツの推進	
目	02 体育施設費			基本事項	02	スポーツ施設環境の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
須賀川地域体育施設	老朽した施設の改修や利用者の利便性向上のため、施設の改修工事を実施します。 ＜事業概要＞ ○実施済 ・須賀川アリーナサブアリーナ照明設備改修工事 ・牡丹台体育館屋外トイレ改築工事 ・各地域体育館トイレ洋式化改修工事
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
安全、安心で快適に利用できる施設整備を図り、利便性の向上に努めます。	○台風災害のため工事見送り ・須賀川市民スポーツ会館床張替工事 ・須賀川市民スポーツ会館トイレ洋式化改修工事

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			37,387
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%			60.0
特財情報		事業費合計	千円		37,387
保健体育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		37,100
		その他	千円		0
		一般財源	千円		287

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）台風第19号の影響により、翌年度以降へ見送った工事が2件ありました。 （原因）須賀川アリーナ及び浜田地域体育館が被災したことにより、利用できる体育施設を確保する必要があったためです。 （余地）事業計画の見直しを図り、体育施設の利便性の向上に努めます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	台風第19号の影響により、翌年度以降へ見送った工事が2件ありました。

◆備考

--

長沼体育館改修事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31316	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1803	担当課	生涯学習スポーツ課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	06 保健体育費			施 策	04	生涯スポーツの推進	
目	02 体育施設費			基本事項	02	スポーツ施設環境の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
長沼体育館	老朽した施設の改修や利用者の利便性向上のため、施設の改修工事を実施します。 <事業概要> ・耐震補強工事 ・照明設備改修工事 ・トイレ洋式化改修工事
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
耐震基準を満たした補強工事及び設備改修工事等を行い、安全、安心で快適に利用できる施設整備を図り、利便性の向上に努めます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			33,858
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%			100
特財情報		事業費合計	千円		33,858
社会資本整備総合国庫交付金 (2/5) 保健体育施設整備事業債 公共施設等整備基金繰入金	事業費	国支出金	千円		8,316
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		12,700
		その他	千円		12,770
		一般財源	千円		72

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）当初予定どおり改修工事を実施しました。また、照明をLEDにしたことにより、維持管理経費の削減も図りました。 （原因）計画的に改修工事が進められたためです。 （余地）本事業は令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

岩瀬地域体育施設管理運営事業

開始年度		終了年度		事業番号	30935	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1176	担当課	いわせ悠久の里管理センター
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	06 保健体育費			施策	04	生涯スポーツの推進	
目	02 体育施設費			基本事項	02	スポーツ施設環境の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
岩瀬地域体育施設（いわせ地域トレーニングセンター、いわせグリーン球場、いわせ運動広場、いわせ多目的グラウンド）	・体育施設の維持管理・運営 令和元年度 いわせグリーン球場スコアボードの改修
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
適正な維持管理により、快適に利用することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	開館日数	日	305	305	306	
	修繕・更新件数（20万円以上）	件	0	1	0	
成果指標	利用者数	人	32,561	25,969	26,938	
特財情報		事業費合計	千円	15,829	16,573	27,955
公共施設等整備基金繰入金 いわせ地域トレーニングセンター使用料 いわせ運動広場使用料 いわせグリーン球場使用料 いわせ多目的グラウンド使用料	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	2,097	1,968	12,521
		一般財源	千円	13,732	14,605	15,434

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）開館日数は前年同様でしたが、利用者数は969人増加しました。 （原因）参加者の多い地域体育祭などが順調に開催され、施設利用されたことが主な原因です。 （余地）今後も適切な維持管理により、利用者が快適に利用できるように努めます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

文化センター耐震補強事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度	2021 (R3) 年度	事業番号	30895	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1501	担当課	文化振興課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施策	05	文化芸術の振興と継承	
目	06 社会教育施設費			基本事項	01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
文化センター	大ホールの耐震補強工事と特定天井の脱落防止工事（大ホール・小ホール・ホワイエ）及び一部リニューアル工事を実施します。 <全体計画> 2016 (H28) 年度 耐震補強基本調査業務委託 2017 (H29) 年度 耐震補強基本設計業務委託 2018 (H30) 年度 耐震補強実施設計業務委託 2019 (R1) ～2021 (R3) 年度 耐震補強工事、監理業務委託
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
耐震基準を満たした安全・安心な施設整備を図ります。また、老朽化している設備等の一部リニューアルを行い、利便性の向上を図ります。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	35,937	85,859	292,640	
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	2.0	5.0	15.0	
特財情報		事業費合計	千円	35,937	85,859	292,640
社会資本整備総合国庫交付金 耐震補強工事（1/3） 監理業務委託（1/2） 社会教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円	13,324	27,383	16,703
		県支出金	千円			0
		地方債	千円		53,300	249,800
		その他	千円			0
		一般財源	千円	22,613	5,176	26,137

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）耐震補強改修工事は事業進捗率15.0%ですが、全体としては計画通り順調に推移しています。 （原因）資材の調達や人材確保が順調であったことや工事監理上における大きな問題が生じなかったためと考えられます。 （余地）耐震補強改修工事に係る全体計画の適切な工事監理や工程管理を行うため、引き続き事業者との協議を進めていきます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input checked="" type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

(仮称)文化創造伝承館整備事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30896	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計	キーコード	1592	担当課	文化振興課		
款	10 教育費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	05 社会教育費	施 策	05	文化芸術の振興と継承			
目	06 社会教育施設費	基本事項	01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進			

◆事業概要

対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
(仮称)文化創造伝承館	<p><全体計画></p> <p>2017 (H29) 年度 基本設計、測量委託、不動産鑑定委託等</p> <p>2018 (H30) 年度 実施設計、土地買収、開館準備支援業務委託等</p> <p>2019 (R1) 年度 建築主体工事、外構工事、開館準備支援業務委託等</p>
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
仮設運営している「芭蕉記念館」の一部機能をもつ南部地区拠点施設として整備することで、俳句を中心とする本市の多様な文化・伝統等が後世に継承されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	16,540	176,323	288,937	
成果指標	事業進捗率 (累計別事業費ベース)	%	2	23	56	
特財情報		事業費合計	千円	16,540	176,323	288,936
社会資本整備総合国庫交付金 (2/5) 社会教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円		70,493	114,902
		県支出金	千円			0
		地方債	千円		97,200	156,400
		その他	千円			0
		一般財源	千円	16,540	8,630	17,634

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上 (最高状態維持含む)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>(状況) 台風第19号の影響で工事が年度内に完了しなかったため、2020 (R2) 年度に予算の一部を繰越しました。</p> <p>(原因) 台風第19号の影響により工事が遅れたためです。</p> <p>(余地) 2020 (R2) 年度に工事を繰越しましたが、工事が計画通りに進捗するよう、建物の完成に向けて関係機関と密に連絡を取り、工事の進行管理を行います。</p>
<p>【活動進捗状況 (昨年度)】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

文化センター自主事業

開始年度	1981 (S56) 年度	終了年度		事業番号	30904	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1629	担当課	文化センター
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施策	05	文化芸術の振興と継承	
目	07 文化センター費			基本事項	01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、市外の者	邦楽、クラシック、ミュージカル、演劇、人形劇、歌舞伎、能・狂言、落語、お笑い・漫才、楽器演奏等の各ジャンルから、文化芸術を身近で鑑賞できる機会を提供します。 <実施事業> ・クラシック演奏会 2019 (R1) 年6月29日 (土)
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
音楽等を通して心の安らぎや魅力を提供することで、文化芸術に対する意識の高揚が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	開催数	回	6	5	1	
成果指標	入場者数	人	4,908	3,689	831	
特財情報		事業費合計	千円	35,357	32,823	10,466
文化センター自主事業入場料	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	21,542	15,594	4,126
		一般財源	千円	13,815	17,229	6,340

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）耐震補強改修工事開始前に、最後の事業であるクラシックコンサートを開催したところ、入場者数は831人で、前年度全事業と比べ2,858人減少となりました。 （原因）耐震補強改修工事により、第1四半期までに実施する事業数を1事業としたためです。 （余地）市民や利用者のニーズにあった、より良い企画を興業者から情報収集することやリニューアルオープン後の入場者数の増加に努めることで成果向上につながると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

須賀川特撮アーカイブセンター整備事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30897	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計	キーコード	1447	担当課	文化振興課		
款	10 教育費	政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	05 社会教育費	施 策	05	文化芸術の振興と継承			
目	06 社会教育施設費	基本事項	02	特撮文化拠点都市の構築・発信			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
須賀川特撮アーカイブセンター	貴重な作品の収集・保存・修復・展示等を目的とする施設整備を進めながら、講演会やワークショップなどを開催します。 <全体計画> 2016 (H28) 年度 基本設計等 2017 (H29) 年度 実施設計、耐震計画、ワークショップ事業 2018 (H30) 年度 特撮関連ワークショップ事業、特撮文化推進事業実行委員会設立 2019 (R1) 年度 建築主体工事 開館準備支援業務委託等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
特撮を日本の誇る文化として捉え、貴重な作品の収集・保存・修復・展示等を目的とする施設整備を進めるとともに、講演会やワークショップなども開催することで、特撮文化の魅力が全国に発信されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	12,463	3,592	261,183	
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	5	6	100	
特財情報		事業費合計	千円	12,463	3,592	261,183
地方創生拠点整備国庫交付金(1/2) 社会教育施設整備事業債	事業費	国支出金	千円	5,917	1,767	124,029
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			123,700
		その他	千円			0
		一般財源	千円	6,546	1,825	13,454

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）改修工事が完了しました。 （原因）関係者との協議、調整を密に実施し、改修が順調に進捗したためです。 （余地）本事業は、令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	改修工事が3月末までであり、工事内容変更による契約変更がなかったため、事業費を確定し、3月補正で減額しました。

◆備考

改修工事について、国の平成30年度2次補正予算の補助決定により、3月補正予算で予算計上後、令和元年度へ事業繰越をしました。

円谷英二ミュージアム管理運営事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31154	担当部	市民交流センター
会計	01 一般会計	キーコード	1692	担当課	企画課		
款	10 教育費	政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり			
項	05 社会教育費	施策	05	文化芸術の振興と継承			
目	13 円谷英二ミュージアム費	基本事項	02	特撮文化拠点都市の構築・発信			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、市外の者	<p><施設概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間 9:00～17:00 ・休館日 火曜日、年末年始（12月29日～1月3日） <p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務 ・案内業務 ・特撮文化普及イベント等の開催
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
「特撮の神様」円谷英二監督の偉業を知り、特撮文化に対する興味、理解が深まっています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	年間開館日数	日		69	290
成果指標	年間来館者数	人		23,162	56,060
特財情報		事業費合計	千円	7,131	8,599
好きですかがわガンバレ 基金繰入金 円谷英二ミュージアムPR 用品頒布代	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円	69	2,302
		一般財源	千円	7,062	6,297

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）年間来館者数は56,060人で、平成30年度と比べ32,898人増加しました。平成30年度は、平成31年1月11日開館後の3ヶ月のみの実績です。</p> <p>（原因）質の高い展示などでオープン前から関心も高く、マスコミからも多く取り上げられるとともに、ガイドツアーなどを実施したためと考えられます。</p> <p>（余地）積極的にガイドツアーや、学校と連携した学習を行うことにより、向上の余地があると考えられます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

俳句振興事業

開始年度		終了年度		事業番号	30793	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1174	担当課	文化振興課
款	10 教育費			政策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施策	05	文化芸術の振興と継承	
目	01 社会教育総務費			基本事項	03	文化芸能の継承	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
小学生以上の市民	<p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 俳句ポストや郵送による俳句の募集 （俳句ポスト設置箇所 市内23か所及び小中学校） 夏休み子ども俳句教室等の実施 俳句出前教室
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
俳句の振興により、文化芸能の継承が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	開催回数	回	10	10	8	
成果指標	投句された俳句の数	句	9,764	9,208	8,591	
	参加者数	人	325	364	318	
特財情報		事業費合計	千円	935	852	828
好きですかがわガンバレ 基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	935	852	828
		一般財源	千円			0

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）俳句ポストへの投句数は、前年度と比較し617句減少しました。</p> <p>（原因）子ども俳句教室等の参加者は増加しましたが、台風第19号の影響で中止になった事業があったためです。</p> <p>（余地）子ども向けイベントの成果は向上していますが、講師派遣などの兼ね合いもあり、これ以上の回数増は望めないため、成果向上余地は小さいと考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

松尾芭蕉来訪330周年記念事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31298	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1787	担当課	文化振興課
款	10 教育費			政 策	01	いきいきと人が輝くまちづくり	
項	05 社会教育費			施 策	05	文化芸術の振興と継承	
目	10 芭蕉記念館費			基本事項	03	文化芸能の継承	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、市外の者	松尾芭蕉の本市来訪330周年を記念し、著名人による講演会や「おくのほそ道」に関連する版画展を開催し、「俳句のまち須賀川」の情報を積極的に発信していきます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
俳句の振興と「俳句のまち須賀川」への意識向上が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業開催日数	日			28
成果指標	事業参加者数	人			1,398
特財情報		事業費合計	千円		765
好きですかがわガンバレ 基金繰入金	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		765
		一般財源	千円		0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）記念講演会や版画展等を開催し、1,398人の参加がありました。 （原因）松尾芭蕉来訪330周年を記念し、松尾芭蕉と現在まで続く須賀川俳諧にスポットライトを当てたことが原因と考えます。 （余地）本事業は、令和元年度で終了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

公立岩瀬病院企業団分賦金（不採算医療周産期分）

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31113	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1663	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	01	地域医療体制・制度の充実	
目	01 保健衛生総務費			基本事項	01	充実した地域医療の確保	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立岩瀬病院企業団	公立岩瀬病院が行う不採算医療のうち、周産期医療分に対する分賦金です。 分賦金は、市の前年度普通交付税の基準財政需要額（保健衛生費）に一括算入される構成市町村の算入割合により按分します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	2019 (R1) 年度分賦金 115,186,000円 （内訳）須賀川市 103,023,000円 鏡石町 6,015,000円 天栄村 2,912,000円 玉川村 3,236,000円
公立岩瀬病院の周産期医療が安定的に経営されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	周産期分賦金額	千円		113,314	103,023
成果指標	医業収益対比	%		2.0	1.9
特財情報		事業費合計	千円	113,314	103,023
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	113,314	103,023

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）医療収益対比（医業収益額に占める周産期分不採算医療費額の割合）は、1.9%で、当初計画2.8%に対して0.9ポイント減少しました。</p> <p>（原因）診療報酬改定など変化している医療環境に合わせて、分賦金の計算方法を見直したためです。</p> <p>（余地）医業収益額の急増は困難なため、成果向上の余地は小さいと考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

地域医療対策事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31163	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		1713	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	01	地域医療体制・制度の充実			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	充実した地域医療の確保			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内公的医療機関 行政機関	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 産科及び小児科等の医師招へい支援 医師招へい活動随行、医師招へいのための制度構築に向けた支援等を行います。 須賀川、岩瀬及び石川地方地域医療懇談会の開催 <p>地域医療の課題である産科、小児科医療体制、救急医療体制等についての検討、協議を行います。 （構成員）医療関係者6人、公的病院2人、行政機関10人、計18名</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
地域医療を確保するための取組について共有化が図られ、地域医療に携わる医師不足が改善されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	医師招へい支援活動回数	回		2	2
	地域医療懇談会開催回数	回		0	0
成果指標	年間医師招へい数	人		8	14
特財情報		事業費合計	千円	27	66
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	27	66

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況） 年間の医師招へい数は14人で、当初計画14人に対して同数でした。</p> <p>（原因） 産科婦人科医の招へいについては寄附講座による地域全体での支援が影響していますが、医師の招へいは、病院の自主的な活動が主となったためです。</p> <p>（余地） 医師の招へいは、全国的な医師不足、偏在化により即座に対応できるものではなく、調整に時間がかかることから、今後も公的医療機関と連携しながら、継続して取り組んでいくことにより、成果は向上すると考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

寄附講座設置事業

開始年度	2012 (H24) 年度	終了年度	2024 (R6) 年度	事業番号	30336	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	371	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	01	地域医療体制・制度の充実	
目	01 保健衛生総務費			基本事項	01	充実した地域医療の確保	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公立大学法人福島県立医科大学	寄附講座「周産期・小児地域医療支援講座」を設置します。負担割合は、概ね須賀川市が70%、岩瀬郡及び石川郡町村が30%です（町村の負担割合は、過去3年間の利用者数の平均割合により決定）。 寄附金額3,200万円 （須賀川市、岩瀬郡及び石川郡の各市町村で負担） 須賀川市負担額2,242万円
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
寄附講座により、須賀川地方の小児科及び産婦人科医療に対する調査を行うとともに、医師の派遣を行い、かつ地域に密着した魅力ある後期研修プログラムの開発・研究をすることで、地域医療の充実に貢献しています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	寄附金額	千円	32,000	32,000	32,000	
成果指標	本事業により研究に従事している医師数	人	4	4	4	
	本事業により地域の公的医療機関へ派遣されている医師数	人	4	4	4	
特財情報		事業費合計	千円	32,000	32,000	32,000
地域医療支援講座設置寄附金他町村負担金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	9,570	9,560	9,580
		一般財源	千円	22,430	22,440	22,420

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）研究の一環として、公立岩瀬病院に小児科常勤医師1人、非常勤医師1人、産婦人科非常勤医師1人、福島病院に小児科非常勤医師1人を派遣しており、地域医療の体制が維持されている状況です。 （原因）医師の派遣については、震災以降に病院勤務医が不足し、特に産科医不足は全県的な課題である中、医大が本地域を支える公的医療機関の役割と地域に密着しながら研究する意義を重要視していることが原因と思われます。 （余地）医師の継続派遣については、寄附講座の拡大など、医大と協議を進めることにより、成果向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

地域医療医師業務負担軽減支援補助事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度	2021 (R3) 年度	事業番号	30338	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1512	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	01	地域医療体制・制度の充実	
目	01 保健衛生総務費			基本事項	02	救急医療体制の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内二次救急病院	市内二次救急病院の医師事務作業補助者配置に対して補助金を交付します。 <補助対象> ・市内二次救急病院のうち、公立岩瀬病院を除く2病院における医師事務作業補助者配置に要する経費 <補助基準額> ・1人80万円を上限 <補助率> ・対象経費の2分の1以内
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
救急医療業務に従事する医師の負担が軽減されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	3,000	3,000	2,000	
成果指標	医師事務作業補助者導入で負担が軽減したと思う医師の割合	%	97.0	96.6	90.6	
特財情報		事業費合計	千円	3,000	3,000	2,000
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	3,000	3,000	2,000

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市内二次救急病院（3病院）に対し、ドクタークラークに係る人件費の一部を支援しました。各病院の補助対象人数は、須賀川病院2人、池田記念病院2人で、負担が軽減したと思う医師の割合は90.6%でした。 （原因）医師の業務負担軽減に有効な支援策であり、労働環境の改善を図る病院にとっても適切な手法だったと考えます。 （余地）支援を一定期間続けることで、ドクタークラーク配置の推進につながり、更なる成果向上が期待できます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

保健環境組合分担金（休日夜間急病診療所分）

開始年度	1979 (S54) 年度	終了年度		事業番号	30400	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		390	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	01	地域医療体制・制度の充実			
目	04 休日夜間急病診療所費	基本事項	02	救急医療体制の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
須賀川地方保健環境組合（休日夜間急病診療所）	須賀川市、鏡石町、天栄村を構成市町村とする須賀川地方保健環境組合の休日夜間急病診療所運営費に対する分担金です。 分担金は、須賀川市が88%、鏡石町、天栄村は人口に応じ、組合規約で定める負担割合により決定します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
須賀川地方休日夜間急病診療所が適正に運営されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	分担金額	千円	8,008	8,008	8,008	
成果指標	診療所が臨時に休診した日数	日	0	0	0	
特財情報		事業費合計	千円	8,008	8,008	8,008
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	8,008	8,008	8,008

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）休日夜間急病診療所は、休診することなく年間毎日診療を行っています。</p> <p>（原因）須賀川医師会、須賀川薬剤師会及び構成市町村が須賀川地方の初期救急医療を担う休日夜間急病診療所の重要性を認識し、運営維持が図られています。</p> <p>（余地）インフルエンザ流行時には、医師を2人に増やして患者増に対応するなど、年々診療体制の充実が図られていることから、成果向上の余地は小さいと考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

基本健康診査事業

開始年度		終了年度		事業番号	30345	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		335	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	02	健康づくりの推進			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
40歳以上75歳未満の年度途中で加入した国民健康保険被保険者 40歳以上の生活保護受給者	電話や来所等により登録された方に受診録等の案内を送付します。 医療機関や集団健診会場で基本健康診査を実施します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
健康管理が図られます。また、身体に異状があった場合に早期発見、早期治療ができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	集団健診実施回数	回	55	51	44	
	案内送付者数	人	36	93	107	
成果指標	受診率	%	93.0	97.8	79.4	
特財情報						
		事業費合計	千円	2,433	2,064	1,881
健康増進事業費県補助金 (2/3)	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円	922	446	479
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	1,511	1,618	1,402

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）受診率は79.4%で、前年度と比較して18.4ポイント減少しました。 （原因）台風第19号の被害等により、受診機会を逸したことが原因と思われます。 （余地）引き続き、基本健康診査の広報、周知に努めることにより、受診率向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

後期高齢者健康診査事業

開始年度		終了年度		事業番号	30346	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	336	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	02	健康づくりの推進	
目	01 保健衛生総務費			基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
75歳以上の後期高齢者医療被保険者 65歳以上75歳未満の後期高齢者医療被保険者 （ただし、要介護4及び5の認定を受けている人や長期入院している人は対象外）	対象者全員（要介護4及び5の認定を受けている人や長期入院者は除く）に受診券等を送付し、医療機関や集団健診会場で後期高齢者健康診査を実施します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
健康管理が図られます。また、身体に異状があった場合に早期発見、早期治療ができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	集団健診実施回数	回	55	51	44	
	案内送付者数	人	9,067	9,426	9,560	
成果指標	受診率	%	30.4	29.0	30.7	
特財情報						
		事業費合計	千円	26,890	27,909	31,046
後期高齢者医療特別会計繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	21,472	22,162	27,518
		一般財源	千円	5,418	5,747	3,528

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）受診率は横ばい傾向です。 （原因）健康診査に関する周知と高齢者の健康意識の向上により、受診率が維持されたと考えます。 （余地）案内通知と併せて更に周知活動を図ることで、受診率の向上が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

特定健康診査事業

開始年度	2008 (H20) 年度	終了年度		事業番号	30347	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		347	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	02	健康づくりの推進			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者	対象者全員に受診券等を送付し、医療機関や集団健診会場で特定健康診査を実施します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
主体的に健診を受けることで、健康状態が把握でき、生活習慣の改善・生活習慣病の予防が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	集団健診実施回数	回	55	51	44	
	案内送付者数	人	13,718	13,422	13,139	
成果指標	受診率	%	37.9	39.7	38.7	
特財情報		事業費合計	千円	48,725	55,456	62,879
国民健康保険特別会計繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	48,716	55,446	58,790
		一般財源	千円	9	10	4,089

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）受診率は横ばい傾向です。 （原因）健康診査に関する周知と対象者の健康意識の向上により、受診率が維持されたと考えます。 （余地）未受診者への受診勧奨等を行うことにより、受診率の向上が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

特定保健指導事業

開始年度	2008 (H20) 年度	終了年度		事業番号	30349	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		348	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	02	健康づくりの推進			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
特定健康診査の結果により健康保持に努める必要がある者（国が定めた基準により、「動機づけ支援」「積極的支援」の対象者を選定します）	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動機づけ支援 個別支援（20分）又はグループ支援（80分以上）を行います。面接による支援を原則1回と、通信等を利用した3か月後の評価を行います。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的支援 グループ支援（80分以上）又は個別支援（20分以上）を行います。面接による支援や、通信等を利用した3か月以上の継続的な支援と評価を行います。
生活習慣を見直し行動変容することで、内臓脂肪症候群を予防、改善することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	動機づけ支援実施回数	回	74	74	131	
	積極的支援実施回数	回	7	15	31	
成果指標	特定保健指導実施率	%	21.1	21.1	34.7	
特財情報		事業費合計	千円	3,964	3,260	2,646
国民健康保険特別会計繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	3,964	3,260	2,646
		一般財源	千円			0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）特定保健指導実施率（初回面接）は、前年度と比較し13.6%伸びており、事業成果としては順調です。 （原因）平成30年度に開始した集団健診会場での初回面接の実施方法を変更したことや、時間的制約から面接での継続支援が難しい方に向けて、電話を中心とした支援を開始したことが要因と思われます。 （余地）生活習慣の見直しや健康保持増進の啓発を行い、引き続き、訪問や面接などで参加を勧めることで、実施率の向上が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input checked="" type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

糖尿病性腎症重症化予防事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	30351	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1608	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	02	健康づくりの推進	
目	01 保健衛生総務費			基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
2型糖尿病であり、腎機能が低下している者	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診勧奨 ・保健指導 <p>糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関未受診者及び受診中断者に対して受診勧奨、保健指導を行うことにより治療に結び付けます。</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
糖尿病を適切にコントロールし、人工透析になるのを防ぎます。	糖尿病性腎症等の通院者のうち、重症化するリスクの高い者に対して主治医の判断により、保健指導者を選定して保健指導を行います。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	受診勧奨対象者への通知件数	件	100	43	25	
	保健指導対象者への保健指導実施率	%	70	11.1	57.1	
成果指標	保健指導完了者の検査値改善率	%	100	100	75	
	保健指導完了者の糖尿病性腎症における病期進行率	%	0	0	12.5	
特財情報		事業費合計	千円	316	149	404
国民健康保険特別会計繰入金 (10/10)		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	316	149	404
		一般財源	千円			0

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）保健指導対象者への保健指導実施率は、昨年度から46.0%伸びています。検査値改善率は75%、病期進行率は12.5%と、事業成果としては順調です。</p> <p>（原因）須賀川医師会と連携し、医師からの参加勧奨により参加率が向上しました。前年度と比較し、検査値改善率の低下、病期進行率の上昇が生じたのは、生活内容の詳細な聞き取りが難しく、改善が難しかった人がいたためです。</p> <p>（余地）個別性の高い保健指導実施について、委託機関と協議し対応します。令和元年度は、対象選定基準を変更したため、今後の成果判定に応じ、事業方針を検討します。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

がん検診事業

開始年度		終了年度		事業番号	30352	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	341	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	02	健康づくりの推進	
目	01 保健衛生総務費			基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
①胃がん検診・大腸がん検診 40歳以上の市民 ②肺がん検診（胸部レントゲン） 40歳～64歳の市民（65歳以上の市民は結核検診対象者） ③肺がん検診（喀痰検査） ハイリスク者 ④乳がん検診 40歳以上の女性 ⑤子宮がん検診 20歳以上の女性 ⑥前立腺がん検診 40歳以上の男性	<実施体制> ・施設検診は須賀川医師会、集団検診は福島県保健衛生協会への委託により実施します。（乳がん検診は施設のみ） ・胃がん、子宮がん、乳がん検診は、登録制です。その他の検診は、集団検診時または医療機関へ申し込み、受診します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<周知方法> ・各検診の受診案内を全戸配布し、広報及び市ホームページに検診実施の記事を掲載します。 ・健康診査の配布物にお知らせを同封します。 ・胃がん、子宮がん、乳がん検診は、該当者に案内を送付します。
各種がんの早期発見、早期治療ができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	集団検診実施回数	回	52	51	49	
成果指標	受診率（全検診平均）	%	26.8	28.3	28.8	
特財情報		事業費合計	千円	119,009	124,952	128,758
各種検診個人負担金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	162	159	110
		一般財源	千円	118,847	124,793	128,648

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）受診率は28.8%で、前年度と比較すると0.5ポイント増加しました。 （原因）健康診査と併せて検診を行う人が多いことから、健康診査の受診者増加に伴う増加と思われます。 （余地）健康診査と併せて、がん検診の勧奨を継続することで、受診率は更に向上することが見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

平成30年度から6事業を統合し、がん検診事業としています。

骨粗しょう症検診事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	30353	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	1610	担当課	健康づくり課		
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	02	健康づくりの推進			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
40・45・50・55・60・65・70歳の女性	<p><検診内容> 問診、骨量測定を実施します。 骨量測定は、DXA法またはDIP法により行います。</p> <p><検診体制> 施設検診とし、須賀川医師会に委託します。 整形外科の診療科目を有する医療機関にて検診を行います。</p> <p><受診方法> 検診実施医療機関に直接申し込み、受診します。</p> <p><周知方法> 対象者へ個別に通知します。</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
自身の骨密度を知り、健康管理につなげるとともに、骨量減少を早期に発見し、骨粗しょう症が予防されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	受診案内送付者数	人	3,720	3,732	3,746	
成果指標	受診率	%	26.4	27.0	26.3	
特財情報		事業費合計	千円	4,823	4,635	4,764
健康増進事業費県補助金 (2/3)	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円	1,702	2,569	2,676
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	3,121	2,066	2,088

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）受診率は横ばいで推移しています。</p> <p>（原因）市広報紙による周知を2回行い、周知時期は対象者の関心が高まりましたが、継続的な受診には繋がりませんでした。</p> <p>（余地）受診啓発を強化し、実施期間を通じた周知を行うことで、受診者増加の可能性は大いにあると考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p>順調・予定通り</p>	

◆備考

--

YOU悠ドック事業

開始年度		終了年度		事業番号	30355	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	344	担当課	健康づくり課		
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	02	健康づくりの推進			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
年度内に40歳に到達する市民	対象者全員に案内を送付し、受診者はドックを受診します。 <実施医療機関> ・公立岩瀬病院
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
特定健診の対象となる40歳時にYOU悠ドックを実施することにより、健康意識が向上し、次年度以降も継続して健診を受診します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	実施回数	回	110	104	104	
成果指標	受診率	%	39.3	45.1	39.3	
特財情報		事業費合計	千円	19,989	22,651	21,867
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	19,989	22,651	21,867

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化	(状況) 受診率は39.3%で、前年度と比較して5.8%減少しました。 (原因) 台風被害等により、受診機会を逸したことが原因と思われます。 (余地) 健康診査の重要性を周知することで、受診率の向上が見込まれます。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

健康づくり推進活動事業

開始年度	1965 (S40) 年度	終了年度		事業番号	30357	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		350	担当課	健康づくり課	
款	04 衛生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	02	健康づくりの推進			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
健康づくり推進員 市民	市が委嘱した健康づくり推進員を対象に研修会を実施し、推進員活動を支援するとともに、すかがわ健康づくりポイント事業を行います。 <推進員任期>2年 <推進員活動内容> ・保健事業への協力（がん検診啓発活動、ラジオ体操等） ・研修会の参加（年5回程度） ・地区での啓発活動 <すかがわ健康づくりポイント事業> 県民が一体となり健康づくりを推進するため、参加者へインセンティブを付与します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
健康づくり推進員が健康に関する知識を深め、健康に関する知識の普及・啓発活動が行われることにより、市民の健康意識の向上が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	推進員活動回数	回	775	937	790	
	広報活動回数	回	55	50	48	
成果指標	市民への健康づくり年間延べ啓発活動人数	人	7,128	10,837	8,487	
	ふくしま健民カード発行件数	件	-	47	33	
特財情報		事業費合計	千円	3,121	3,427	3,409
国民健康保険特別会計繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	1,561	1,713	1,704
		一般財源	千円	1,560	1,714	1,705

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市の協力活動等へ積極的に取り組むとともに、地区における広報活動回数は年間48回、延べ啓発人数は8,487人となり、前年度と比較して、2350人の減少でした。 （原因）台風第19号による被災の影響で活動の場や回数が減少し、啓発人数も減少したと考えられます。 （余地）推進員への定期的な声かけや活動支援等を随時行い、研修会などで健康に関する知識を深めてもらうとともに、啓発活動の推進を更に進めることで、成果向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

健康長寿推進事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度		事業番号	30358	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	1191	担当課	健康づくり課		
款	04 衛生費	政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施 策	02	健康づくりの推進			
目	01 保健衛生総務費	基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
75歳以上の後期高齢者医療被保険者	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診データ等各種データの分析 ・福島県立医科大学の支援を受け、市民の健康寿命推進を目指して健診推進や保健指導を行います。 ・特定健診受診率向上対策 ・健診項目目玉メニューの追加等を行います。 ・健康増進ワークショップの開催
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
市民が健康上の理由で制限されることなく生活できています。	<ul style="list-style-type: none"> ・中核病院、医師会、薬剤師会、健康づくり推進員会、食生活改善推進員会等と連携し、医大臨床研究イノベーションセンターの支援を受け、開催します。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	集団健診実施回数	回	55	51	43	
	受診券送付者数	人	5,932	6,560	5,653	
成果指標	受診率	%	10.6	11.3	10.9	
特財情報		事業費合計	千円	30,838	29,589	36,150
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	30,838	29,589	36,150

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）健康長寿健診の受診率は、10.9%となっており、前年度と比較して、ほぼ横ばいです。 （原因）対象者を市内全域に拡大し、周知等を行いました。受診医療機関に限られていることや健診意義の認識不足などにより、受診率の伸びが停滞していると考えられます。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（余地）健診の意義の周知等により、受診者の増加が見込まれます。また、データベースを活用した新たな予防介入・健康改善プログラムの作成や生活習慣改善指導などの展開により、成果向上の余地は大きいと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

成人予防接種推進事業

開始年度		終了年度		事業番号	30377	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1488	担当課	健康づくり課
款	04 衛生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	02	健康づくりの推進	
目	02 予防費			基本事項	01	病気の予防と早期発見・早期治療の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者インフルエンザワクチン 65歳以上 ・高齢者肺炎球菌ワクチン 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳 ・60～64歳の身体障害者手帳1級程度の人 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者インフルエンザ 予診票は医療機関備え付けで、市指定医療機関で1回接種。接種に係る自己負担金は1,000円です。 ・高齢者肺炎球菌 対象者に個別通知で接種券を交付します。接種は、市指定医療機関に接種券を持参して1回接種。自己負担金は2,000円。 ・風しん追加的対策 対象者に個別通知でクーポン券を交付します。医療機関・集団健診会場・事業所健診にて抗体検査を実施、抗体値が低い場合のみ予防接種を実施。 抗体検査・予防接種に係る自己負担金はありません。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
接種率が上がることで、高齢者のインフルエンザが予防され、肺炎球菌感染症への罹患が予防されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	助成金額（高齢者インフルエンザワクチン）	千円	46,828	49,282	53,868	
	助成金額（高齢者肺炎球菌ワクチン）	千円	11,369	10,874	5,093	
成果指標	接種率（高齢者インフルエンザワクチン）	%	60.7	60.3	62.1	
	接種率（高齢者肺炎球菌ワクチン）	%	51.7	48.1	66.9	
特財情報		事業費合計	千円	58,407	60,733	67,611
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	58,407	60,733	67,611

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチンともに、前年度より接種率が向上しました。 （原因）高齢者肺炎球菌は生涯一度のみの助成のため、定期化から年数が経過したことにより対象者自体が減少しています。インフルエンザワクチンは、毎年接種が定着してきていることが想定されます。 （余地）対象者への接種勧奨等を行うことにより、接種率の向上を図ります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

高齢者肺炎球菌予防接種については、過去にワクチン接種を受けたことのある市民は対象外です。
--

高齢者緊急通報システム事業

開始年度	1992 (H4) 年度	終了年度		事業番号	30218	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	308	担当課	長寿福祉課
款	03 民生費			政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 社会福祉費			施 策	03	高齢者福祉の推進	
目	03 老人福祉費			基本事項	01	地域包括ケアシステムの推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
在宅でひとり暮らしの概ね70歳以上の高齢者	緊急通報装置を利用者へ貸与し、緊急通報装置またはペンダント型通報装置を押すことにより通報されます。また、センサーにより一定時間動きがなかった場合も自動で通報されます。さらに、孤独感の解消を図るため週に1回安否確認の電話をします。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<緊急通報システム実施概要> 通報時は委託業者が駆けつけるとともに登録された協力員や緊急連絡先へ連絡をし、高齢者の救助、援助を行います。 ・申込先 地域包括支援センター ・利用者負担 生活保護世帯は利用者負担なし。市民税非課税世帯、市民税均等割額のみ課税世帯月額500円。市民税所得割額課税世帯月額1,000円。
安心して日常生活を送ることで、孤独感などの精神的な不安が解消されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	緊急通報装置貸与件数	件	251	244	227	
	通報件数の内、救助・援助が必要な件数	件	20	23	15	
成果指標	通報により救助・援助がなされた割合	%	100	100	100	
特財情報		事業費合計	千円	9,358	8,903	8,738
明るい長寿社会を築く市民基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	4,600	4,400	4,360
		一般財源	千円	4,758	4,503	4,378

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）通報により救助・援助がなされた割合は前年度と同じく100%でした。通報件数の内、救助・援助が必要な件数は15件で前年度と比べ8件減少しています。 （原因）通報時救助援助を迅速に行っています。通報件数は減少しても、センサーや安否確認電話により安否の確認は取られています。 （余地）通報時の救助・援助体制は十分整っていますが、緊急通報装置システムを利用していない対象者やその家族に周知・啓発することにより、機器貸与件数と併せ、救助・援助されるケースが増加すると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

認知症高齢者GPS機器貸与事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31273	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1766	担当課	長寿福祉課
款	03 民生費			政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 社会福祉費			施 策	03	高齢者福祉の推進	
目	03 老人福祉費			基本事項	01	地域包括ケアシステムの推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認知症の高齢者等を在宅で介護している者	認知症の高齢者等を在宅で介護している家族等に対して、所在が確認できるGPS位置情報機器を貸与し、行方不明となった場合に位置情報の確認を行い、速やかに保護します。 (業務委託により実施) <利用者負担分> ・初期負担なし ・月額料金 500円 (税別) ・その他、現場急行料金や位置情報提供料金等別途負担が生じる場合があります。 <市負担分> ・加入料金 5,000円 (税別) ・充電器 (1セット) 2,000円 (税別)
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
GPS機器を貸与することで速やかに所在が確認でき、認知症高齢者やその家族等が、住み慣れた地域で安心して生活することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	利用者数	人			3
成果指標	探索発見割合	%			100
特財情報		事業費合計	千円		122
好きですかがわガンバレ 基金繰入金	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		122
		一般財源	千円		0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）開始初年度となる令和元年度の利用者は3人です。GPS機器を利用した探索件数(位置情報提供回数)は24回です。 （原因）広報すかがわ及びウルトラFMなどでの事業周知に努めましたが、事業の認知度がまだまだ低いことが原因と考えます。 （余地）利用者を増加させる方策として、医療機関等でのポスター掲示のほか、介護支援専門員等が事業紹介できるリーフレットを活用することで、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	事業は計画通りに行われましたが、初年度ということもあり、不用残が生じました。

◆備考

--

運動器具設置推進事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31289	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1780	担当課	長寿福祉課
款	03 民生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 社会福祉費			施策	03	高齢者福祉の推進	
目	03 老人福祉費			基本事項	02	介護予防と社会参加の促進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	地域コミュニティの場でもある集会所敷地等に、高齢者をはじめとした地域住民が気軽に使用できる屋外運動器具を設置します。2019 (R1) 年度はモデル事業として2箇所設置します。 <運動器具> 筋力向上、バランス改善、持久力改善、柔軟性改善、体幹強化などに効果のある運動器具（5種類程度）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
運動する機会と場所を提供することにより運動習慣が定着し、健康意識の向上が図られています。	○2019 (R1) 年度は、モデル事業として2か所（集会所1か所、都市公園1か所）に設置。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	運動器具を設置した箇所数	件			2
成果指標	利用率	%			1
特財情報		事業費合計	千円		9,887
公共施設等整備基金繰入金	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		9,680
		一般財源	千円		207

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）集会所敷地に設置した運動器具の利用率は1%でした（町内会住民へのアンケート調査を実施）。なお、都市公園に設置した運動器具の利用率は取得できませんでしたが、遊具の隣に設置しているため、一体的に利用されていると思われます。 （原因）年度後半に設置したため十分に周知されていないことや、集会所敷地への設置が住民ニーズに合っていないなどが要因と考えられます。 （余地）町内会等からは、公園や運動場への設置を希望する意見があるため、モデル事業の検証を進めるとともに、住民の要望に沿った事業の方向性を検討します。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

小規模多機能型居宅介護事業所整備等補助事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31276	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	1767	担当課	長寿福祉課		
款	03 民生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 社会福祉費	施策	03	高齢者福祉の推進			
目	03 老人福祉費	基本事項	04	介護保険制度の適正な運営			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
施設を整備する補助対象事業者 市民	介護保険事業計画に基づく施設整備に対し、福島県地域医療介護総合確保基金事業を活用して補助金を交付します。 (補助率10/10) <補助単価> ・施設整備事業費 1施設につき33,600千円(上限) ・開設準備等経費支援事業費 9名(宿泊定員)×839千円=7,551千円 (宿泊定員数に応じて上限額は変動します。)
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
高齢者の安定した生活に寄与するための施設が円滑に整備され、利用者が適正なサービスを受けています。	<全体計画> 2018 (H30) 年度 事業者の公募及び選定 2019 (R1) 年度 施設整備等の事業実施 2020 (R2) 年4月 施設開所

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	補助金交付件数	件			1
成果指標	補助により整備された施設数	施設			1
	補助により整備された施設の宿泊定員数	人			9
特財情報		事業費合計	千円		41,151
地域密着型サービス等整備 事業費県補助金(10/10) 施設開設準備経費等支援事 業費県補助金(10/10)	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		41,151
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	(状況) 県の補助決定を受けて、宿泊定員9人、施設1か所の整備を終了しています。 (原因) 事業者の公募・選定を経て、実施事業者が決定され、施設整備が実施されたためです。 (余地) 本事業は令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況(昨年度)】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

重度心身障がい者医療費助成事業

開始年度	1974 (S49) 年度	終了年度		事業番号	30170	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		171	担当課	社会福祉課	
款	03 民生費	政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 社会福祉費	施 策	04	障がい者福祉の推進			
目	01 社会福祉総務費	基本事項	02	障がい福祉サービスの充実と社会参加の促進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
下記支給対象者のうち受給者証交付者 ・身体障害者手帳2級以上所持者（内部障害は3級以上） ・療育手帳A所持者 ・精神障害者保健福祉手帳1級所持者 ・身体、療育、精神手帳複数所持者	支給対象者の申請を受けて、医療機関等で診療を受けた際の自己負担金を審査のうえ、給付対象者に現金給付します。 重度心身障がい者医療費の1/2を県が補助します。 <目的> 重度心身障がい者は定期的な通院・治療が必要なため、医療費負担が大きくなることから、その負担軽減策として実施する事業であり、経済的負担が大きいため通院等を控え、病状が悪化し、生命の危険を生じさせないことを目指しています。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
医療費による経済的負担の軽減を図り、安心して通院・治療することで健康を維持し、地域で自立し、安定した生活を継続できる状態が維持されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	助成金額	千円	134,769	131,160	126,100	
成果指標	医療費助成を受け、経済的負担が軽減されている延べ障がい者数	人	34,164	33,986	35,102	
	一人あたりの医療費助成年額	円	77,588	82,803	73,657	
特財情報		事業費合計	千円	137,597	139,989	142,646
重度障がい者支援事業費県補助金 (1/2)	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円	67,388	65,579	63,049
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	70,209	74,410	79,597

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）医療費助成を受け、経済的負担が軽減されている延べ障がい者数35,102人で、前年度と比較し1,116人増加しました。一人あたりの医療費助成年額は、前年度と比較し9,146円減額となっています。 （余地）本市では償還払いでの給付となっており、助成額については今後も同額程度で推移することが予想され、成果向上の余地は少ないと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

障がい者福祉サービス給付事業

開始年度	2006 (H18) 年度	終了年度		事業番号	30176	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	222	担当課	社会福祉課		
款	03 民生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 社会福祉費	施策	04	障がい者福祉の推進			
目	01 社会福祉総務費	基本事項	02	障がい福祉サービスの充実と社会参加の促進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
<ul style="list-style-type: none"> ・身体、知的、精神障がい者 ・障がい児 ・難病患者 	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費、訓練等給付 <p>障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付について、障がい者の生活に必要なサービスを本人の希望や認定審査会の結果を踏まえて給付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童通所支援 <p>児童福祉法に基づく児童通所支援給付費を障がい児の保護者の申請により給付します。</p> <p>サービス等利用計画、障害児支援計画を福祉サービス利用者ごとに作成します。</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
必要なサービスを利用することにより、地域で自立し、安定した生活を送ることができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	給付費給付件数	件	12,832	13,624	14,265	
成果指標	障がい福祉サービス・障がい児通所支援利用者数	人	703	715	815	
特財情報		事業費合計	千円	1,098,600	1,144,673	1,196,479
障害者自立支援給付費国庫負担金 (1/2) 障がい者自立支援給付費県負担金 (1/4) 放課後等デイサービス支援事業費県補助金 (10/10)	事業費	国支出金	千円	541,677	561,416	588,626
		県支出金	千円	270,839	280,708	294,337
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	286,084	302,549	313,516

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）障がい福祉サービスの利用者数は815人で、前年度と比較し100人増加しています。給付件数は14,265件で、前年度と比較し641件増加しています。 （原因）市内の相談支援事業所6か所、相談支援専門員8名体制で、利用者に応じた障がい福祉サービス利用計画が作成され、障がい児の受給者を中心に障がい福祉サービス利用者数が増加したことが要因と考えられます。 （余地）相談支援体制を拡充することにより、成果向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 非常に順調	当初の見込みから大幅な利用件数の増加で予算が不足したため、71,230千円を12月補正で計上しました。

◆備考

平成30年度より成果指標「障がい福祉サービス・障がい児通所支援延べ利用者数」から「障がい福祉サービス・障がい児通所支援利用者数」に変更しました。
--

重度心身障がい者タクシー料金及び自動車燃料費助成事業

開始年度	1987 (S62) 年度	終了年度		事業番号	30188	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード		237	担当課	社会福祉課	
款	03 民生費	政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 社会福祉費	施 策	04	障がい者福祉の推進			
目	01 社会福祉総務費	基本事項	02	障がい福祉サービスの充実と社会参加の促進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内に住所を有し、身体障害者手帳1級、2級（肢体不自由者、視覚障がい者のみ）、療育手帳Aのいずれかを所持し、通院等でタクシー等の利用を必要とする者（県の人工透析患者交通費補助事業受給者は除く）	申請時にタクシー券または自動車燃料券を選択することができます。年額14,400円が限度で1枚600円、年度途中で助成を受ける際は、その月の区分に応じ助成券を交付します。タクシー券及び自動車燃料券を利用する場合は、手帳を提示して利用します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	タクシー券は、乗車1回につき、自動車燃料券は1回の給油につき6枚まで利用可能です。
障がい者の社会活動の範囲が広がり、社会参加の促進が図られ、経済的負担が軽減されます。	タクシー券及び自動車燃料券を利用できる事業者は、市長があらかじめ指定した事業者です。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	交付人数	人	812	1,166	1,159	
	交付枚数	枚	19,488	26,896	26,528	
成果指標	タクシー券利用率	%	67.9	65	62.6	
	自動車燃料券利用率	%	-	92	94.9	
特財情報		事業費合計	千円	6,743	12,668	12,637
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	6,743	12,668	12,637

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）タクシー券利用率は62.6%で、前年度と比べ2.4ポイント減少しました。また、平成30年度から交付を始めた自動車燃料券利用率は94.9%でした。 （原因）平成30年4月から利用者の利便性を考慮し、タクシー券に加えて自動車燃料券を選択することができるようにしたことが要因と考えられます。 （余地）移動手段は自家用車が多く、自動車燃料券の交付、利用率が非常に高いことから、成果向上の余地は少ないと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

人工透析患者通院交通費助成事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31156	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	1707	担当課	社会福祉課		
款	03 民生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 社会福祉費	施策	04	障がい者福祉の推進			
目	01 社会福祉総務費	基本事項	02	障がい福祉サービスの充実と社会参加の促進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている人工透析患者	人工透析を受けるため医療機関へ通院する腎臓機能障がい者に対し交通費の一部を助成します。 交通手段は、列車、バス、自家用車ですが、これらの手段がない場合は、タクシーも必要最小限で認めます。 通院交通費の月額が5,000円以下、通院区間が1.5km未満は、該当になりません。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
通院に係る交通費の一部を助成することで、人工透析患者の経済的負担が軽減されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	助成者数	人		18	20
成果指標	一人あたりの助成金額	千円		67	102
特財情報		事業費合計	千円	1,189	2,055
重度障がい者支援事業費県補助金 (1/2)	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円	594	1,027
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	595	1,028

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）身体障害者手帳の交付を受けている人工透析患者数は268人で、20人に助成し、一人当たりの助成金額は102千円でした。 （原因）通院への交通手段としてタクシーを利用する人が多くなったことから、通院交通費が増加したことが要因と考えます。 （余地）助成対象者は今後も同数程度で推移することが予想されることから、成果向上の余地は少ないと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

須賀川市社会福祉協議会補助事業

開始年度	1961 (S36) 年度	終了年度		事業番号	30194	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	207	担当課	社会福祉課		
款	03 民生費	政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 社会福祉費	施策	05	福祉ネットワークの推進			
目	01 社会福祉総務費	基本事項	01	地域による福祉活動の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
社会福祉法人須賀川市社会福祉協議会	須賀川市社会福祉協議会の活動に対して補助金を交付します。 <活動内容> ・組織体制の確立 ・広報活動の推進 ・地域福祉の充実強化
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	地域社会との連携、生活福祉活動、高齢者福祉活動、児童福祉活動、障がい福祉活動、介護保険事業及びその他の福祉活動
社会福祉協議会の基本方針である「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」が推進されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	28,982	33,809	34,702	
成果指標	須賀川市社会福祉協議会加入世帯数	世帯	18,444	18,274	18,169	
特財情報		事業費合計	千円	28,982	33,809	34,702
事業費		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	28,982	33,809	34,702

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）加入世帯数は18,169世帯で、前年度と比べ105世帯減少しています。 （原因）町内会・行政区を通じて加入促進に努めていますが、町内会・行政区に加入する世帯が減少していることや、社会福祉協議会への理解が不足しているため、加入世帯が減少している状況です。 （余地）町内会・行政区に加入する世帯を増やすことや、社会福祉協議会の基本方針及び福祉活動の周知を行い、社会福祉協議会への理解を深めることで、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

心配ごと相談等委託事業

開始年度	2013 (H25) 年度	終了年度		事業番号	30195	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	205	担当課	社会福祉課
款	03 民生費			政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 社会福祉費			施 策	05	福祉ネットワークの推進	
目	01 社会福祉総務費			基本事項	01	地域による福祉活動の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	社会福祉事業（心配ごと相談等）及び社会調査を須賀川市社会福祉協議会に委託します。 <事業概要> ・心配ごと相談窓口業務 専任相談員1名配置 ・講習会の開催 ・声の広報 視覚障がい者への声の広報テープの貸出 ・社会福祉事業に関する調査 一人暮らし、寝たきり等高齢者調査
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
社会福祉事業及び福祉行政の基礎資料となる社会調査を委託することにより、社会福祉の高揚が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	心配ごと相談所開設日数	日	244	244	240	
	講習会開催回数	回	2	2	2	
成果指標	心配ごと相談所相談件数	件	97	102	149	
	講習会参加者数	人	51	45	32	
特財情報		事業費合計	千円	1,486	1,486	1,496
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	1,486	1,486	1,496

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）相談員を配置し相談支援を行っています。相談件数は149件で、前年度と比べ、47件増加しました。講習会参加者数は32人で、前年度と比べ減少しています。 （原因）相談支援包括化推進員を配置し、福祉全般に係る相談窓口の体制を整えるとともに、心配ごと相談窓口の周知を行ったことで、前年度より相談件数が増加したと考えます。 （余地）更なる広報活動を行うことにより、相談件数等が増加すると見込まれることから、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

ボランティアセンター運営委託事業

開始年度	1992 (H4) 年度	終了年度		事業番号	30196	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	206	担当課	社会福祉課
款	03 民生費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 社会福祉費			施策	05	福祉ネットワークの推進	
目	01 社会福祉総務費			基本事項	01	地域による福祉活動の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	ボランティアセンター運営事業を須賀川市社会福祉協議会に委託します。 ＜事業内容＞ ・情報の提供、登録、斡旋、相談 ・福祉教育の推進 ・ボランティア養成研修 ・ボランティア連絡協議会の育成 ・ボランティア保険加入の推進 ・ボランティアの情報の提供 ・災害ボランティアセンターの設置
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
ボランティア活動への参加意識の高揚が図られ、地域福祉の担い手が増えます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	ボランティア養成研修受講者	人	199	158	502	
成果指標	ボランティア登録者数	人	2,128	2,332	2,691	
特財情報		事業費合計	千円	5,299	5,281	5,341
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	5,299	5,281	5,341

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）ボランティア登録者数は2,691人で、前年度と比べ359人増加し、ボランティア養成研修受講者は、前年度と比べ344人増加しました。 （原因）令和元年度は台風第19号災害の災害ボランティアの登録が増えたため、前年度より登録者が増加しました。また、ボランティア養成研修受講者の増加は、介護予防ボランティアの講習会参加者の増加によるものです。 （余地）ボランティア活動の周知や広報活動により、ボランティア活動への参加意識を高め、また市民サポートセンターや地区公民館と連携することにより、成果向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

生活困窮者自立支援事業

開始年度	2015 (H27) 年度	終了年度		事業番号	30201	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計	キーコード	1301	担当課	社会福祉課		
款	03 民生費	政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり			
項	01 社会福祉費	施 策	05	福祉ネットワークの推進			
目	01 社会福祉総務費	基本事項	02	生活困窮者への自立支援			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
生活に困窮し支援の必要がある者（生活保護受給者は除く）	市生活相談支援窓口を設置し、生活困窮者の抱えている課題に対応するため、ニーズに応じた支援プランを作成し支援調整会議等を開催するなど、関係機関と連携しながら包括的に支援を行います。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	失業のため家賃の支払いが困難な生活困窮者に対する最長9か月の家賃補助（住居確保給付金）や、相談者の状況に応じた就労支援、基礎能力の形成を図る就労準備支援、家計管理能力の向上を図る家計改善支援、住居喪失者へ食住等を提供する一時生活支援などにより、自立に向けた支援を実施します。
自立した生活を送ることができるようになります。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	支援件数（家賃補助以外）	件	76	89	77	
	支援件数（家賃補助）	件	8	4	4	
成果指標	自立件数（家賃補助以外）	件	32	55	52	
	自立件数（家賃補助）	件	7	4	4	
特財情報		事業費合計	千円	8,341	13,637	13,669
生活困窮者自立相談支援事業費等国庫負担金（3/4） 生活困窮者就労準備支援事業費等国庫補助金（2/3）	事業費	国支出金	千円	7,646	8,973	9,296
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	695	4,664	4,373

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）就労に至り自立した件数が56件で、当初計画の49件を上回りました。 （原因）生活相談支援窓口の周知が図られ、ハローワークと一体となった適切な就労支援を実施したためと考えられます。 （余地）関係機関との連携を図り、相談窓口について周知することにより、相談・自立件数が増えることが予想されることから、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

包括的相談支援体制構築事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31287	担当部	市民福祉部
会計	01 一般会計			キーコード	1765	担当課	社会福祉課
款	03 民生費			政 策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 社会福祉費			施 策	05	福祉ネットワークの推進	
目	01 社会福祉総務費			基本事項	99	施策の総合推進 (福祉ネットワークの推進)	

◆事業概要

対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
<ul style="list-style-type: none"> ・8050世帯 ・ダブルケア世帯 ・制度の狭間、自ら相談に行く力がないなど複合化、複雑化した課題を抱える世帯 	<p>支援対象世帯が抱える複合化・複雑化した課題を解決するために、相談支援をワンストップ化し、専門性を有する多機関の協働による包括的相談支援体制を構築する事業を、須賀川市社会福祉協議会に委託し実施します。</p> <p>2019 (H31)年4月には、相談支援体制の全体を統括し各専門機関間の支援をコーディネートする「相談支援包括化推進員」2名を委託先に配置しました。2020 (R2)年4月には、「福祉まるごと相談窓口」を市社会福祉協議会内に開設しました。</p>
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
<p>複合化・複雑化した課題を抱える世帯の課題を整理し、適切な福祉サービスに繋げることにより、自立した安定的な生活を送ることができています。</p>	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	相談件数	件			42
成果指標	相談終了率	%			26.2
特財情報		事業費合計	千円		14,715
生活困窮者就労準備支援事業費等国庫補助金 (3/4)	事業費	国支出金	千円		11,036
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		3,679

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上 (最高状態維持含む)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>(現状) 令和元年度から開始した事業であり、ケース会議を開催した相談件数は42件でした。そのうち相談終了率26.2%となりました。</p> <p>(原因) 相談終了率が低い原因は、包括的な悩みを抱える相談は、短期間で終結させることが困難なためです。</p> <p>(余地) 令和2年度から多機関の協働による包括的相談窓口として「福祉まるごと相談窓口」を開設することで、相談支援体制も強化されることから、相談件数とともに相談終了率の向上が見込まれます。</p>
<p>【活動進捗状況 (昨年度)】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

自治会活動促進事業

開始年度	2005 (H17) 年度	終了年度		事業番号	31232	担当部	企画政策部
会計	01 一般会計	キーコード		133	担当課	企画政策課	
款	02 総務費	政 策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり			
項	01 総務管理費	施 策	01	地域コミュニティ活動の推進			
目	10 市民協働推進費	基本事項	01	自治会活動の活性化			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入者に町内会・行政区への加入を促すチラシの配付 ・不動産業者に町内会・行政区への加入を促すチラシを配付し、加入を勧めてもらう取組 ・町内会・行政区からの相談対応 ・須賀川市嘱託員親交会に対する助成
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
町内会・行政区への加入率が上昇し、地域の伝統行事を守りながら自分の住む地域は自分たちで住みやすくしていくという地域コミュニティ活動が活性化されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	転入窓口でのチラシ配付枚数	枚	1,000	1,000	1,000	
成果指標	自治会加入率	%	74.3	73.7	72.8	
特財情報		事業費合計	千円	1,762	2,100	1,915
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	1,762	2,100	1,915

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）嘱託員を通じた地域住民と市との連絡調整については順調に実施されていますが、町内会の加入率は72.8%で、前年度と比べ0.9ポイント減少し、年々微減傾向にあります。</p> <p>（原因）アパート入居者の加入率の低さや、世帯分離などによる世帯数の増加が主な要因と考えられます。</p> <p>（余地）アパートを管理する不動産業者に、入居者への町内会加入促進の協力を依頼するとともに、窓口での転入者への呼びかけを行い、自治会活動への理解を求めることで、町内会・行政区加入率が向上し、成果向上の余地があると考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

地域コミュニティ活性化推進事業

開始年度	2005 (H17) 年度	終了年度		事業番号	30091	担当部	企画政策部
会計	01 一般会計	キーコード		98		担当課	企画政策課
款	02 総務費	政 策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり			
項	01 総務管理費	施 策	01	地域コミュニティ活動の推進			
目	10 市民協働推進費	基本事項	01	自治会活動の活性化			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
町内会・行政区及び地域コミュニティの活性化に関する取組を実施する団体	地域コミュニティの活性化に資する事業を計画している団体からの相談に対して対応するとともに、事業実施の際には、要綱に基づき経費の助成を行います。 <補助内容> ふるさとづくり支援事業補助金 ・ふるさとづくり事業 補助率9/10以内、上限1,000千円、同一事業については3年間まで申請可能 ・花いっぱい推進事業 補助率10/10以内、上限150千円
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
自分たちの地域は自分たちで考えるという意識が醸成されるとともに、地域コミュニティの活性化が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助額	千円	10,444	10,202	7,804	
成果指標	補助事業実施件数	件	43	40	36	
特財情報		事業費合計	千円	11,344	11,140	7,838
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	11,344	11,140	7,838

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）補助申請件数は、前年度の40件から36件と減少しました。 （原因）事業の活用がある程度図られていることが要因と考えられます。 （余地）市広報紙等において取り組みを周知することで、他の町内会等における地域づくりのきっかけとなり、市全体のコミュニティ活性化につながると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

平成29年度から、事業名を「地域コミュニティ組織維持強化事業」から「地域コミュニティ活性化推進事業」に変更しました。
--

集会施設整備補助事業

開始年度	1975 (S50) 年度	終了年度		事業番号	30092	担当部	企画政策部
会計	01 一般会計		キーコード	99	担当課	企画政策課	
款	02 総務費		政 策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり		
項	01 総務管理費		施 策	01	地域コミュニティ活動の推進		
目	10 市民協働推進費		基本事項	01	自治会活動の活性化		

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
町内会・行政区	集会施設の新築・改築・増築・修繕等を実施する町内会、行政区に対し、補助要綱に基づき事業費の一部を補助します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
地域コミュニティ活動の拠点となる集会所が整備されることで、地域コミュニティが一層活性化されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助実施件数	件	15	25	31	
成果指標	事業実施した町内会・行政区のうち、地域コミュニティが活性化した町内会・行政区の割合	%	100	100	100	
特財情報						
	事業費	事業費合計	千円	15,370	22,341	44,434
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	15,370	22,341	44,434

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）補助実施件数が、昨年度の25件から31件と増加しています。 （原因）制度の周知が図られ、有効に活用されているためと考えます。 （余地）時代のニーズなどに対応した支援を行うことで、地域コミュニティの活動拠点整備と、それに連動する活性化が図られると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

コミュニティ助成事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度		事業番号	30093	担当部	企画政策部
会計	01 一般会計	キーコード	1243	担当課		企画政策課	
款	02 総務費	政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり			
項	01 総務管理費	施策	01	地域コミュニティ活動の推進			
目	10 市民協働推進費	基本事項	01	自治会活動の活性化			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
町内会・行政区、任意団体	<p>（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」について、団体に対して周知するとともに、応募を検討している団体からの相談に対し、助言や申請の支援を行います。</p> <p>応募事業が採択された場合の進行管理も行います。</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
コミュニティ活動が活発になり、地域の活性化が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	市が助言や支援を行った団体数	団体	8	8	10	
成果指標	コミュニティ助成事業採択件数	件	4	1	1	
特財情報		事業費合計	千円	7,500	2,300	2,000
コミュニティ助成事業費交付金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	7,500	2,300	2,000
		一般財源	千円			0

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）市が助言や支援を行った団体数は前年度と比較し増加していますが、事業採択件数は1件で、前年度と同数となっています。</p> <p>（原因）申請件数が多く、採択率が低く抑えられています。</p> <p>（余地）県全体での採択件数が年々減少しており、成果向上の余地は小さいと考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

市民活動サポートセンター運営事業

開始年度	2007 (H19) 年度	終了年度		事業番号	30094	担当部	市民交流センター
会計	01 一般会計	キーコード		135	担当課	企画課	
款	02 総務費	政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり			
項	01 総務管理費	施策	01	地域コミュニティ活動の推進			
目	10 市民協働推進費	基本事項	02	市民活動の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、市民活動団体	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の場の提供 ・情報の収集・提供及び相談業務 ・市民活動団体研修会及び利用者会議の開催 ・サポセンフェスティバル（市民活動団体発表・交流会）の開催
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
市民活動が活性化されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「サポセンだより」の発行

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	団体を対象とした研修会、利用者会議の開催回数	回	9	7	9	
成果指標	市民活動サポートセンター登録団体数	団体	69	67	70	
特財情報		事業費合計	千円	1,920	3,347	3,368
市民活動サポートセンター 貸出備品使用料	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	68	97	62
		一般財源	千円	1,852	3,250	3,306

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	<p>（状況）登録団体数は70団体で、前年度と比べ3団体増加しました。 （原因）市民交流センター内に新たに市民活動サポートセンターを設置するにあたり、登録申請が遅れた2団体があらためて登録したことで、新規登録が1団体あったことによるものです。 （余地）今後も「サポセンフェスティバル」や交流会などを開催し、市民に市民活動の理解度向上と参画を促進するとともに、市民活動の重要性が理解されることで、成果は向上すると考えられます。</p>
<p>【成果向上余地】</p> <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

市民活動とは、市民が自発的に、自分たちの生活やコミュニティを良くするために実施する活動のことです。

消防団管理運営事業

開始年度	2005 (H17) 年度	終了年度		事業番号	30667	担当部	総務部
会計	01 一般会計			キーコード	101	担当課	市民安全課
款	09 消防費			政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり	
項	01 消防費			施策	02	防災・減災対策の推進	
目	02 非常備消防費			基本事項	01	地域防災力の向上	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
消防団、消防団員	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の行事、訓練及び研修 ・防火衣、出動服等の消防装備品の貸与 ・消防車両等の適正な管理 ・団員確保の促進
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
災害時における機動力の確保・強化が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	団員実員	人	1,131	1,146	1,130	
成果指標	消防団定数充足率	%	92.63	93.86	92.55	
特財情報						
		事業費合計	千円	22,751	33,895	33,696
地域振興基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円		2,862	2,202
		一般財源	千円	22,751	31,033	31,494

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）消防団員の充足率は92.55%で、前年度と比較し1.31ポイント低下しています。</p> <p>（原因）人口減少、被用者の増加に伴い、団員数の減少傾向が続いています。</p> <p>（余地）引き続き、様々な手段で消防団が活動しやすい環境整備に努めるとともに、団員加入促進の取組を推進するなど、成果向上の余地はありと考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

消防施設整備事業

開始年度	2005 (H17) 年度	終了年度		事業番号	30670	担当部	総務部
会計	01 一般会計	キーコード	104	担当課	市民安全課		
款	09 消防費	政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり			
項	01 消防費	施策	02	防災・減災対策の推進			
目	03 消防施設費	基本事項	01	地域防災力の向上			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
消防屯所、消防水利（防火水槽・消火栓）	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 消防屯所改築 1箇所 第13分団矢沢班（築40年） 防火水槽撤去工事 2箇所 小倉字前仲作地内 塩田字西ノ内地内 消火栓新設等工事 10箇所
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
消防屯所の整備により、地域防災拠点としての機能が確保されています。 消防水利の整備・更新により、地域の防災力が向上しています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	改築した消防屯所数	棟	1	1	1	
	消防水利新設・更新数	基	11	9	15	
成果指標	改築保留消防屯所数	棟	0	2	2	
	保留消防水利施設数	基	0	0	0	
特財情報		事業費合計	千円	50,175	48,030	56,169
消防防災施設整備事業債		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円	20,200	14,100	26,800
		その他	千円			0
		一般財源	千円	29,975	33,930	29,369

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）築40年を経過した1棟の消防屯所の改築が完了したほか、消火栓を15基新設するなど、順調に事業が進捗しています。 （原因）市民の生命と財産を守る消防団の活動拠点である消防屯所や水利施設の機能向上を優先的に行っているためです。 （余地）改築保留消防屯所2箇所については、令和2年度以降に改築を実施するとともに、今後も消防施設の老朽箇所を的確に把握し、計画的に整備することにより、防災拠点としての機能維持向上を図る余地があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

消防自動車等整備事業

開始年度	2005 (H17) 年度	終了年度		事業番号	30671	担当部	総務部
会計	01 一般会計			キーコード	106	担当課	市民安全課
款	09 消防費			政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり	
項	01 消防費			施策	02	防災・減災対策の推進	
目	03 消防施設費			基本事項	01	地域防災力の向上	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
消防自動車（ポンプ車、積載車）、小型動力ポンプ	消防車両等更新計画に基づき更新します。 <事業内容> ・消防ポンプ自動車 1台 第8分団小作田班 ・積載車（軽自動車）1台 第10分団宮本班 ・小型動力ポンプ 3台 第4分団袋田班、森宿班、第10分団堀込班
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
消防力の充実強化が図られ、災害対応力が向上しています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	消防車両購入台数	台	1	3	2	
	小型動力ポンプ購入台数	台	3	1	3	
成果指標	消防車両更新率	%	100	100	100	
	小型動力ポンプ更新率	%	100	100	100	
特財情報		事業費合計	千円	10,788	32,392	31,584
消防防災施設整備事業債		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円	7,200	24,100	23,400
		その他	千円			0
		一般財源	千円	3,588	8,292	8,184

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）消防ポンプ自動車等の購入が完了し、更新率は100%です。 （原因）消防車両等更新計画に基づき、最新鋭の車両やポンプを整備したことによるものです。 （余地）安全・確実・迅速な災害対応を図るため、引き続き、計画に基づいて箇所ごと、用途ごとに最適な整備に努める必要があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

防災体制推進事業

開始年度	1986 (S61) 年度	終了年度		事業番号	30674	担当部	総務部
会計	01 一般会計			キーコード	115	担当課	市民安全課
款	09 消防費			政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり	
項	01 消防費			施策	02	防災・減災対策の推進	
目	04 防災費			基本事項	01	地域防災力の向上	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、町内会・行政区	<p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織の助言や資器材の貸与等、自主防災組織の育成 ・ 自主防災組織結成の推進 ・ 食糧等の備蓄 ・ 水害及び土砂災害ハザードマップの作成・配布 ・ 各地区の緊急貯水槽整備に係る実施設計委託
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
防災意識が向上し、災害時における共助の体制が整っています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	自主防災組織結成済の町内会・行政区	団体	64	65	67	
成果指標	自主防災組織率	%	55.2	56.0	57.8	
特財情報		事業費合計	千円	9,630	89,440	23,456
地域振興基金繰入金 消防防災施設整備事業債	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円	1,300	74,500	12,300
		その他	千円	646	6,620	673
		一般財源	千円	7,684	8,320	10,483

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）町内会・行政区における自主防災組織数が67地区と2地区増加し、組織率は57.8%となりました。</p> <p>（原因）東日本大震災の経験や、全国的な大規模災害の発生により、自主防災組織の必要性が改めて認識されたためと考えられます。</p> <p>（余地）水害による浸水想定区域及び土砂災害警戒区域を網羅した災害ハザードマップの配布や、土砂災害対策などの防災講話等を開催することで、町内会・行政区の連帯感が醸成され、自主防災組織の結成が促進され则认为ます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

準用河川笹平川河川改良事業（補助）

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	30631	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	593	担当課	道路河川課
款	08 土木費			政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり	
項	03 河川費			施策	02	防災・減災対策の推進	
目	02 河川改良費			基本事項	03	治水・浸水対策の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
準用河川笹平川	<p><事業内容> 準用河川笹平川下流域の浸水被害を軽減するため、本河川に並行している道路下に分水路を設置します。</p> <p><全体計画> 全延長L=730m</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<p><2019(R1)年度> BOXカルバート埋設 L=4.5m 上水道管移設補償 N=1式</p>
下流域における浸水被害が軽減されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	4.6	6.3	8.4	
成果指標	浸水被害件数	件	0	0	66	
特財情報		事業費合計	千円	62,608	22,140	29,321
社会資本整備総合国庫交付金(1/3) 河川整備事業債	事業費	国支出金	千円	20,869	7,380	9,773
		県支出金	千円			0
		地方債	千円	39,600	13,200	17,500
		その他	千円			0
		一般財源	千円	2,139	1,560	2,048

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）笹平川流域において、66件の浸水被害が発生しました。</p> <p>（原因）現在、本河川の整備を進めているところですが、台風第19号豪雨では、既存河川を大きく越える雨水が沿川地域に越水したためです。</p> <p>（余地）河川による浸水被害の軽減を図るためには、補助事業メニューを見直すなど、引き続き国・県に対して補助の増額を強く要望し、早急な事業完了を図る必要があります。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延</p>	<p>当初予算より交付額が少額であったため、3月に89,400千円補正減しました。</p> <p>また、台風第19号関係の災害復旧等を優先したことから、予定通り工事が出来なかったため、一部事業を2020 (R2) 年度へ繰越しました。</p>

◆備考

--

交通安全施設整備事業（補助）

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31161	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1690	担当課	道路河川課
款	08 土木費			政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり	
項	02 道路橋りょう費			施策	03	暮らしの安全対策の推進	
目	05 交通安全施設費			基本事項	02	交通安全施設の整備	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認定市道	交通安全施設整備工事を実施します。 <全体計画> 事業期間：2018 (H30) 年度～2024 (R6) 年度 <事業概要> ・市道7301号線（小作田工区）：舗装 L=368m ・市道1508号線（八幡町工区）：舗装 L= 35m ・市道1523号線（大黒町工区）：改良 L=100m ・市道4230号線（岩 渕工区）：用地補償 N=1.0式改良 L=120m
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
歩行空間を確保し、歩行者が安全・安心して通行できる道路に整備します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円		155,373	267,999
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		32.2	55.5
特財情報		事業費合計	千円	59,787	112,626
社会資本整備総合国庫交付金（55/100） 道路橋りょう整備事業債	事業費	国支出金	千円	32,653	61,943
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	21,880	45,500
		その他	千円		0
		一般財源	千円	5,254	5,183

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市道3路線の交通安全施設整備工事を実施し、事業進捗率は55.5%と前年度と比較して23.3ポイント増加しています。 （原因）整備計画に基づき、市道1508号線 L=35.1m、市道1523号線 L=100.4m、市道7301号線L=368.6mの整備工事を実施したためです。 （余地）地権者との交渉に時間を要したことや台風災害対応等で、一部の事業を繰越しましたが、整備率の向上を図るためには、引き続き国・県に対して補助の増額を強く要望していく必要があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	当初予算より交付額が少額であったため、3月に22,419千円補正減と一部節間流用を行いました。 また、地権者との協議に時間を要したことや、台風第19号関連の災害復旧を優先したことなど、一部の事業を2020 (R2) 年度へ繰越しました。

◆備考

平成30年度から個別路線の事業を「交通安全施設整備事業（補助）」に統合しました。
--

交通安全施設整備事業（単独）

開始年度		終了年度		事業番号	30625	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	585	担当課	道路河川課
款	08 土木費			政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり	
項	02 道路橋りょう費			施策	03	暮らしの安全対策の推進	
目	05 交通安全施設費			基本事項	02	交通安全施設の整備	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認定市道	安全・安心かつ円滑な交通を確保するため、安全施設の新設、補修等を行います。 <事業概要> ・道路区画線、ガードレール等の設置 ・注意喚起部路面カラー化 ・歩道横断防止柵等設置 ・歩行空間の確保 等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
交通安全施設が整備され安全に通行できます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	交通安全施設整備箇所数	箇所	7	30	24	
成果指標	交通安全施設の整備による機能改善率	%	100	100	100	
特財情報						
		事業費合計	千円	33,611	48,385	26,785
	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円		2,160	0
		一般財源	千円	33,611	46,225	26,785

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）整備箇所数は24箇所、前年度と比較して6箇所減少しました。 （原因）路面のカラー化や区画線の引き直しなど、24箇所の交通安全施設整備を実施したことによるものです。 （余地）交通安全に対する意識が高まり、施設整備に対する要望が増加傾向にあるため、計画的に整備することにより、安全性が向上するものと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

防犯灯設置事業

開始年度	1978 (S53) 年度	終了年度		事業番号	30103	担当部	総務部
会計	01 一般会計	キーコード	122	担当課	市民安全課		
款	02 総務費	政 策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり			
項	01 総務管理費	施 策	03	暮らしの安全対策の推進			
目	14 諸費	基本事項	04	犯罪に強い地域づくり			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、町内会・行政区	町内会・行政区からの設置申請について、防犯灯設置要綱に基づき、現地調査を実施し、設置委員会での決定を得て、防犯灯を設置します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
防犯灯の効果的な配置により、犯罪防止と交通の安全確保が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	防犯灯の設置及び引受数（年間）	灯	54	69	109	
成果指標	防犯灯の設置数（年度末累計）	灯	6,975	7,044	7,152	
特財情報		事業費合計	千円	1,909	2,436	3,400
好きですかがわガンバレ 基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円		1,219	1,700
		一般財源	千円	1,909	1,217	1,700

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）防犯灯の新設設置件数は71灯、引受件数は38灯、廃止件数は1件で、前年度に比べて108灯増加しました。 （原因）夜間における地域の安全・安心を確保するため、町内会・行政区から申請のあった箇所について、現地調査を実施し、設置委員会の決定を経て、防犯灯を設置したからです。 （余地）夜間における犯罪、事故等の発生を抑制し、市民生活の安全に資するため、今後も現地調査を踏まえ、防犯灯を効果的に設置することで、地域の安全確保が図られるものと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

乗合タクシー運行事業

開始年度	2007 (H19) 年度	終了年度		事業番号	30108	担当部	総務部
会計	01 一般会計			キーコード	126	担当課	市民安全課
款	02 総務費			政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり	
項	01 総務管理費			施策	04	公共交通網の充実	
目	14 諸費			基本事項	02	公共交通の利便性向上	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	乗合タクシー（業務委託） ・平成19年度 試験運行の開始 ・平成20年度 本格運行を開始し継続中 <運行内容> ・利用料金 1回500円 ・運行内容 6:00～18:00の中で1エリア往復2便～8便 ・運行エリア 6エリア ・4人乗りタクシーを活用
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
生活路線バス等の運行がない地域において、乗合タクシーが運行されることにより、交通弱者の移動手段が確保されています。	須賀川市総合交通活性化協議会を開催し、新たな公共交通手段の実施方法の検討や運行結果の評価を実施します。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度				
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	運行便数	便	3,957	3,806	3,753		
	須賀川市総合交通活性化協議会の開催回数	回	2	4	3		
成果指標	利用者数（4/1～3/31）	人	5,625	5,661	5,384		
特財情報		事業費合計	千円	15,049	14,512	14,836	
市町村生活交通対策事業費 県補助金（1/24）		国支出金	千円			0	
		県支出金	千円	1,195	578	409	
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円	13,854	13,934	14,427	

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）利用者数は5,384人で、前年度に比べ277人減少しました。 （原因）昨年10月の台風第19号被害や新型コロナウイルス感染拡大の影響等により利用者が減少したことが要因と考えられます。 （余地）今後も利用者のニーズや利便性を考慮し、運行ダイヤや運行エリアの見直しをすることにより、利用者の増加が図られると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

平成30年度から事務事業名を「地域交通システム運行事業」から「乗合タクシー運行事業」に変更しました。
--

循環バス運行事業

開始年度	2012 (H24) 年度	終了年度		事業番号	30109	担当部	総務部
会計	01 一般会計	キーコード	127	担当課	市民安全課		
款	02 総務費	政策	03	安全に安心して暮らせるまちづくり			
項	01 総務管理費	施策	04	公共交通網の充実			
目	14 諸費	基本事項	02	公共交通の利便性向上			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	市内循環バス2系統4路線を運行します。 <運行内容> 東循環バス（仲の町先回り、北町先回り） 西循環バス（公立病院先回り、市民温泉先回り） ・利用料金 1回100円、1日200円 ・運行 6:00～18:00（平日24便、土曜日12便運行） （日曜日、祝日、年末年始運休） ・小型バスを活用（業務委託） 須賀川市総合交通活性化協議会を開催し、新たな公共交通手段の実施方法の検討と、運行結果の評価を実施します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
中心市街地における公共交通の利便性の向上が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	運行便数	便	5,904	6,468	6,384	
	須賀川市総合交通活性化協議会の開催回数	回	2	4	3	
成果指標	利用者数（10/1～9/30）	人	58,438	66,784	67,903	
	1便当たりの乗車人数	人	9.9	10.3	10.6	
特財情報		事業費合計	千円	7,300	13,485	11,216
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	7,300	13,485	11,216

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）利用者数は67,903人と、前年度に比べ1,119人増加しており、順調に成果向上しています。 （原因）西循環バスの利用者は前年度に比べ441人減少したものの、東循環バスの利用者は1,560人増加しました。平成31年1月にまちなかエリアに市民交流センターtetteが開館したことも要因の一つとして考えられます。 （余地）今後も、市民への事業周知を行うとともに、環境の変化や利用者ニーズを踏まえ、運行便数やダイヤの見直し等を図ることで、さらに利用者の増加が見込まれると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input checked="" type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

平成30年度から「東循環バス運行事業」と「西循環バス運行事業」を、「循環バス運行事業」に統合しました。

道路整備事業（補助）

開始年度	2011 (H23) 年度	終了年度		事業番号	31151	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1689	担当課	道路河川課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	02 道路橋りょう費			施策	01	道路環境の整備	
目	03 道路新設改良費			基本事項	01	道路の整備	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認定市道	道路整備工事を実施します。 <2019 (R1) 年度 事業概要> ・市道Ⅱ-2号線（袋田工区）：改良 L=345m ・市道Ⅰ-2号線（森宿工区）：改良 L= 65m 外 ・市道Ⅱ-27号線（狸森工区）：改良 L=180m ・市道Ⅰ-22号線（塩田工区）：現況測量 N=1式 ・市道 2155号線（西川工区）：測量設計 N=1式 外
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
安全・安心かつ円滑な道路交通網の形成が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円		56,891	177,158
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		12.0	24.7
特財情報		事業費合計	千円	56,891	120,267
社会資本整備総合国庫交付金 (50/100) 道路橋りょう整備事業債	事業費	国支出金	千円	27,543	60,970
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	26,300	53,000
		その他	千円		0
		一般財源	千円	3,048	6,297

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市道3路線の道路改良工事を実施し、事業進捗率が24.7%と前年度と比較して12.7ポイント増加しています。 （原因）整備計画に基づき、市道Ⅱ-27号線 L=180m、市道Ⅱ-2号線 L=345m、市道Ⅰ-2号線 L=65mの改良工事を実施したためです。 （余地）地権者との交渉に時間を要したことや台風災害対応で、一部の事業を繰り越しましたが、整備率の向上を図るためには、引き続き、国・県に対し補助の増額を強く要望していく必要があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	当初予算より交付額が減少であったため、3月に23,258千円補正減と一部節間流用を行いました。 また、地権者との協議に時間を要したことや、台風第19号関連の災害復旧を優先したことから、一部の事業を2020 (R2) 年度へ繰越しました。

◆備考

平成30年度から個別路線の事業を「道路整備事業（補助）」に統合しました。

道路整備事業（単独）

開始年度		終了年度		事業番号	31152	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1686	担当課	道路河川課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	02 道路橋りょう費			施策	01	道路環境の整備	
目	03 道路新設改良費			基本事項	01	道路の整備	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
認定市道	道路整備工事等を実施します。 <2019（R1）度事業概要>（市内一円） ・道路改良工事 N= 7路線 ・舗装新設工事 N= 2路線 ・簡易舗装工事 N=14路線 ・側溝整備工事 N= 4路線 ・測量及び設計等 N= 1式 ・土地及び物件補償 N= 1式
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
生活道路を整備することにより、道路環境が向上します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度				
			2017（H29）	2018（H30）	2019（R1）		
活動指標	事業費	千円	109,078	129,935	240,397		
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	-	23.0	42.6		
特財情報		事業費合計	千円	109,078	129,935	110,462	
道路橋りょう整備事業債		事業費	国支出金	千円		0	
			県支出金	千円		0	
			地方債	千円	3,500	25,300	14,500
			その他	千円			0
			一般財源	千円	105,578	104,635	95,962

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）市道4路線の道路改良工事及び市道13路線の舗装工事を実施し、事業進捗率は42.6%と、前年度と比較して19.6ポイント増加しています。 （原因）整備計画に基づき、改良工事 L=232m、舗装工事 L=1,457mを実施したためです。 （余地）整備率の向上を図るためには、利用状況などにより、優先順位を精査していく必要があります、成果向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

平成30年度から事業番号を変更したことに伴い、活動指標及び成果指標を変更しました。

道路等側溝堆積物処理事業（補助）

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	31188	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1731	担当課	道路河川課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	02 道路橋りょう費			施策	01	道路環境の整備	
目	02 道路維持費			基本事項	02	道路維持管理の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市の管理する側溝	道路等側溝堆積物を撤去及び処理します。 ・実施側溝総延長 L=46,838m
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
側溝堆積物を撤去し、地元での維持管理活動が再開できるようにします。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	実施済延長	m		5,799	11,580
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		8.3	16.5
特財情報		事業費合計	千円	22,890	75,070
福島再生加速化国庫交付金 (50/100)	事業費	国支出金	千円		22,855
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	22,890	52,215

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）事業進捗率は16.5%で、前年度と比較して8.2ポイント増加しています。 （原因）丸田町地区の側溝L=11,580mの土砂堆積物撤去が完了したことによるものです。 （余地）台風第19号豪雨災害対応を優先し、事業を繰り越しましたが、令和2年度の事業完了を図ることで、成果向上が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	台風第19号豪雨災害復旧の対応を優先したことから、令和2年度に繰り越しました。

◆備考

--

橋りょう修繕事業（補助）

開始年度		終了年度		事業番号	31153	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1688	担当課	道路河川課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	02 道路橋りょう費			施策	01	道路環境の整備	
目	04 橋りょう維持費			基本事項	03	橋りょう長寿命化の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市の管理する橋りょう	橋りょう実施設計、修繕を実施します。 <事業概要> N=47橋（診断結果Ⅲ以上及び長寿命化計画の橋梁） ・実施設計 N=5橋 ・定期点検 N=100橋 ・跨線橋定期点検 N=4橋 ・修繕工事 N=6橋
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
橋りょうの機能保全の確保と長寿命化により、橋りょう維持管理費を削減します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	修繕済橋りょう数	基		19	23
成果指標	橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率	%		40.4	49.0
特財情報		事業費合計	千円	71,504	118,010
社会資本整備総合交付金（55/100） 道路橋りょう整備事業債	事業費	国支出金	千円	28,812	74,816
		県支出金	千円		0
		地方債	千円	28,400	18,800
		その他	千円		0
		一般財源	千円	14,292	24,394

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）橋りょう修繕を実施し、橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率が49.0%で前年度と比較して8.6ポイント増加しています。 （原因）社会資本整備総合交付金事業を活用し、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、川原橋ほか3橋の橋りょう修繕工事を実施したことによるものです。 （余地）橋りょう定期点検の結果に基づき計画的に実施することにより、成果向上が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

平成30年度から「橋りょう定期点検事業（補助）」と「橋りょう長寿命化橋りょう修繕事業（補助）」を「橋りょう修繕事業（補助）」に統合しました。
--

牡丹台アメニティゾーン整備事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2024 (R6) 年度	事業番号	31322	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1807	担当課	都市計画課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	04 都市計画費			施策	02	住環境整備の推進	
目	04 公園費			基本事項	01	適切な土地・建物の利用推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民・来訪者	<ul style="list-style-type: none"> ・牡丹台アメニティゾーンの計画・整備を行います。 <全体計画> ・2019 (R1) 年度 基本構想、基本計画 ・2020 (R2) 年度 基本設計 ・2021 (R3) 年度 実施設計 ・2022 (R4) ~2024 (R6) 年度 造成、建築工事等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
本市観光資源の牡丹園とアメニティゾーンの連携により、四季を通じて活用できる複合的な土地利用が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	年度別事業費	千円			51
成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	%			1
特財情報		事業費合計	千円		51
事業費		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		51

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）2019 (R1) 年度にサウンディング型市場調査を実施しました。 （原因）市場調査により交流施設、農業関連施設、スポーツ施設、エネルギー施設の提案を受けることができました。 （余地）調査結果を基に、基本構想及び基本計画を進めていくため、今後の成果向上余地は大きいと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

公園施設長寿命化対策事業（補助）

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2022 (R4) 年度	事業番号	30655	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1303	担当課	都市計画課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	04 都市計画費			施策	02	住環境整備の推進	
目	04 公園費			基本事項	03	安全で快適な公園緑地化の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
都市公園の公園施設 公園利用者	長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を実施します。 ・遊具の長寿命化計画対象は、29箇所の都市公園です。 （補助事業対象：16公園、単独事業対象：29公園） ・遊具以外の公園施設は、2018 (H30) 年度に計画策定調査を行い、2021 (R3) 年度から更新等の工事を予定していません。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<事業概要> ・遊具更新（補助事業） 塚田公園外 15公園（計16公園） プランコ等 39基
公園施設の長寿命化計画により更新が適切に実施され、誰でも安全で快適に利用することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	遊具の更新数（単年度）	箇所	29	0	23	
	公園施設の更新数（単年度）	箇所	0	39	-	
成果指標	遊具の更新率（累計）	%	100	100	60	
	公園施設の更新率	%	0	100	-	
特財情報		事業費合計	千円	10,044	9,612	30,000
社会資本整備総合国庫交付金 (1/2) 都市計画事業債	事業費	国支出金	千円	5,022	4,806	15,000
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			13,500
		その他	千円			0
		一般財源	千円	5,022	4,806	1,500

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	(状況)2019 (R1) 年度は、遊具の更新工事を実施しました。 (原因)国からの交付金で財源が確保できたため、計画とおり事業進捗が図られました。 (余地)2019 (R1) 年度から2022 (R4) 年度まで更新工事を実施するため、成果向上の余地は大きいと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	公園施設長寿命化計画に基づき、事業を実施しているため、進捗状況は順調です。 2020 (R2) 年度実施予定の予算分を前倒しで3月補正に計上し、26,000千円追加しました。

◆備考

--

公園施設長寿命化対策事業（単独）

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2030 (R12) 年度	事業番号	31311	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1797	担当課	都市計画課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	04 都市計画費			施策	02	住環境整備の推進	
目	04 公園費			基本事項	03	安全で快適な公園緑地化の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
都市公園の公園施設 公園利用者	長寿命化計画に基づき、公園施設の撤去・新設等を実施します。 ・遊具の長寿命化計画対象は、29箇所の都市公園です。 （補助事業対象：16公園、単独事業対象：29公園） ・遊具以外の公園施設は、2018（H30）年度に計画策定調査を行い、2021（R3）年度から更新等の工事を予定しています。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
公園施設の長寿命化計画により修繕や更新等が適切に実施され、誰でも安全で快適に利用することができます。	<事業概要> ・遊具撤去・新設 塚田公園外 23公園（24公園） ブランコ等104基

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	遊具の撤去・新設数（単年度）	基		0	36
	公園施設の撤去・新設数（単年度）	箇所		0	-
成果指標	遊具の撤去・新設率（累計）	%		0	35
	公園施設の撤去・新設率	%		0	-
特財情報		事業費合計	千円	0	10,395
都市計画事業債		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		6,800
		その他	千円		0
		一般財源	千円		3,595

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	(状況)2019(R1)年度は、遊具の撤去・新設工事を実施しました。 (原因)長寿命化計画に基づき、計画的かつ効率的に実施していることが原因です。 (余地)2020 (R2) 年度も計画的に遊具の撤去工事等を行うため、成果向上の余地は大きいと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

空家対策事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	30607	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1504	担当課	建築住宅課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	01 土木管理費			施策	02	住環境整備の推進	
目	02 建築指導費			基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
空家	<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定空家等対策 ・空家等解体助成事業の実施 ・空家利活用に向けた取組み
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
空家等の発生又は増加の抑制や適正管理の促進により、良好な生活環境の保全等が図られます。また、定住促進等への空家等の有効活用が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	現地調査件数	件	532	5	9	
	指導、助言件数	件	0	0	0	
成果指標	特定空家件数	件	0	0	2	
特財情報		事業費合計	千円	12,195	2,889	3,275
社会資本整備総合国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	3,932	250	442
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	8,263	2,639	2,833

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）空家等解体補助金についての相談が9件あり、現地調査を実施した結果、4件を特定空家と決定しました。そのうち2件は解体補助金を活用して解体されましたが、残り2件は年度内に解体できず、特定空家件数は2件となりました。</p> <p>（原因）特定空家候補の所有者に解体助成事業を案内したことで、解体を促すことができた一方で、台風第19号の影響により解体業者の手配が困難となったことが要因と考えられます。</p> <p>（余地）2件の特定空家については、引き続き解体補助金の活用を勧め、2020 (R2) 年度中の解消を目指します。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延</p>	<p>解体補助件数は当初7件を見込んでいましたが、現地調査の結果特定空家と決定した空家が4件で、そのうち補助実績が2件にとどまったため、3月補正予算で2,000千円減額しました。</p>

◆備考

<p>特定空家とは、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある空家等をいいます。</p>
--

駅西地区東西幹線道路整備事業（補助）

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度	2023 (R5) 年度	事業番号	30641	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1624	担当課	都市計画課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	04 都市計画費			施策	02	住環境整備の推進	
目	01 都市計画総務費			基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
駅西地区 市民及び来訪者	駅西地区が東西幹線道路（市道1104号線）の整備により、地区の利便性が向上します。また、都市再生整備計画と連携し、良好な住環境の形成と公共交通の円滑化を図ります。 事業延長 L=600m、W=6～12m <全体計画>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	2017 (H29) 年度 実施設計、用地測量、物件調査 2018 (H30) 年度 物件移転補償、用地補償 2019 (R1) 年度 物件移転補償、用地補償 道路改良工事 2020 (R2) ～2023 (R5) 年度 道路改良工事 舗装工事
駅西地区が東西幹線道路の整備により、利便性が向上します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業進捗率（年度別事業費ベース）	%	6.2	15.3	26.3	
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%	6.2	21.5	46.9	
特財情報		事業費合計	千円	26,934	77,578	133,435
社会資本整備総合国庫交付金（55/100） 都市計画事業債	事業費	国支出金	千円	14,810	40,151	73,249
		県支出金	千円			0
		地方債	千円		33,600	53,800
		その他	千円			0
		一般財源	千円	12,124	3,827	6,386

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）計画どおり委託業務や物件移転補償、用地補償、道路整備を実施し、進捗率は46.9%です。 （原因）物件移転補償の遅れに伴い、繰越が発生しましたが、全体事業計画への影響はありません。 （余地）関連工事との調整の必要があるため、成果向上の余地はありません。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

駅西地区東西幹線道路整備事業（単独）

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2023 (R5) 年度	事業番号	31313	担当部	建設部
会計	01 一般会計	キーコード	1764	担当課	都市計画課		
款	08 土木費	政 策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			
項	04 都市計画費	施 策	02	住環境整備の推進			
目	01 都市計画総務費	基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
駅西地区 市民及び来訪者	駅西地区が東西幹線道路（市道1104号線）の整備により、地区の利便性が向上します。また、都市再生整備計画と連携し、良好な住環境の形成と公共交通の円滑化を図ります。 事業延長 L=600m、W=6～12m <全体計画> 2019 (R1) 年度 物件移転補償 2020 (R2) ～2023 (R5) 年度 その他付帯工事等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
東西幹線道路の整備により、駅西地区の利便性が向上します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業進捗率（年度別事業費ベース）	%		15.3	0.9
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		20.6	86.9
特財情報		事業費合計	千円	60,169	627
事業費		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		60,169

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）補助事業の用地買収に関連して、物件調査業務委託を実施しました。 （原因）補助事業の進捗とともに、関連する単独事業を実施しました。 （余地）補助事業は重点事業に計画変更し、単独事業の進捗も図られることから、成果向上の余地は小さいと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

駅西地区都市再生整備事業（補助）

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2023 (R5) 年度	事業番号	31119	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1667	担当課	都市計画課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	04 都市計画費			施策	02	住環境整備の推進	
目	01 都市計画総務費			基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
駅西地区 市民及び駅利用者	駅西地区の都市再生整備計画に基づき、須賀川駅東口の交通渋滞解消と駅西側の利便性を向上し、良好な住環境の形成を図ります。 <全体計画> 事業計画面積 A=23.5ha 2019 (R1) 年度 自由連絡通路（設計）、道路（設計、用地補償）、公園（設計、用地補償）、駅前広場（設計） 2020 (R2)～2023 (R5) 年度 道路、駅前広場、公園等（用地補償、工事） 2021 (R3)～2022 (R4) 年度 自由連絡通路等（工事）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
駅西地区の都市再生整備により、駅西側の住環境が充実し、交通結節点としての利便性が向上します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業進捗率（年度別事業費ベース）	%		0	2.9
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		0	2.9
特財情報		事業費合計	千円	0	94,002
社会資本整備総合国庫交付金（40/100） 都市計画事業債	事業費	国支出金	千円		37,601
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		50,500
		その他	千円		0
		一般財源	千円		5,901

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	(状況) 委託業務や物件移転補償、用地補償を実施し、進捗率は2.9%です。 (原因) 物件移転補償の遅れに伴い、繰越が発生しましたが、全体事業計画進捗への影響はありません。 (余地) 令和2年度から工事に着手するため、今後成果向上の余地があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

駅西地区都市再生整備事業（単独）

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2023 (R5) 年度	事業番号	31118	担当部	建設部
会計	01 一般会計			キーコード	1661	担当課	都市計画課
款	08 土木費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	04 都市計画費			施策	02	住環境整備の推進	
目	01 都市計画総務費			基本事項	04	良好な都市景観の創出・維持	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
駅西地区 市民及び駅利用者	駅西地区の都市再生整備計画に基づき、須賀川駅東口の交通渋滞解消と駅西側の利便性を向上し、良好な住環境の形成を図ります。 <全体計画> 事業計画面積 A=23.5ha 2018 (H30) 年度 修正設計調査（自由連絡通路、橋上駅） 2019 (R1) ～2020 (R2) 年度 詳細設計（駅橋上化等） 2021 (R3) ～2022 (R4) 年度 工事等（駅橋上化等） 2019 (R1) ～2023 (R5) 年度 不動産鑑定、整地工事、駐車場等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
駅西地区の都市再生整備により、駅西側の住環境が充実し、交通結節点の利便性が向上します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業進捗率（年度別事業費ベース）	%		0.5	0.2
成果指標	事業進捗率（累計別事業費ベース）	%		0.5	0.5
特財情報		事業費合計	千円	3,583	2,760
事業費		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	3,583	2,760

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）JRと全体の基本協定を締結し、自由連絡通路と駅橋上化の設計業務を行いました。 （原因）JRと橋上駅の形状についての協議が完了したためです。 （余地）駅橋上化は、JRとの協議により事業進捗が図られますが、令和4年度以降に工事等が行われることから、今後の成果向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

合併処理浄化槽設置整備補助事業

開始年度	1996 (H8) 年度	終了年度		事業番号	30385	担当部	上下水道部
会計	01 一般会計		キーコード	635	担当課	下水道施設課	
款	04 衛生費		政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり		
項	01 保健衛生費		施策	04	生活排水対策の推進		
目	03 環境衛生費		基本事項	01	生活排水処理施設の整備		

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民（合併処理浄化槽を設置する者）	合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付します。 ・補助区域 下水道整備予定区域外 農業集落排水施設整備区域外 ・補助対象 一般住宅の10人槽以下の合併処理浄化槽 ・補助内容 合併処理浄化槽の設置費補助 単独処理浄化槽・汲取り便槽の撤去費補助
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
合併処理浄化槽の設置が促進され、公共用水域の水質が向上します。	※令和元年度から10年間に限り、単独処理浄化槽又は汲取り便槽からの転換を推進する上乘せ補助を行います。なお、概ね7年以上、下水道整備が見込まれない区域は、これまでと同様に補助対象となりますが、上乘せ補助は対象外です。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金交付件数	件	30	39	43	
成果指標	単独処理浄化槽等からの転換基数	基	11	15	22	
	転換進捗率	%	1.0	2.0	2.8	
特財情報		事業費合計	千円	11,129	15,649	20,581
循環型社会形成推進国庫交付金 (1/3) 浄化槽整備事業費県補助金 (1/3)	事業費	国支出金	千円		7,594	4,576
		県支出金	千円	1,752	2,270	3,606
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	9,377	5,785	12,399

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）単独処理浄化槽等からの転換基数は22基で、前年度より7基増加し、転換進捗率は2.8%となっています。合併処理浄化槽設置基数の累計は1,977基です。 （原因）昨年度と比較し、補助金交付件数は4件増えましたが、東日本大震災以降、浄化槽設置補助区域での住宅新築及び改築の動きが一段落していることから、補助金申請が低調傾向になっています。 （余地）単独処理浄化槽等からの転換に対する上乘せ補助の期限などの周知を図ることで、成果向上の余地が見込まれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	東日本大震災から9年経過したことで、浄化槽設置補助区域の住宅新築や改築が一段落していることから、補助金申請は低調傾向になっています。

◆備考

--

合併処理浄化槽維持管理事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2036 (R18) 年度	事業番号	31158	担当部	上下水道部
会計	01 一般会計	キーコード	1709	担当課	下水道施設課		
款	04 衛生費	政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			
項	01 保健衛生費	施策	04	生活排水対策の推進			
目	03 環境衛生費	基本事項	03	処理場・下水道管の適切な維持管理			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民（合併処理浄化槽を管理している者）	合併処理浄化槽の管理者に補助金を交付します。 ・補助区域 下水道供用開始区域外 農業集落排水施設整備区域外 ・補助対象 一般住宅の10人槽以下の合併処理浄化槽 ・補助要件 浄化槽法に基づく維持管理の実施 浄化槽法第11条検査を受検し、検査の結果が「不適正」でないこと
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
合併処理浄化槽が適正に維持管理され、公共用水域の水質が向上します。	・補助内容 10年間、合併処理浄化槽の維持管理費補助 ※令和元年度からの10年間に初回の補助金交付があった合併処理浄化槽を対象に、10年間（年1回、最大10回）補助を行います。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	補助金交付件数	件		262	498
成果指標	合併処理浄化槽（10人槽以下）の11条検査受検率	%		46	48
特財情報		事業費合計	千円	3,297	6,167
事業費		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		3,297

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）補助金交付件数は498件で、合併処理浄化槽（10人槽以下）の11条検査受検率は48%でした。 （原因）対象区域への補助事業の周知が、十分に図られていないのが要因と考えます。 （余地）補助事業の周知を一層図ることにより、補助金交付件数の増加が見込まれ、検査受検率も向上することから、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	事業2年目となり補助金交付申請件数は増加していますが、11条検査受検率が低く、補助金交付要件に合致しないため、申請件数の増加につながらない状況です。

◆備考

11条検査とは、保守点検や清掃などの維持管理が適正に行われ、浄化槽の機能が正常に維持されているかを確認する毎年1回の浄化槽法に基づく法定検査です。

再生可能エネルギー等利用推進事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	30390	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1443	担当課	環境課
款	04 衛生費			政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり	
項	01 保健衛生費			施策	05	環境の保全と循環型社会の形成	
目	03 環境衛生費			基本事項	01	低炭素社会の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民（一般住宅を所有する者）	一般住宅への再生可能エネルギー等装置設置に対し、補助金を交付します。 <補助対象> ・太陽光発電システム ・定置用リチウムイオン蓄電システム ・エネルギー管理システム（HEMS） ・地中熱利用システム
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
再生可能エネルギー等システムの導入が図られ、二酸化炭素の排出量が削減されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金交付件数	件	92	144	130	
成果指標	住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数	件	110	206	175	
特財情報		事業費合計	千円	7,527	11,637	10,025
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	7,527	11,637	10,025

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数は175件で、前年度と比較して31件減少しています。 （原因）固定価格買取制度の価格が低下していること、新築住宅に対する需要が落ち着いていることが要因と考えられます。 （余地）太陽光発電システム設置補助件数は減少していますが、平成19年度より開始された固定価格買取期間（10年間）が終了した方を中心に、蓄電池システム設置補助件数は年々増加していることから、補助対象メニューの拡充余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

資源回収実施団体奨励金等支給事業

開始年度	2010 (H22) 年度	終了年度		事業番号	30419	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	159	担当課	環境課		
款	04 衛生費	政策	04	環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			
項	02 清掃費	施策	05	環境の保全と循環型社会の形成			
目	02 塵芥処理費	基本事項	05	3R (リデュース、リユース、リサイクル) の推進			

◆事業概要

対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
資源回収団体	育成会、町内会等が資源回収を実施した場合に、その収集量に応じて奨励金を支給します。(5円/kg) 上記の団体から資源物を引き受けている事業者に対し、その引受量に応じて助成金を支給します。(1円/kg) <手順> ・年度ごとに団体を登録します。 ・地域で資源を回収し、業者へ資源を引き渡します。 ・業者発行の仕切書を添付し、奨励金等を交付申請します。 ・申請に基づき、奨励金等を支給します。
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
資源回収が促進され、リサイクルが図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	奨励金支給額	千円	3,580	3,413	2,987	
	助成金支給額	千円	529	520	439	
成果指標	資源回収量	t	717	687	598	
特財情報		事業費合計	千円	4,109	3,933	3,427
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	4,109	3,933	3,427

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上 (最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	(状況) 集団資源回収の実施団体数は横ばいですが、資源回収量は前年度と比較し89t減少しています。 (原因) 市内スーパー店頭等で資源物回収が行われていることなどが要因と考えられます。 (余地) 取組団体の増加を図ることにより、回収量も増加する可能性があります。
【活動進捗状況 (昨年度)】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	台風第19号の影響などから、回収実施回数・回収量が減少したため、不用額が生じました。

◆備考

--

企業誘致推進事業

開始年度	1987 (S62) 年度	終了年度		事業番号	30572	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	535	担当課	商工課		
款	07 商工費	政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 商工費	施 策	01	雇用の創出と雇用環境の充実			
目	03 企業誘致対策費	基本事項	01	企業誘致の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
企業	<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 立地計画意向調査の実施（約13,000件） 市企業立地セミナーの開催（大阪地区） ※令和元年台風第19号による被災のため中止 産業展示会への参加（市と工業製品認定企業の共同出展） 企業誘致PV及びものづくり企業ガイドによるPR 空き工場情報の収集 県企業立地セミナー及び県内外産業フェアへの参加 企業訪問サポート事業による企業訪問の実施 企業誘致アドバイザーとの意見交換 工場等立地奨励金の交付
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
須賀川テクニカルリサーチガーデンへの企業誘致が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	意向調査件数	件	20,507	30,829	12,891	
	企業訪問件数	件	14	14	60	
成果指標	工場等の立地数（累計）	社	0	1	2	
特財情報		事業費合計	千円	21,995	25,954	26,564
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	11,439	10,598	10,499
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	10,556	15,356	16,065

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）県工業開発条例に基づく新設の工場設置届出書のうち、須賀川テクニカルリサーチガーデンへの立地は1社（既に企業用地取得済）で、成果は向上しています。</p> <p>（原因）市の企業立地支援制度及び国の津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金の利活用が図られたことによるものです。</p> <p>（余地）引き続き全国トップクラスの奨励金制度を周知するとともに、県等関係機関、立地予定企業及び各学校と連携して従業員確保に向けた支援を講じることにより、成果向上の余地があると考えています。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

工場等立地奨励金補助事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	30576	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	536	担当課	商工課		
款	07 商工費	政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 商工費	施 策	01	雇用の創出と雇用環境の充実			
目	03 企業誘致対策費	基本事項	01	企業誘致の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
企業、市民	<p><工場等立地奨励金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・須賀川テクニカルリサーチガーデン、茶畑地区産業拠点整備事業地域 ・茶畑地区産業拠点整備事業地域 <p>用地取得費の60%以内（交付限度額なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の準工業地域、工業地域、工業専用地域 <p>用地取得費の30%以内（交付限度額あり）</p> <p><雇用促進奨励金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用1人につき50万円（市外居住は15万円）を3年間交付
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
工場等の立地及び雇用が促進されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	助成金額	千円	25,623	20,040	163,888	
成果指標	工場等の立地数（交付件数）	件	1	1	3	
	立地した工場等の雇用者数	人	11	10	47	
特財情報						
	事業費	事業費合計	千円	25,623	20,040	163,888
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	25,623	20,040	163,888

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）令和元年度に民間が分譲している企業用地で操業開始した企業1社と須賀川テクニカルリサーチガーデンで操業開始した企業1社に対し工場等立地奨励金を、平成29年度に民間が分譲している企業用地で操業している企業1社に雇用促進奨励金を交付し、市内及び周辺地域より47人の新規雇用が創出されました。</p> <p>（原因）企業立地支援制度の周知やこれまでの企業誘致活動の結果、新規企業が立地したことなどによるものです。</p> <p>（余地）引き続き企業立地支援制度の周知、充実を図ることにより、成果向上の余地があります。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

須賀川地区就職ガイダンス開催事業

開始年度	2008 (H20) 年度	終了年度		事業番号	30433	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	497	担当課	商工課		
款	05 労働費	政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 労働諸費	施策	01	雇用の創出と雇用環境の充実			
目	03 労働諸費	基本事項	02	雇用の確保			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
翌年度3月新卒の大学・短大・専門学校生、3年以内既卒者、就職予定の高校2年生	<p><大学生等> 多くの地元企業と学生との情報交換の機会を設けるため、ハローワーク及び商工会議所との連携で就職ガイダンスを下記により開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止しました。</p> <p>・開催時期 2020 (R2) 年3月19日（予定月日） ・開催場所 ベル・クイーンズ須賀川</p> <p><高校生> 就職予定の学生に対し地元企業への理解を深めるため、説明会を開催しました。</p> <p>・開催時期 2020 (R2) 年2月5日 ・開催場所 ベル・クイーンズ須賀川</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
地元企業への就職に関する情報提供の機会が提供され、地元就職が促進されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	開催回数	回	2	1	1	
成果指標	就職内定者数	人	0	-	0	
	参加者数	人	37	23	410	
特財情報		事業費合計	千円	443	267	818
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	151	131	178
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	292	136	640

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）新たに高校生を対象とした企業説明会を開催し参加者は410人となりました。しかし、大卒者向けのガイダンスは新型コロナウイルスの影響により中止となりました。</p> <p>（原因）就職を予定している高校2年生について、各学校の協力により学校行事としての参加となったことが、参加者が増えた要因と考えられます。</p> <p>（余地）大卒対象については、周知方法などを見直すことにより就職予定者の参加増が見込まれることから、成果向上の余地があると思われます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延</p>	

◆備考

<p>2017 (H29) 年度は6月に開催しましたが、参加者が少なかったため、3月に追加開催しました。2018年 (H30) 年度からは、なるべく早期に就職予定者にアピールするため3月の開催に変更しましたが、3月開催では、就職協定の制限により就職内定者数が把握できないことから、「参加者数」を成果指標として追加しました。</p>

合同就職面接会開催事業

開始年度	2010 (H22) 年度	終了年度		事業番号	30432	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	498	担当課	商工課		
款	05 労働費	政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 労働諸費	施策	01	雇用の創出と雇用環境の充実			
目	03 労働諸費	基本事項	02	雇用の確保			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
求職者	多くの地元企業と求職者との就業機会を設けるため、ハローワーク及び商工会議所との連携で合同就職面接会を開催し、求職者の早期再就職と地元企業の雇用確保を促進します。 ・開催時期 2019 (R1) 年10月30日 ・開催場所 グランシア須賀川
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
地元企業への就職の機会が提供され、早期就職が促進されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	開催回数	回	1	1	1	
成果指標	就職内定者数	人	3	2	4	
特財情報						
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	事業費合計	千円	329	310	324
		国支出金	千円	164	155	162
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	165	155	162

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）参加者が40人と前年度より増加し、内定者数も4人と前年度より2人増加しました。 （原因）経済の先行きに不透明感が出てきて有効求人倍率に頭打ちの傾向が見られることから、通常の求職活動に加えて参加した方が増加したと思われます。 （余地）ハローワーク須賀川及び商工会議所など関係機関との連携により、引き続き企業と求職者へ向けて周知を図ることで、向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

ふるさとすかがわ回帰支援事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	30434	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1463	担当課	商工課
款	05 労働費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 労働諸費			施策	01	雇用の創出と雇用環境の充実	
目	03 労働諸費			基本事項	02	雇用の確保	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
首都圏等在住の若年求職者、転職希望者 首都圏等で就職面接会を実施する市内企業	<p><事業者の求人活動費の一部補助></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 事業者 ・補助額 求人活動で要した経費等の2/3以内（上限5万円） <p><資格取得費等の一部補助></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 移住者 ・補助額 受講費用の2/3以内（上限7万円）、職業訓練での資料代の1/2以内（上限2万円）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
首都圏等の求職者等に対して市内企業への就職の機会が提供され、希望者が就職し市内へ移住しています。	<p><就職活動に要した旅費の一部補助></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 市外居住者 ・補助額 就職活動等に要した交通費（上限2万円）、宿泊費（上限1日6千円で5日分）

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助件数（事業者向け）	件	0	4	0	
	補助件数（個人向け）	件	2	11	5	
成果指標	就職内定者数	人	0	0	4	
	資格取得後又はUIJターン就職活動後の就職者数	人	2	4	1	
特財情報		事業費合計	千円	16	508	131
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	7	113	37
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	9	395	94

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	<p>（状況）事業者への補助件数は、0件でしたが、前年度補助した事業者の採用活動により今年度4名が採用されました。求職者への補助件数は、5件で前年度と比べて6件減少しました。うち就職者数は1人で、前年度と比べて3人減少しました。</p> <p>（原因）企業参加の就職面接会が新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に中止になったことや求職者5件（4人）のうち2人が自ら起業したことが要因です。</p> <p>（余地）大学や企業に制度の周知を図ることで、申請件数が増える余地はあると考えます。</p>
<p>【成果向上余地】</p> <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

外国人労働者交流促進事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31359	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1832	担当課	商工課
款	05 労働費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 労働諸費			施策	01	雇用の創出と雇用環境の充実	
目	03 労働諸費			基本事項	02	雇用の確保	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内企業に勤務する外国人労働者	市内企業に勤務する外国人労働者に対して、市や日本への知識と理解を深めるための研修・交流事業を委託事業により実施します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
外国人労働者が地域と共生しながら、生活し働いています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	研修会・交流事業開催回数	回			2
成果指標	研修会・交流事業参加者数	人			52
特財情報		事業費合計	千円		178
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		178

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）交流事業は、3回実施予定でしたが、令和元年台風第19号被災の影響により1事業が中止となり、参加者は52人でした。 （原因）交流事業については、他の機関と連携しながら実施するなど、効果的な事業内容となるよう取り組んだためです。 （余地）実施回数の増加や周知方法の見直しなどにより、参加者の増加を図る余地はあるものと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

産地パワーアップ補助事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	31336	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1822	担当課	農政課
款	06 農林水産業費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 農業費			施策	02	農林業の振興	
目	03 農業振興費			基本事項	02	農林業生産環境の整備・保全	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
農業者、農業団体等	農産物の品質向上や収益力強化を図るため、集出荷施設の整備を図る農業者等に対して、経費等の一部を補助します。 <事業概要> ・対象 全ての農作物 ・補助率 県1/2以内、市1/10以内
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
園芸特産物等の生産拡大が図られます。 新技術等の導入により、生産性及び品質の向上が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	補助金額	千円			77,700
成果指標	事業実施農業者（団体）数	戸・団体			1
特財情報		事業費合計	千円		77,700
産地パワーアップ事業費県補助金（1/2）		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		64,750
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		12,950

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）JA夢みなみの東部果実選果場に新たな果樹選果機を導入しました。 （原因）補助対象者の要望に沿った取り組みを行ったためです。 （余地）今後も、農業者の団体等が取組む農産物の産地拡大や生産性向上等を目指した産地強化対策を支援し、地域の課題に沿った経営発展ができるよう事業を実施することで、成果向上の余地があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

農業系汚染廃棄物処理事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	31199	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1747	担当課	農政課
款	06 農林水産業費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 農業費			施策	02	農林業の振興	
目	04 畜産業費			基本事項	02	農林業生産環境の整備・保全	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
東京電力福島第一原子力発電所の事故により汚染され、使用・流通制限の基準値である400Bq/kgを超過し8,000Bq/kg未満の堆肥	東京電力福島第一原子力発電所事故により汚染された堆肥を順次、市内焼却施設へ運び出して焼却処分を行います。 ＜全体計画＞ 2018 (H30) 年度 処理対象汚染堆肥量 1,070 t 2019 (R1) 年度 処理対象汚染堆肥量 1,818 t 県補助率 10/10
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
汚染された堆肥の焼却処分により、安全・安心な生産環境が維持されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	一時保管量	t		1,498	1,818	
	焼却処分量	t		1,070	1,726	
成果指標	事業の進捗率	%		37	95	
特財情報		事業費合計	千円	241,867	98,560	
農業系汚染廃棄物処理事業 費県補助金 (10/10)		国支出金	千円		0	
		県支出金	千円	241,867	98,560	
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円			0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）汚染堆肥について、本年度処理対象としていた1,818 tを大型土嚢に詰め直して一時保管することが出来ましたが、92 tについては焼却処分することが出来ず、事業進捗率は95%でした。 （原因）台風第19号の水害により発生した災害ゴミの処分を優先したことなどにより、農業系汚染廃棄物の焼却処分が一時停止されたためです。 （余地）繰越を行うことにより早急に事業完了を目指します。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	台風第19号災害の影響により市内焼却施設で本年度予定数量を焼却できなかったため、繰越額が生じました。

◆備考

--

農業用施設保全等支援補助事業

開始年度		終了年度		事業番号	30508	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計		キーコード	455		担当課	農政課
款	06 農林水産業費		政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり		
項	01 農業費		施策	02	農林業の振興		
目	05 農地費		基本事項	02	農林業生産環境の整備・保全		

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内の町内会・行政区	行政区等が実施する農業用施設の整備・維持管理に要する経費に対し、須賀川市農業用施設土木事業交付要綱に基づき、事業費の一部を補助します。 <補助率> ・機械揚水施設、農地 40/100 ・かんがい排水施設、農道林道 100/100（労務費を除く）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
各地区の農道等の農業用施設を使用する市民が整備・維持管理を行い、施設の機能が維持されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	要望受付件数	件	90	102	123	
	補助交付額	千円	42,001	89,995	87,462	
成果指標	整備件数	件	59	87	82	
特財情報		事業費合計	千円	42,001	89,995	87,462
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	42,001	89,995	87,462

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）行政区からの要望受付件数は123件で、前年度と比較し21件増加しました。また、整備件数は82件で、前年度と比較し5件減少しました。 （原因）未舗装の農道や土側溝が数多くあり、高齢化により維持管理が困難になりつつあることから要望が増えています。資材単価の上昇に伴い整備件数は減少したためです。 （余地）要望受付件数は年々増加傾向にありますが、地域全体で維持管理に努めることにより、修繕箇所が減少し、施設の機能が保たれます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

農業水利施設等保全再生基金事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	30519	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1588	担当課	農政課
款	06 農林水産業費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 農業費			施策	02	農林業の振興	
目	05 農地費			基本事項	02	農林業生産環境の整備・保全	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
放射性物質対策が必要な農業用ため池	福島県のモニタリング調査結果に基づき、底質の放射性濃度が基準値8,000Bq/kgを超えているため池について、市が底質汚泥の除去等による放射性物質対策を実施し、ため池の放射性物質濃度の低減を図ります。 <補助率> ・実施設計、詳細調査 国10/10 ・対策業務 国3/4、市1/4
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
放射性物質対策により、放射性物質濃度の低減が図られ、安全に農業用ため池の利用ができます。	財源については、福島再生加速化交付金を活用しています。市負担分については震災復興特別交付税措置の対象です。

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	対策済農業用ため池（累計）	箇所	6	20	35	
	対策実施農業用ため池	箇所	6	14	15	
成果指標	対策済率	%	17.1	57.1	100	
特財情報		事業費合計	千円	197,285	794,427	665,731
除染対策事業費県交付金 (10/10) 農業水利施設等保全再生事業基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円	6,397	46,000	44,007
		地方債	千円			0
		その他	千円	160,665	567,758	473,687
		一般財源	千円	30,223	180,669	148,037

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）対策業務15池を実施し、対策済率は100%で前年度と比べ42.9ポイント向上しました。 （原因）事業計画のとおり順調に進捗したためです。 （余地）事業計画のとおり順調に対策業務を進めたことにより、計画期間内の令和元年度で事業が完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

ふくしま森林再生事業

開始年度	2014 (H26) 年度	終了年度		事業番号	30534	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1147	担当課	農政課
款	06 農林水産業費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	02 林業費			施策	02	農林業の振興	
目	02 林業振興費			基本事項	02	農林業生産環境の整備・保全	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市有林や財産区有林等	放射性物質対策を含めた森林整備を行います。 <事業概要> 表土流出防止 ・枝葉等処理 109.7ha 森林整備 ・整備面積 96.1ha、路網整備 14,655m <年次計画>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	2014 (H26) 年度 0ha 2019 (R1) 年度 2015 (H27) 年度 3.33ha 2,399m 実施計画作成 2016 (H28) 年度 8.88ha 849m 2020 (R2) 年度 2017 (H29) 年度 35.74ha 7,601m 9.81ha 83.5m 2018 (H30) 年度 28.54ha 3,639m 2021 (R3) 年度 9.8ha 83.5m
市有林や財産区有林の間伐や路網等の整備を行うことにより、水源かん養や山地災害防止等、森林の持つ公益的機能の維持・向上が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	森林整備面積	ha	12.21	47.95	76.49	
成果指標	森林整備率	%	9.5	37.1	79.6	
特財情報		事業費合計	千円	113,973	134,318	99,825
ふくしま森林再生事業費県補助金		国支出金	千円			0
年度別計画 県10/10 森林整備 県72/100 路網整備 県72/100 枝葉等処理 県10/10		県支出金	千円	106,273	107,838	87,047
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	7,700	26,480	12,778

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）森林再生整備計画により整備した面積は76.49haで、前年度と比べ28.54ha増となっており、当初計画の通り進んでいます。 （原因）計画作成および整備が予定通り完了したためです。 （余地）令和元年度に新規地区の計画策定をし、令和2年度、3年度にかけて同地区の森林整備の実施を予定していることから、計画通り事業を進めることにより、成果向上が図られます。
【活動進捗状況（昨年度）】 順調・予定通り	

◆備考

--

水田フル活用推進事業

開始年度	2010 (H22) 年度	終了年度		事業番号	30467	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	406	担当課	農政課		
款	06 農林水産業費	政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 農業費	施策	02	農林業の振興			
目	03 農業振興費	基本事項	03	農業経営の安定確保			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
稲作農業者	<p>農業者による水田フル活用を推進し転作作物の作付拡大を図るため、作付内容に応じた助成金を交付します。</p> <p><水田フル活用推進助成金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆、飼料作物、ソバ、ナタネ（20,000円/10a） ・加工用米チヨニシキ・新市場開拓用米（15,000円/10a） ・飼料用米多収性品種（15,000円/10a、重点推進地区は30,000円/10a） <p><経営所得安定対策等推進事業費補助金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・須賀川市地域農業再生協議会への事務費補助など <p><転作促進助成金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲以外の転作作物の作付を推進するために導入する農業機械の購入に対する助成
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
需要に応じた米生産の推進により転作が進み、米価の安定、食糧自給力の向上及び農家所得の向上と安定が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度				
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	助成金額	千円	60,078	60,722	65,334		
成果指標	転作率	%	31.1	26.1	27.3		
特財情報		事業費合計	千円	62,850	63,750	65,334	
経営所得安定対策等推進事業費県補助金（10/10）		国支出金	千円			0	
		県支出金	千円	9,897	12,472	7,827	
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円	52,953	51,278	57,507	

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）本事業の活用により、主食用米から加工用米・飼料用米などの非主食用米へ転作を推進した結果、転作率は前年度と比べ1.2ポイント増加し、27.3%となりました。</p> <p>（原因）飼料用米の一般品種は減少したものの、加工用米や飼料用米の多収性品種が増加したためです。</p> <p>（余地）加工用米・飼料用米などの非主食用米や転作作物の取組を促し、転作面積を増加させることにより、成果向上の余地はあると考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

平成30年度から事業名を「米需給調整対策推進事業」から「水田フル活用推進事業」に変更しました。

地域特産物育成補助事業

開始年度	1999 (H11) 年度	終了年度		事業番号	30478	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	415	担当課	農政課
款	06 農林水産業費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 農業費			施策	02	農林業の振興	
目	03 農業振興費			基本事項	04	特産農産物の生産振興	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
農業者、農業団体等	新規振興作物や新技術等を導入する農業者、農業団体等に対し、経費の一部を補助します。（補助率1/2以内） ・JA夢みなみ稲作部会の新技術（ライスグレーダー）導入にかかる経費を補助します。 ・JA夢みなみ花卉部会の新規振興作物（西洋ウメモドキ）導入にかかる経費を補助します。 ・受粉用ミツバチリースにかかる経費を補助します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
新規振興作物や新技術の導入等により、地域特産物の育成・強化が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	83	2,351	2,907	
成果指標	新規作物等導入農業者数	人	3	7	2	
	新技術導入農家数	人	0	48	57	
特財情報		事業費合計	千円	83	2,351	2,907
「園芸王国ふくしま」グローバルリンク事業費県補助金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			1,000
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	83	2,351	1,907

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）新規振興作物（西洋ウメモドキ）栽培者17名の内、新規導入農業者数は2人で、前年度と比較し5人減少しましたが、新技術導入のミツバチリースについては3団体で57人の導入となり、新規作物と新技術導入を合わせると、前年度に比べ4人の増加となっています。新技術（ライスグレーダー）導入農家はありませんでした。 （原因）ミツバチリースについては、昨年度までのキュウリに対する利用以外にナシについても利用があったことで導入農家数が増加したためです。 （余地）新たな振興作物や新技術の導入を一層推進することにより、増加する余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

特産品開発事業

開始年度	2009 (H21) 年度	終了年度		事業番号	30479	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計		キーコード	395		担当課	農政課
款	06 農林水産業費		政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり		
項	01 農業費		施策	02	農林業の振興		
目	03 農業振興費		基本事項	04	特産農産物の生産振興		

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
耕作放棄地におけるナタネ栽培地	主に耕作放棄地となっている農地の再生を図り、ナタネ栽培の普及拡大を実施する事業を農業法人等へ委託し、菜種油の特産品化を図ります。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
菜種油が特産品化されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	委託事業費	千円	7,430	7,415	7,590	
成果指標	ナタネ栽培面積	ha	5.1	5.1	5.9	
	菜種油の生産量	kg	1,579	1,614	1,204	
特財情報		事業費合計	千円	7,430	7,415	7,590
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	7,430	7,415	7,590

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）ナタネ栽培面積は5.9haとなり、0.8ha増加しました。 （原因）須賀川市農業公社が作業受託しナタネを栽培していますが、他の作物へ転換した農地面積が新規受託面積と同じであったため、栽培面積は横ばいとなりました。 （余地）作業受託による栽培面積増加の余地はあると思われます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

農産物ブランド化推進事業

開始年度	2015 (H27) 年度	終了年度		事業番号	30490	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	1570	担当課	農政課		
款	06 農林水産業費	政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 農業費	施策	02	農林業の振興			
目	03 農業振興費	基本事項	05	特産農産物の販売促進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
新規需要作物 第三者認証GAP取得を目指す農業者及び農業団体	須賀川市産農産物のブランド化を推進するための各種事業に取り組む経費や団体等に対して支援（補助）を行います。 ＜農産物販売促進対策＞ ・関連事業と連携した販促活動 ＜農産物生産向上推進対策＞ ・新規需要作物調査研究業務委託 ・食味計及び生産管理システム等による改善指導
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
新規需要作物の調査研究を行い、新たな産地化と第三者認証GAP取得の推進により、ブランド化が図られています。	＜農産物加工商品化推進対策＞ ・農産物加工商品化推進事業 ＜GAP認証制度取得推進対策＞ ・第三者認証GAP取得推進事業

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	事業費	千円	2,027	4,553	1,889	
成果指標	第三者認証GAP取得数（累計）	件	1	3	7	
	農産物加工商品化点数（累計）	点	—	—	2	
特財情報		事業費合計	千円	2,027	4,553	1,889
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	2,027	4,553	1,889

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）第三者認証GAP取得数（累計）は、前年度から4件増加し、7件となりました。 （原因）第三者認証GAPの認知度が向上したことや第三者認証GAP取得経費の一部を補助する市補助事業を創設したことが要因と考えます。 （余地）今後も県やJAと連携し、事業内容の周知を図ることで成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

GAPとは、Good Agricultural Practice（農業生産工程管理）のことです。農業において、ある一定の成果を得ることを目的として、実施すべき手法や手順などをまとめた規範、または、それが適正に運用されていることを審査・認証する仕組みのことです。

農産物PR事業

開始年度	2013 (H25) 年度	終了年度		事業番号	30491	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1115	担当課	農政課
款	06 農林水産業費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 農業費			施策	02	農林業の振興	
目	03 農業振興費			基本事項	05	特産農産物の販売促進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
県外の消費者	県産農産物PR事業（県補助金10/10）を活用し、県外における各種イベント等で物産展を開催し、市産農産物等の販売PRを実施します。 <開催地> 神奈川県座間市、東京都調布市、大阪府豊中市、兵庫県宝塚市等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
風評被害払拭の取組みにより市産農産物の安全・安心が理解され、購入促進が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度				
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	物産展開催日数	日	35	24	16		
成果指標	市農産物購入希望者割合	%	-	61.8	65.6		
特財情報							
ふくしまプライド販売力強化支援事業費県補助金(10/10)		事業費	事業費合計	千円	5,065	3,003	3,003
			国支出金	千円			0
			県支出金	千円	5,000	3,000	3,000
			地方債	千円			0
			その他	千円			0
			一般財源	千円	65	3	3

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）各物産展で実施したアンケートで、購入希望者割合は65.6%と、前年から3.8%の増となりました。 （原因）物産展の開催場所が前年度までとほぼ同じであったことや、市産農産物に対する安全・安心のPR活動により、特定の消費者から信頼を得ることができたことが主な原因と考えられます。 （余地）当事業を継続することで、風評被害の払拭、消費拡大が促進され、市農産物購入希望者割合が向上する余地があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input checked="" type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

平成30年度より成果指標を「物産展販売額」から「市農産物購入希望者割合」に変更しました。
--

商店街にぎわい補助事業

開始年度	1998 (H10) 年度	終了年度		事業番号	30538	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	520	担当課	商工課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	03	商工業の振興	
目	02 商工業振興費			基本事項	01	商業の振興	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
商店会、商店街振興組合、まちづくり会社等	商店街の賑わい創出事業に対し補助します。 <イベント事業> ・事業費補助（補助率1/2、上限50万円、終期3年） ・広告宣伝費補助（補助率10/10、上限30万円、終期3年） <伝統・特定継続事業> ・事業費補助（補助率1/2、上限20万円、終期なし） ・広告宣伝費補助（補助率10/10、上限30万円、終期10年） <組織支援事業> ・事業費補助（補助率1/2、上限100万円、終期5年）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
商店街の賑わいと商業の活性化が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	2,036	2,300	1,848	
成果指標	商店会加入店舗数	店舗	166	184	179	
	休日歩行者通行量	人	-	1,960	2,389	
特財情報		事業費合計	千円	2,036	2,300	1,848
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	2,036	2,300	1,848

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）商店会加入店舗数が前年度と比較し、5店舗減少しましたが、休日歩行者通行量は前年の1960人から2389人へ429人増加しています。 （原因）加入店舗数の減については、新たな出店も増えていますが、商店会から脱退する店舗が上回ったためと考えられます。休日歩行者通行量の増については、市民交流センターの開館で来街者が増えたためと考えられます。 （余地）市民交流センターを核としてイベント事業等が行われることや、風流のはじめ館の開館により、商店街への新たな出店者や未加入店の入会が期待でき、更なる成果向上の余地はありと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

令和元年度から成果指標を平日歩行者通行量から休日歩行者通行量へ変更しました。
--

創業支援事業

開始年度	2015 (H27) 年度	終了年度		事業番号	30541	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1309	担当課	商工課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	03	商工業の振興	
目	02 商工業振興費			基本事項	01	商業の振興	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
創業希望者	<p><創業等支援補助金> 創業する者に対して補助します。 ・補助対象経費 設備費、広報費など ・補助金額等 補助対象経費の1/2（限度額50万円）</p> <p><創業支援事業者補助金> 特定創業支援事業を実施する事業者に対して補助します。 ・補助対象経費 人件費、謝金、旅費、広報費など ・補助金額等 補助対象経費の1/2（限度額50万円）</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
創業等支援補助金の交付やチャレンジショップでの経験を基に、市内で事業を開始できます。	<p><チャレンジショップ出店支援事業> チャレンジショップを設置し、店舗経営の経験やノウハウ習得の場を設け、独立創業へ向けたステップアップを図ります。</p>

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	1,656	2,111	1,859	
	チャレンジショップ出店件数	件	-	3	3	
成果指標	セミナーを受講して創業した人数	人	7	12	7	
	チャレンジショップから独立創業した件数	件	-	0	1	
特財情報		事業費合計	千円	1,931	3,522	5,227
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	958	1,739	2,607
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	973	1,783	2,620

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）チャレンジショップからの独立創業は1件ありましたが、創業支援事業者が実施した創業セミナーを受講して創業した人数は7人で、前年度に比べ5人減少しました。 （原因）消費税増税や令和元年台風第19号による被災など、創業を取り巻く環境が厳しかったことが要因として考えられます。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（余地）商工会議所などと連携し、過去に実施した創業セミナー参加者に対するフォローアップや、創業希望者に対する補助制度を積極的にPRすることで、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

クラウドファンディング活用支援補助事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31351	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1833	担当課	商工課
款	07 商工費			政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施 策	03	商工業の振興	
目	02 商工業振興費			基本事項	01	商業の振興	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内在住の個人又は所在地が市内にある法人若しくは任意団体	こおりやま広域圏の連携事業として、郡山市のプラットフォームを使用し、商品開発などの資金調達にクラウドファンディングを活用する者に対し、目標支援金額達成に係る手数料の一部を補助します。 ＜対象プロジェクト等＞（目標支援金額を達成したもの） ・市内における創業 ・新商品及び新サービスの開発並びに販路の開拓
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
市内での創業や新商品開発等に必要な資金が調達されます。	＜対象経費等＞ ・目標支援金額に係る手数料 ＜補助率等＞ ・対象経費の10/10 上限50万円

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	補助金額	千円			0
成果指標	目標支援金額達成者数	件			0
特財情報		事業費合計	千円		0
事業費		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）令和元年度からの新規事業ですが、実績はありませんでした。 （原因）補助対象が、郡山市のプラットフォームを使って資金調達を活用する者に限定していることと、クラウドファンディングによる資金調達自体が広く認知されていないことが原因と考えられます。 （余地）補助対象の見直しを行うとともに、制度を広く周知することで成果向上の余地があります。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	当初見込んだ利用がなかったため、補正減しました。

◆備考

--

地域ブランド力活用事業

開始年度	2015 (H27) 年度	終了年度		事業番号	30542	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1406	担当課	商工課
款	07 商工費			政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施 策	03	商工業の振興	
目	02 商工業振興費			基本事項	01	商業の振興	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内に事務所又は事業所を有する個人及び法人	<p>円谷英二監督との関連性のあるキャラクターや市マスコットキャラクター等を活用した商品開発等に伴うロイヤリティ、商品開発費及び包装紙等作成費に対する一部補助を行います。</p> <p><補助内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 市内業者への発注4/5、市外業者への発注3/5（ロイヤリティは5/5） ・補助対象経費 ロイヤリティ 補助限度額 25万円 ・補助対象経費 商品開発 補助限度額 100万円 ・補助対象経費 包装紙等作成 補助限度額 100万円（ポータン及び花のエンゼル活用は70万円上限）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
円谷英二監督との関連性のあるキャラクターや市マスコットキャラクター等を活用した商品開発等を支援することにより、事業者の販路拡大が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	5,342	8,648	6,540	
成果指標	売上が増加した事業者数	社	8	10	15	
特財情報		事業費合計	千円	5,474	8,780	6,672
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	2,736	3,859	3,336
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	2,738	4,921	3,336

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）令和元年度の補助申請事業者数は15社で、前年度と同数でした。また、補助申請事業者のうち、15社で売上額が増加し成果は向上しています。</p> <p>（原因）商品開発事例などを市広報紙やホームページに掲載するなど、制度の周知が図られたためと考えられます。</p> <p>（余地）具体的な活用事例などを明示しながら、更なる制度周知を図ることや、開発した商品の周知を支援することにより、成果向上の余地があると考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

ふるさと商品販路開拓支援事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2021 (R3) 年度	事業番号	31307	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1795	担当課	商工課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	03	商工業の振興	
目	02 商工業振興費			基本事項	01	商業の振興	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内の商業事業者	市内の商業事業者から名物商品等を広く募集し、これらの情報を市ホームページの特設サイトに掲載します。 ＜事業実施フロー＞ 名物商品掲載募集→申請受付→店舗・商品取材→情報整理→特設サイト掲載、公開
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
市内の商業事業者が製造販売する商品を情報発信することにより、認知度向上と販売促進が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	登録店舗数（累計）	件			20
	登録掲載商品数（累計）	件			20
成果指標	売上が増加した登録店舗数（累計）	件			0
	サイト閲覧件数（累計）	件			0
特財情報		事業費合計	千円		3,735
地方創生推進国庫交付金 (1/2) 地域振興基金繰入金	事業費	国支出金	千円		1,867
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		1,815
		一般財源	千円		53

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）令和2年3月27日に特設サイト「ふるさと商品ガイド」を開設し、市内外へ、登録された20商品の情報を発信しています。特設サイトの公開が年度末のため、成果指標の実績はありません。 （余地）須賀川商工会議所や各商工会の加入事業者等へ、更なる周知や募集を行うことで、登録店舗や掲載商品の増加が見込まれ、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

工業製品認定事業

開始年度	2010 (H22) 年度	終了年度		事業番号	30555	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計	キーコード	526	担当課	商工課		
款	07 商工費	政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 商工費	施 策	03	商工業の振興			
目	02 商工業振興費	基本事項	02	工業の振興			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内の製造業者	<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募期間 令和元年5月から6月まで ・認定審査 令和元年7月24日 ・認定書交付 令和元年11月1日 ・各種展示会等における認定製品の展示、市ホームページ掲載、認定工業製品カタログ、パンフレットの作成等 ・企業誘致に係る立地意向調査票（約13,000件）送付時に認定工業製品パンフレットを同封 ・県外産業見本市へ認定企業4社と共同出展 令和元年10月2日から4日 （大阪府）関西機械要素技術展
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
工業製品の販路開拓等において、市の認定製品という付加価値を付けて情報発信されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	審査件数	件	6	6	5	
成果指標	認定製品数（累計）	件	61	67	72	
特財情報		事業費合計	千円	1,200	1,255	1,327
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円	600	618	664
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	600	637	663

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）令和元年度は5製品を認定し、全体の認定工業製品数は72件となり成果は向上しています。</p> <p>（原因）市ホームページ、市広報紙、地元新聞への記事掲載等により、工業製品認定制度について一定程度の周知が図られたためと考えられます。また、一度認定を受けた企業が、新製品の申請をしたことも大きく影響しています。</p> <p>（余地）パンフレット、カタログの作成や展示会等でのPRのほか、展示会への認定企業との共同出展など、今後も認定企業のメリットを明確にすることにより、認定製品数が増える余地があると考えています。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

産業会館トイレ洋式化事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度	2019 (R1) 年度	事業番号	31304	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	1793	担当課	商工課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	03	商工業の振興	
目	06 産業会館費			基本事項	02	工業の振興	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
産業会館の利用者	産業会館のトイレ洋式化工事を行います。 ・1階、2階トイレ 計 8基
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
産業会館トイレを洋式化することにより、施設利用者が快適に使用することができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業費	千円			6,380
成果指標	洋式化した便器数	基			8
特財情報		事業費合計	千円		6,380
商工施設整備事業債		事業費	国支出金	千円	0
			県支出金	千円	0
			地方債	千円	6,300
			その他	千円	0
			一般財源	千円	80

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> なし	（状況）施設のトイレについて、予定どおり8基の洋式化を実施しました。 （原因）予定どおり工事が進捗したためです。 （余地）本事業は令和元年度で完了しました。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

まちなか活性化推進事業

開始年度	2007 (H19) 年度	終了年度		事業番号	30562	担当部	経済環境部
会計	01 一般会計			キーコード	523	担当課	商工課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	03	商工業の振興	
目	02 商工業振興費			基本事項	03	中心市街地の活性化	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
須賀川商工会議所及び(株)こぶろ須賀川 まちなかへ出店意欲のある方	<p><まちなか出店推進業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 ・出店可能物件の調査及び相談者とのマッチング等 <p><中心市街地活性化推進事業に対する補助></p> <ul style="list-style-type: none"> ・須賀川商工会議所が実施するイベント等
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<p><まちづくり会社(株)こぶろ須賀川に対する運営費補助></p> <p><まちなか出店に対する補助></p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修費補助 <p><歩いて暮らせるまちづくり強化プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き地を活用したスモール拠点形成事業等
中心市街地活性化に資する事業が取り組まれるとともに、まちなかへの出店が促進され、中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりが進められます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	補助金額	千円	6,535	6,812	8,947	
成果指標	中心市街地活性化基本計画の数値目標指標（3指標）のうち、向上した指標数	件	2	3	2	
特財情報		事業費合計	千円	6,535	9,566	23,892
地方創生推進国庫交付金 (1/2)	事業費	国支出金	千円			7,448
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	6,535	9,566	16,444

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p>■向上（最高状態維持含む）</p> <p>□維持・横ばい</p> <p>□低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p>■大 □中 □小 □なし</p>	<p>（状況）目標3指標のうち「休日歩行者通行量」「民間事業者における対象施設利用件数」の2指標が、前年を上回っており順調に推移しています。</p> <p>（原因）歩行者通行量の増加は、市民交流センターなど中心市街地に訪れる機会が増えたことで、周辺店舗などが認知され、回遊がより促進されたためと考えられます。民間事業者における対象施設利用件数の増加は、市民交流センターが開館し、民間事業者に多く利用されたためです。</p> <p>（余地）風流のはじめ館の開館など中心市街地活性化基本計画掲載事業の確実な実施により、3指標の数値が向上すると考えられます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p>順調・予定通り</p>	

◆備考

--

観光誘客推進事業

開始年度		終了年度		事業番号	30580	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計	キーコード	540	担当課	観光交流課		
款	07 商工費	政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 商工費	施策	04	観光振興と交流促進			
目	05 観光費	基本事項	01	観光誘客の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
観光に興味・関心がある日本人、外国人	<p><事業概要> 県内外の観光イベント等に参加し、本市の観光PRや特産品等の物販を行います。</p> <p><観光イベントの開催及び参加> ・首都圏での牡丹開花に合わせた観光PRイベント開催 ・県内外イベントでの本市の主要なイベントのPR</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
観光イベントや観光資源を通して、本市が認知されます。	<p><観光情報の発信> ・報道関係機関を通じた本市観光情報の発信</p> <p><観光PR素材の作成> ・観光PRに必要な観光素材の作成 ・まっふる須賀川、各種イベントの開催チラシ作成</p>

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	パンフレット等配布数	部	120,000	129,000	66,000	
	物産展等のイベント参加回数	回	24	27	18	
成果指標	観光入込客数（市観光施設及び観光イベント入込客数）	人	572,699	654,068	728,437	
	物産展の売上金	千円	3,806	3,301	2,423	
特財情報		事業費合計	千円	9,404	10,939	10,246
自動販売機設置使用料		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	12	12	12
		一般財源	千円	9,392	10,927	10,234

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）前年度より物産展等のイベント参加回数が9回減少し、物産展等での売上金も878千円減少しましたが、市全体の観光入込客数は74,369人増加しました。</p> <p>（原因）台風第19号災害の影響等がありましたが、観光入込客数は、新たな集計地点として円谷英二ミュージアムを追加したことにより増加しました。</p> <p>（余地）観光振興アクションプランに基づき、市の観光資源の情報発信を強化し、行動を促す効果的な観光誘客活動を実施することで、更なる観光客を増やすことが可能と考えています。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

ウルトラマン関連事業

開始年度	2013 (H25) 年度	終了年度		事業番号	30587	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	559	担当課	観光交流課
款	07 商工費			政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施 策	04	観光振興と交流促進	
目	05 観光費			基本事項	01	観光誘客の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民・市外の方	観光物産展や各種イベント等において、M78星雲光の国との姉妹都市提携をPRするとともに、仮想都市「すかがわ市M78光の町」への住民登録を呼びかけます。 <事業概要> ・姉妹都市締結関連イベント開催 ・仮想都市「すかがわ市M78光の町」WEBサイト管理運営 ・市民交流センターでのウルトラマン関連イベント実施
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
ウルトラマンをきっかけに本市への関心が高まり、仮想都市「すかがわ市M78光の町」への住民登録を行うとともに、本市からの情報発信により理解が深まっています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	本市が主体となるウルトラマン関連事業数	事業	14	17	23
成果指標	仮想都市「すかがわ市M78光の町」住民登録者数	人	13,023	15,283	17,098
特財情報					
	事業費合計	千円	29,103	31,541	28,068
	国支出金	千円			0
	県支出金	千円	10,000		0
	地方債	千円			0
	その他	千円			0
	一般財源	千円	19,103	31,541	28,068

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）「すかがわ市M78光の町」の住民登録者数が前年度に比べ、1,815人増加しました。 （原因）県内外での観光PRや物産展、本市以外が主催するウルトラマン関連イベント等で光の町住民登録啓発活動を実施した結果、登録者数が増加したと思われます。 （余地）継続的にPR活動を進めるほか、市内のウルトラマン関係団体と連携を図るとともに市民交流センター内の円谷英二ミュージアムや“ひかりのまちひろば”により、より一層本事業の効果を高めることができます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	当初計画では、アリーナへのジオラマ展示を実施予定でしたが、台風第19号の被害による施設の改修のため、展示を実施できなかったことから不用額が生じました。

◆備考

--

インバウンド対策事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	31301	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1791	担当課	観光交流課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	04	観光振興と交流促進	
目	05 観光費			基本事項	01	観光誘客の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内観光客（外国人旅行者を含む） 市内事業者	市内事業者に対し、セミナー等を開催し、外国人旅行者受入れのメリット等を理解してもらうとともに、受入れに必要な環境整備を行います。 また、外国人目線による須賀川市の観光資源を発掘するとともに、海外への情報発信を積極的に行います。 牡丹園駐車場のトイレを洋式化することで、外国人旅行者等の受入れ体制を整えます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
外国人旅行者の受入れ体制を整備し、外国人旅行者が増加することで、本市観光入込客数の増加が図られています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	セミナー等の開催回数	回			0
成果指標	外国人旅行者数	人			1,894
特財情報		事業費合計	千円		1,830
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		1,830

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）本市への外国人旅行者数は、ほぼ計画どおりとなっています。 （原因）福島空港における台湾定期チャーター便やベトナムなどへの国際チャーター便が順調に運航されたためです。しかし、冬以降、台湾便の運航停止や新型コロナウイルスの影響によるその他の国への国際チャーター便の運休により、外国人旅行者数が伸び悩みました。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（余地）新型コロナウイルス収束後、国際チャーター便が平常どおり運航されること、更にはより魅力ある情報を発信していくことで、外国人旅行者が増加する余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	外国人旅行者の受入れ体制を整えるための事業者向けセミナーを開催できませんでした。また、牡丹園のトイレ洋式化についても、国補助金に採択されなかったため、実施できませんでした。

◆備考

--

地域おこし協力隊活用事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31149	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1694	担当課	観光交流課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	04	観光振興と交流促進	
目	05 観光費			基本事項	01	観光誘客の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
須賀川市観光物産振興協会 （公財）須賀川牡丹園保勝会 地域おこし協力隊員	地域おこし協力隊制度を活用し、本市観光の中核を担う観光関係団体等に隊員を配置し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR、後継者育成など、地域おこしの支援に従事します。 <配置先> 須賀川市観光物産振興協会 （公財）須賀川牡丹園保勝会
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
両団体の組織の活性化及び強化が図られるとともに、地域おこし協力隊員の本市での起業や定住が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	隊員活動予定日数	日		0	170
成果指標	隊員の起業・定住者数	人		0	0
特財情報		事業費合計	千円	98	57
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	98	57

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）地域おこし協力隊として（公財）須賀川牡丹園保勝会に1名配置しました。 （原因）昨年は数名の応募がありましたが、採用しても辞退してしまうなど、受入れ条件などが合致しなかったものと考えます。引き続き、須賀川市観光物産振興協会に配置する協力隊員の募集を行っていましたが、年度末は、新型コロナウイルス感染症の影響により、PR等は控えていました。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（余地）地域おこし協力隊の採用や起業・定住については、福島県と連携し、周知の強化や受入れ環境の整備などを行うことにより、成果向上が図られると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	地域おこし協力隊として1名採用し、（公財）須賀川牡丹園保勝会に配置しましたが、福島県と協同設置のため、1年目は県から費用等を支出していることから、市の負担は事務費用のみとなります。また、須賀川市観光物産振興協会に配置する隊員は採用出来ていないため、不用額が生じました。

◆備考

--

都市間交流推進事業

開始年度	1990 (H2) 年度	終了年度		事業番号	31222	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	555	担当課	観光交流課
款	07 商工費			政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施策	04	観光振興と交流促進	
目	05 観光費			基本事項	02	都市間交流・国際交流の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
交流先自治体	<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友好都市等との交流事業 <p>神奈川県座間市の大風まつり（5月）及び市民ふるさとまつり（11月）、並びに北海道長沼町の夕焼け市（9月）などにおいて、本市の物産展を開催し、特産品販売と観光PRを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市間交流補助事業 <p>市内の社会教育関係団体等を対象に、交流事業費の一部を補助します。</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
都市間交流事業の展開を図ることで、交流人口が拡大します。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	交流事業実施回数	回	17	17	17	
成果指標	都市間交流事業参加者数	人	191	156	205	
特財情報		事業費合計	千円	1,607	1,371	1,138
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	1,607	1,371	1,138

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）交流都市におけるイベントで特産品の販売や観光PRを行いました。座間市とは、市民団体間で意見交換会を実施しました。前年度と比較し参加者数が49人増加するなど、市民レベルでの交流も図られています。</p> <p>（原因）都市間交流事業補助金を活用した団体が行った事業への参加者数が多かったことや、同補助金対象以外の事業で交流が図られたことが要因と思われます。</p> <p>（余地）都市間交流事業補助金の活用について、更なる周知を図ることにより、成果向上の余地があると考えます。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

国際交流推進事業

開始年度		終了年度		事業番号	31223	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計	キーコード	556	担当課	観光交流課		
款	07 商工費	政策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり			
項	01 商工費	施策	04	観光振興と交流促進			
目	05 観光費	基本事項	02	都市間交流・国際交流の推進			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
中国洛陽市	市の花である「牡丹」を架け橋として、友好都市協定を締結している中国洛陽市との交流は、引き続き須賀川市日中友好協会と協議しながら実施します。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
風評被害が払拭され、本市への正しい理解が深まることで、洛陽市からの訪問も含めた交流が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	交流事業実施回数	回	0	0	0	
成果指標	国際交流事業参加者数	人	0	0	0	
特財情報		事業費合計	千円	34	591	14
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	34	591	14

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）平成31年4月に、須賀川市日中友好協会において「第15回各界訪中団派遣事業」が実施され、19名の市民が参加しましたが、洛陽市からの訪問はありませんでした。 （原因）洛陽市からの訪問がない原因は、原発事故による風評被害が根強いと思われるためです。 （余地）引き続き須賀川市日中友好協会と連携しながら、交流再開に向けて取組むことが必要です。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 不調・遅延	洛陽市との相互訪問等の交流事業が未実施となり、旅費等で不用額が生じました。

◆備考

--

体験型交流推進事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	31225	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1655	担当課	観光交流課
款	07 商工費			政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施 策	04	観光振興と交流促進	
目	05 観光費			基本事項	02	都市間交流・国際交流の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
本市の観光に興味・関心がある市外の人	大手旅行業者への委託により、本市の産業、文化資源等を活用した体験型モニターツアーを実施します。 <事業概要> ・農業やものづくりなどの体験 ・体験を通じた市民との交流 ・実施回数4回以上
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
様々な体験を通じて本市の魅力を感じてもらうことで、須賀川を訪れる人が増え、交流人口の拡大が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	ホームページ等での事業PR回数	回	8	8	4	
成果指標	ツアーの参加者数	人	23	84	83	
特財情報		事業費合計	千円	400	8,782	8,408
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	400	8,782	8,408

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）6月、7月、2月（2回）の全4回のツアーを企画し、合計83人の参加がありました。 （原因）大手旅行業者への委託により、首都圏での募集が効率的に行われたこと、モニターツアーとして価格を抑えたことが要因と思われます。 （余地）それぞれの季節に応じた魅力ある体験メニューを企画することで、参加者が増える余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

旅行商品企画助成事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31226	担当部	文化交流部
会計	01 一般会計			キーコード	1724	担当課	観光交流課
款	07 商工費			政 策	05	活力とにぎわいあふれるまちづくり	
項	01 商工費			施 策	04	観光振興と交流促進	
目	05 観光費			基本事項	02	都市間交流・国際交流の推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
主に市外の旅行者	本市への旅行商品の企画・実施に対し、助成金を交付します。 事業の周知については、市ホームページを中心に行い、郵送等で利用実績のある旅行者にも通知します。また、福島県をはじめ首都圏や隣県の旅行業協会を通して行い、活用を呼びかけます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
本市への旅行商品の企画が促され、本市を訪れる機会が増加し、誘客の推進が図られると同時に、本市を知ってもらうよいきっかけとなり、さらなる誘客に繋がります。	<p><助成金額（上限）> 対象となる旅行商品に10人以上参加し、条件を満たした場合 ・市内宿泊 300,000円 ・日帰り 200,000円 ・募集チラシ等作成 25,000円</p> <p><助成方法> 旅行者へ助成金を交付（旅行代金の負担を軽減）</p>

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	事業の案内回数	回		10	10
成果指標	旅行商品の企画件数	件		16	52
	旅行商品の実施件数	件		5	43
特財情報		事業費合計	千円	1,202	6,540
		国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円	1,202	6,540

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）企画件数が52件、実施件数が43件と、昨年度からそれぞれ36件、38件増加しました。訪問者数も1,303人となり、昨年よりも1,092人増加しました。 （原因）平成31年1月に要綱を改正し、受注型企画旅行も助成対象としたことや旅行者への訪問によるPR活動を行ったことが要因と考えられます。 （余地）旅行商品の企画・実施件数ともに昨年から大幅に向上しましたが、台風第19号や新型コロナウイルスの影響で中止となった旅行商品も多く見られました。今後も引き続き制度の周知を図ることで、更なる成果向上の余地があると思われま
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

--

ふるさと納税推進事業

開始年度	2008 (H20) 年度	終了年度		事業番号	30123	担当部	財務部
会計	01 一般会計			キーコード	1421	担当課	税務課
款	02 総務費			政策		計画実現のための行政経営の更なる推進	
項	02 徴税費			施策	01	持続可能な行政経営の推進	
目	01 税務総務費			基本事項	05	自主財源の確保	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
本市出身者 本市を応援したいと思う市外在住者	都市圏の物産展等でのチラシ配布や、市ホームページ、専門サイトなどで本市ふるさと納税を周知します。5千円以上の寄附者には金額に応じて返礼品を発送します。寄附申込の際には寄附金の使い道について選択できるようにします。ふるさと納税の返礼品等の情報発信は、市ホームページに掲載しています。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
ふるさと納税制度を認知し、本市への寄附意識が醸成されます。また、ふるさと納税によってできた須賀川市との繋がりにより、本市の応援者、寄附のリピーターとなります。	<使用分野> ・子どもたちの健やかな成長支援 ・美しいふるさと景観形成 ・安全で安心して暮らすことができるコミュニティづくり支援 ・すかがわならではの歴史、伝統、文化を育む生きがい創出

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	返礼品数	件	77	99	107	
	チラシ配布枚数	枚	3,000	8,000	3,000	
成果指標	ふるさと納税寄附者数	人	3,597	4,057	5,999	
	ふるさと納税申込金額	千円	38,981	40,850	69,275	
特財情報		事業費合計	千円	20,414	23,471	32,627
		国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			0
		一般財源	千円	20,414	23,471	32,627

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）寄附者数は5,999件で、前年度と比較し1,942人増加しました。また、申込金額は69,275千円で、前年度と比較し28,425千円増となりました。 （原因）平成29年度から専門性の高い民間事業者「さとふる」へ包括業務委託を行い、市外寄附者に対して送付する返礼品の品目を増やしたことやクレジット納付など、ふるさと納税がしやすく、市を応援しやすい環境整備を進めた結果と思われます。 （余地）総務省の基準を順守しながら、地域の特性を生かした返礼品目を募集し充実を図ることにより、成果向上の余地はあると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="text" value="非常に順調"/>	

◆備考

平成30年度から活動指標を「市HPへのふるさと納税情報発信件数」から「返礼品数」に変更しました。
--

納税コールセンター運営事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31136	担当部	財務部
会計	01 一般会計			キーコード	1678	担当課	収納課
款	02 総務費			政策		計画実現のための行政経営の更なる推進	
項	02 徴税費			施策	01	持続可能な行政経営の推進	
目	02 賦課徴収費			基本事項	05	自主財源の確保	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
主に現年度分の市税等未納者 ＜対象税目等＞ 市県民税（普徴・特徴）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、法人市民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料等	主に現年度分の市税等の納付を促すため、納期限が過ぎても納付が確認できない未納者へ電話で納付勧奨するとともに、納付書紛失の場合の再発送や、口座振替未申請者への口座振替推奨なども併せて行います。 ・責任者1名、オペレーター2名、計3名を配置 ・業務日時 平日（週4回）9:00～17:00 （週1回）15:30～20:00 日曜日（月1回）9:00～16:00
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
電話による納付勧奨により、未納となっている市税等が完納されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	電話件数	件		10,025	15,453
	電話による接触件数	件		4,092	5,704
成果指標	電話対象納付率	%		39.52	49.28
特財情報		事業費合計	千円	8,933	11,897
県民税徴収事務費県委託金 (10/10)	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円	8,933	11,897
		地方債	千円		0
		その他	千円		0
		一般財源	千円		0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）電話による接触件数5,704件のうち納付件数は2,811件であり、対象納付率は49.28%となりました。前年度と比較し9.76ポイント増えており、成果は向上しています。 （原因）適切なタイミングでの納付勧奨により、納付忘れなど滞納の初期段階の方の自主納付に繋がったと考えられます。 （余地）電話での納付勧奨を継続することで、納税意識の高揚を図るとともに、納付書再発送など納付しやすい状況を作り出すことにより、成果向上の余地があると考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 順調・予定通り	

◆備考

--

新庁舎建設事業

開始年度	2012 (H24) 年度	終了年度	2020 (R2) 年度	事業番号	30095	担当部	総務部
会計	01 一般会計	キーコード	4	担当課	行政管理課		
款	02 総務費	政策		計画実現のための行政経営の更なる推進			
項	01 総務管理費	施策	01	持続可能な行政経営の推進			
目	11 庁舎建設費	基本事項	99	施策の総合推進 (持続可能な行政経営の推進)			

◆事業概要

対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
新庁舎 (第2期工事)	<p><全体計画></p> <p>2018 (H30) 年度 防災広場整備工事</p> <p>2018 (H30) ~2019 (R1) 年度 中央公民館解体工事 3階建1,806㎡ 図書館解体工事 2階建1,059㎡</p> <p>2019 (R1) ~2020 (R2) 年度 中央公民館、図書館跡地整備工事 4,475㎡</p>
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
中央公民館・図書館の敷地が駐車場として整備されます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	年度別事業費	千円	445,058	222,618	91,972	
成果指標	事業進捗率 (累計別事業費ベース)	%	95.0	97.1	98.6	
特財情報		事業費合計	千円	445,058	222,618	91,972
東日本大震災復興交付基金繰入金	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	441,405	81,620	56,213
		一般財源	千円	3,653	140,998	35,759

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上 (最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	(状況) 中央公民館・図書館解体工事については、令和元年10月31日に予定どおり完了しました。市庁舎駐車場整備工事については、令和元年9月25日に着手しました。 (原因) 工事が予定どおり進捗し、工期内に工事が完成しました。 (余地) 外構第2期整備に関する事務を進め、令和2年度内の完成を目指します。
【活動進捗状況 (昨年度)】 <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

基幹系システム管理事業

開始年度	2003 (H15) 年度	終了年度		事業番号	30020	担当部	総務部
会計	01 一般会計			キーコード	73	担当課	行政管理課
款	02 総務費			政策		計画実現のための行政経営の更なる推進	
項	01 総務管理費			施策	02	効果的で効率的な事務の執行	
目	01 一般管理費			基本事項	01	I Tの適切な管理	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、職員	<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹系システム運用保守 ・窓口支援システム運用保守 ・マイナンバー導入に伴うネットワーク保守業務 ・情報漏えい防止ソフト「秘文」ライセンス保守業務 ・指静脈認証システム保守業務
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
基幹系システムの運用保守委託とデータバックアップによりシステムの安定稼働が図られます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	基幹系システムデータのバックアップとセキュリティ維持に係る機器の貸借日数	日	244	365	366	
成果指標	バックアップ不具合件数	件	0	0	0	
特財情報		事業費合計	千円	11,792	265,282	7,738
基幹系システム運用保守業務委託料返還金	事業費	国支出金	千円	848		0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円			1,075
		一般財源	千円	10,944	265,282	6,663

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）基幹系システムのネットワーク障害がありましたが、機器の保守が適正に行われ、情報資産の安定運用が図られました。</p> <p>（原因）基幹系システムのネットワーク機器が故障し、半日間システムが利用できない状態になりました。基幹系システムで管理する情報資産を信頼性の高いデータセンターで常時監視しながら運用しています。</p> <p>（余地）基幹系システムの安定運用のため、機器の更新や監視、保守を今後も徹底します。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

市民交流センター維持管理事業

開始年度	2018 (H30) 年度	終了年度		事業番号	31241	担当部	市民交流センター
会計	01 一般会計			キーコード	1519	担当課	総務課
款	02 総務費			政策		計画実現のための行政経営の更なる推進	
項	01 総務管理費			施策	02	効果的で効率的な事務の執行	
目	13 市民交流センター費			基本事項	99	施策の総合推進 (効果的で効率的な事務の執行)	

◆事業概要

対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
市民交流センター、施設利用者	<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館日 第3火曜日、12月29日～翌年1月3日 ・開館時間 9:00～22:00 ・施設の維持管理業務 ・運営協議会業務
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
市民交流センターが適切に管理・運営され、快適に利用できます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	定期点検パトロール回数	回		3	12
成果指標	施設維持管理上の不具合件数	件		0	0
特財情報		事業費合計	千円	80,690	224,773
市民交流センター使用料 自動販売機設置使用料 市民交流センター駐車場使用料 市民交流センター水道使用料 市民交流センターPR用品頒布代 市民交流センター行政視察等資料代	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円	2,778	16,297
		一般財源	千円	77,912	208,476

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上 (最高状態維持含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>(状況) 施設維持管理上の不具合や大きな事故はありませんでした。</p> <p>(原因) 設備等の維持管理を専門業者へ委託していることや、職員が定期的に点検を実施することで安全に管理できていると考えます。</p> <p>(余地) 施設の定期点検パトロールを十分に行い、適切な維持管理に努めます。</p>
<p>【活動進捗状況 (昨年度)】</p> <p><input type="text" value="順調・予定通り"/></p>	

◆備考

--

広報紙発行事業

開始年度	1953 (S28) 年度	終了年度		事業番号	30042	担当部	企画政策部
会計	01 一般会計	キーコード	48	担当課	秘書広報課		
款	02 総務費	政策		計画実現のための行政経営の更なる推進			
項	01 総務管理費	施策	03	開かれた行政の推進			
目	02 文書広報費	基本事項	01	広報活動の充実			

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 発行回数 毎月1日に1回発行（年12回） 発行部数 26,200部/月 規格等 A4判、表紙裏表紙含めカラー6頁、2色刷り20頁 平均26頁 頁数 配布先 市内全世帯（町内会加入世帯）、病院等関係機関、金融機関、ショッピングセンター、コンビニなどに印刷業者から配布
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
広報紙により、市民に市政や行政サービスが周知されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	発行部数	部	25,500	25,500	26,200	
成果指標	月1回きちんと市広報紙（広報すかがわ）を読んでいる市民の割合	%	—	65.0	—	
特財情報		事業費合計	千円	24,906	28,193	26,534
県民だより配布手数料	事業費	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	1,008	1,008	1,008
		一般財源	千円	23,898	27,185	25,526

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	<p>（状況）広報すかがわを「毎月読んでいる」市民の割合は、2年に1度実施する市民アンケートで取得するため、令和元年度の割合は取得できていません。広報すかがわは、町内会などを通じて配布しているほか、病院、金融機関、ショッピングセンターなどにも配置しています。また市ホームページへの掲載や、スマートフォンなどで読むことができる「マチイロ」を活用するなど、多くの市民の皆さんに読んでいただけるよう取り組んでいます。</p> <p>（余地）広報紙による情報発信は、市政や行政サービスの周知であり、今後も継続することで成果向上の余地はあります。</p>
<p>【成果向上余地】</p> <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <input type="text" value="順調・予定通り"/>	

◆備考

--

市政情報発信事業

開始年度	2019 (R1) 年度	終了年度		事業番号	30043	担当部	企画政策部
会計	01 一般会計			キーコード	1789	担当課	秘書広報課
款	02 総務費			政策		計画実現のための行政経営の更なる推進	
項	01 総務管理費			施策	03	開かれた行政の推進	
目	02 文書広報費			基本事項	01	広報活動の充実	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、市外の者	<p><市ホームページ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBシステムの運用管理 <p><市政情報番組放送></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティFMを活用した市政情報番組を放送 <p><新聞掲載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マメタイムス、あぶくま時報、福島民報、福島民友に市政広告を掲載 <p><テレビ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TUFにふくしま駅伝のCMスポットを放送
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
インターネットや新聞、コミュニティFMなどの多様な媒体により、市政情報を取得できるようになります。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度		
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
活動指標	ホームページの更新回数/年	回			3,530
	ラジオ広報番組放送回数/年	回			1,851
成果指標	ホームページ年間延べアクセス件数	件			2,668,335
	ラジオ広報番組を聞いている市民の割合	%			-
特財情報		事業費合計	千円		20,403
広告料収入	事業費	国支出金	千円		0
		県支出金	千円		0
		地方債	千円		0
		その他	千円		540
		一般財源	千円		19,863

◆事業進捗と評価

<p>【成果状況】</p> <p><input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい</p> <p><input type="checkbox"/> 低下・悪化</p> <p>【成果向上余地】</p> <p><input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし</p>	<p>（状況）市HP年間延べアクセス件数は、約267万件であり、当該年度の目標値を約33万件上回りました。また、ラジオ広報番組を聞いている市民の割合は、市民アンケートで取得するため、成果指標を取得できていません。</p> <p>（原因）市HP年間延べアクセス件数の増加は、令和元年10月に発生した台風第19号関連情報へのアクセスが増加したことが主な要因と考えられます。</p> <p>（余地）令和2年4月に市HPを更改したため、ウェブアクセシビリティに配慮しつつ、さらに見やすいページ作成に努めます。また、「聞く」市政情報として、ラジオ広報番組の充実を図ります。</p>
<p>【活動進捗状況（昨年度）】</p> <p>順調・予定通り</p>	

◆備考

--

4 特別会計事業評価表

特別会計 名称	市営墓地事業						
開始年度	1976(S51)年度	終了年度		担当部	経済環境部	担当課	環境課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、市営墓地	墓域の造成、墓所の区画整備及び維持管理を行います。 令和元年度新規造成数 101基（墓地公園規制区域4㎡） 平成30年度末総造成数 ・墓地公園 規制区域 4㎡墓所 2,325基 規制区域 6㎡墓所 1,284基 自由区域 6㎡墓所 192基 自由区域 9㎡墓所 126基 ・木之崎霊園 規制区域 6㎡墓所 105基
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
市営墓地に墓所を求めることができます。また、市営墓地が適正に維持管理されています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	墓所整備数（累積）	基	3,953	4,032	4,133	
	維持管理日数	日	365	365	365	
成果指標	墓所提供率	%	100	100	97.3	
	墓所の維持管理に関する苦情	件	3	3	3	
決算状況	歳出合計		千円	48,595	37,136	32,451
	歳入内訳	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	49,292	37,961	33,445
歳入歳出差引差額		千円	697	825	994	

◆事業進捗と評価

（状況）令和元年度は新たに101基整備し、現在4,133基の墓所整備数となっています。令和元年度の使用許可（返還墓所を除く）は、申請総数149件に対して、145件の使用許可となっており、墓所の使用を求める市民に対しては、97.3%提供できています。

（原因）核家族化の進展とともに、個別に墓地をを求める方が多く、申請者数が増加してきているためと考えられます。

（余地）全体計画として、墓地公園6,000基の整備に向けて、需要を把握したうえで計画的に墓所を整備し、市営墓地の適正な維持管理を実施することで、成果指標向上の余地があります。

◆備考

--

特別会計 名称	下水道事業						
開始年度	1984(S59)年度	終了年度	2019(R1)年度	担当部	上下水道部	担当課	経営課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
下水道事業対象地区市民	<p><事業概要></p> <p>下水道処理施設の整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度整備面積 A=9.5ha ・管路整備延長 L=2,762m <p>下水道処理施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理施設の警備、汚泥処理、水質検査、維持管理等 ・マンホールポンプの維持管理及び修繕 ・汚水管渠補修工事等 ・整備済み管路施設の台帳整備 <p>下水道使用料の賦課徴収</p>
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
汚水処理施設（汚水管きょ）の整備と適正な維持管理の実施により、対象地区市民が快適な生活環境を享受し、良好な水環境の維持に貢献できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	整備面積	ha	947.6	977.2	986.7	
	維持管理費	千円	344,143	295,375	274,542	
成果指標	下水道整備率	%	75.6	78.0	78.7	
	水洗化率	%	77.7	78.3	79.6	
決算状況	歳出合計		千円	2,145,890	2,084,324	1,696,707
	歳入内訳	国支出金	千円	297,724	286,774	174,499
		県支出金	千円	4,673	2,616	1,622
		地方債	千円	571,600	553,600	312,200
		その他	千円	1,271,893	1,241,334	1,373,037
歳入歳出差引差額		千円	0	0	164,651	

◆事業進捗と評価

（状況）下水道整備率は78.7%で、前年度より0.7ポイント増加しており順調です。また、水洗化率は79.6%で、前年度より1.3ポイント増加しています。

（原因）整備率の向上は、第1処理分区（和田道、朝日田地内）と第3処理分区（森宿地内）の整備を実施したことにより、下水道施設を使用できる区域面積が増加したことによるものです。

また、水洗化率は、各処理区の整備が実施され、公共下水道の供用開始区域が拡大したことによるものです。

（余地）水洗化率（接続率）の向上を図るために、市広報紙やホームページ等を活用し、未接続世帯へ接続を呼びかけていくことで、成果向上の余地はあると考えられます。

◆備考

--

特別会計 名称	農業集落排水事業						
開始年度	1987(S62)年度	終了年度	2019(R1)年度	担当部	上下水道部	担当課	経営課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
農業集落排水事業対象地区市民	<事業概要> 農業集落排水処理施設の維持管理 ・汚水処理施設の警備、汚泥処理、水質検査、維持管理 等 ・マンホールポンプの維持管理及び修繕 農業集落排水処理施設使用料の賦課徴収
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
汚水処理施設（汚水管きょ）の適正な維持管理の実施により、対象地区市民が快適な生活環境を享受し、良好な水環境の維持に貢献できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	処理区域内水洗化人口	人	10,794	10,552	10,393	
	維持管理費	千円	194,487	258,741	178,575	
成果指標	農業集落排水利用可能世帯割合	%	100.0	100.0	100.0	
	水洗化率	%	88.5	89.2	89.2	
決算状況	歳出合計		千円	991,397	757,916	667,979
	歳入内訳	国支出金	千円	141,500	2,900	3,200
		県支出金	千円	33,960	174	192
		地方債	千円	149,900	29,800	4,800
		その他	千円	666,037	725,042	713,778
	歳入歳出差引差額		千円	0	0	53,991

◆事業進捗と評価

（状況）農業集落排水利用可能世帯割合は、農業集落排水処理施設整備事業の完了に伴い、前年度同様、成果指標は100%です。水洗化率は89.2%で、前年度と比較し横ばいです。
 （原因）各地区の整備が完了したためです。
 （余地）水洗化率（接続率）の向上を図るために、市広報紙やホームページ等を活用し、未接続世帯へ接続を呼びかけていくことで、成果向上の余地はあると考えられます。

◆備考

--

特別会計 名称	特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業						
開始年度	1995 (H7) 年度	終了年度		担当部	上下水道部	担当課	経営課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
戸別合併処理浄化槽使用者	<p><事業概要> 釈迦堂川水系の河川汚濁を防止し、水道水源の水質保全を図るため、戸別合併処理浄化槽整備事業で設置した合併処理浄化槽の適正な維持管理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定地域合併処理浄化槽 33基 ・保守点検（4回／年） ・汚泥抜き・清掃（1回／年） ・11条法定検査受検（1回／年）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
合併処理浄化槽の適正な維持管理の実施により、使用者が快適な生活環境を享受し、良好な水環境の維持に貢献できています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名	単位	年度				
		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	保守点検（4回／年）	回	134	132	132	
	維持管理費	千円	3,671	4,146	3,868	
成果指標	機能不全の合併処理浄化槽数	基	0	0	0	
決算状況	歳出合計		千円	5,474	5,949	6,044
	歳入内訳	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	5,474	5,949	6,044
	歳入歳出差引差額		千円	0	0	0

◆事業進捗と評価

<p>(状況) 機能不全の合併処理浄化槽数はありません。 (原因) 定期的に点検や清掃を実施し、合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っていることによるものです。 (余地) 設置から20年ほど経過し、経年劣化による機能低下が考えられることから、今後、計画的に修繕・更新を実施し、適正な維持管理を行う必要があります。</p>

◆備考

--

特別会計 名称	国民健康保険						
開始年度		終了年度		担当部	市民福祉部	担当課	保険年金課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
被保険者	<ul style="list-style-type: none"> 療養給付費の支払い 被保険者が医療機関で受診した際の自己負担額を除いた額について、福島県国民健康保険団体連合会を通して医療機関に療養給付費を支払います。 保健事業の推進 各種健康診査や保健指導などの実施により、市民の健康寿命の延伸を図り、医療費の抑制に努めています。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> 納税相談の開催 平日は仕事の都合などで忙しい方などに対応するため、毎月最終日曜日に、休日納税相談を実施しています。 納付方法の拡充 納税しやすい環境を整えるため、口座振替を推奨し、コンビニ収納やクレジット収納なども行っています。
制度が適正に運用され、被保険者の医療費負担が軽減されることで、安心して医療を受けることができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	国民健康保険被保険者数	人	17,759	16,987	16,459	
成果指標	一人当たりの医療費	円	352,481	356,312	362,673	
	国保税収納率（現年度分）	%	94.7	95.7	96.2	
決算状況	歳出合計		千円	9,197,726	7,518,712	7,377,243
	歳入内訳	国支出金	千円	2,245,321	1,754	8,811
		県支出金	千円	442,420	5,314,042	5,264,746
		地方債	千円			0
		その他	千円	7,048,380	2,811,061	2,816,049
	歳入歳出差引差額		千円	538,395	608,145	712,363

◆事業進捗と評価

（状況）一人当たりの医療費は362,673円で、前年度と比べ6,361円増加しています。また、国保税収納率は、96.18%で前年度と比較して0.56ポイント増加しており、事業は順調に進捗しています。

（原因）被保険者数及び受診件数ともに減少していますが、医療技術の進歩に伴う医療費の高額化が一人当たりの医療費の増加に影響しているものと考えられます。一方で収納率に関しては、納付者に対して口座振替を推奨するとともにコンビニ収納やクレジット収納など納付方法を拡充したことや、納税コールセンターによる納付催告が収納率の向上に表れたと考えられます。

（余地）一人当たりの医療費については、ジェネリック医薬品の利用促進や保健事業の実施により抑制に繋がると期待できるため、医療費低減の余地はあるものと考えられます。しかしながら、国民健康保険制度の構造的な問題により、収納率向上については更なる成果向上は困難なものと考えています。

◆備考

--

特別会計 名称	介護保険						
開始年度	2000(H12)年度	終了年度		担当部	市民福祉部	担当課	長寿福祉課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
要介護となるおそれのある者 要介護認定者 介護保険被保険者	<ul style="list-style-type: none"> ・運動器機能向上出張教室の開催、歯科衛生士や管理栄養士による訪問指導、理学療法士による相談・教育などの介護予防事業を実施します。 ・要介護認定申請があった場合には、認定調査を実施するとともに、主治医意見書の作成を依頼し、その後、介護認定審査会を経て認定します。また、適切な介護サービスが提供されるように居宅介護支援事業所のケアプランチェックを行います。 ・介護保険運営協議会を開催し、重要な課題について意見を伺い、適正な運営に努めるとともに、広報紙・納付通知などによる介護保険料の納付啓発などを行います。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
適正な制度運用により、必要なサービスが持続的・安定的に提供され、地域で支え合いながら自分の健康状態に合わせた生活を送ることができています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	介護認定審査会の開催回数	回	95	103	103	
	介護保険料の納付に係る通知	件	21,521	21,915	22,223	
成果指標	高齢者に占める要介護認定率	%	19.4	19.3	18.9	
	介護保険料収納率	%	99.3	99.6	99.7	
決算状況	歳出合計		千円	6,435,937	6,621,081	6,757,611
	歳入内訳	国支出金	千円	1,447,958	1,508,432	1,515,745
		県支出金	千円	907,139	927,689	926,666
		地方債	千円			0
		その他	千円	4,282,132	4,322,326	4,368,296
	歳入歳出差引差額		千円	201,292	137,366	53,096

◆事業進捗と評価

（状況）要介護認定率は18.9%で、前年度と比較して0.4ポイント下がり、わずかですが向上しています。収納率は99.7%で、高い水準でほぼ横ばいの状態です。

（原因）要介護認定率がわずかに下がった要因としては、通いの場の支援やリハビリテーション等専門職による運動教室の開催など、介護予防に関する知識の普及啓発などの取組により、要介護認定申請に至らない元気な高齢者が増えたためと考えられます。

（余地）要介護認定率については、通いの場の支援等に取り組み、更なる介護予防事業の充実を図ることで、成果向上の余地はあると考えます。収納率については、99%以上となっており、今後の成果向上の余地は小さいと考えていますが、今後も広報紙・納付通知などによる納付啓発を継続していきます。また、滞納者に対しては、収納課と連携を図りながら催告書の送付や給付制限を実施するなど、滞納金の徴収に努めていきます。

◆備考

--

介護保険在宅医療介護連携推進事業

開始年度	2016 (H28) 年度	終了年度		事業番号	31083	担当部	市民福祉部
会計	47 介護保険特別会計			キーコード	1537	担当課	長寿福祉課
款	03 地域支援事業費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 地域支援事業費			施策	03	高齢者福祉の推進	
目	06 包括的支援事業費			基本事項	01	地域包括ケアシステムの推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内医療及び介護関係者	在宅医療を支える医療及び介護関係者を対象とした研修会の開催や在宅医療及び介護に関する総合相談窓口を設置します。 <研修会概要> ・在宅療養に係る技術研修会 ・対象職種 医師、介護支援専門員（ケアマネジャー）、訪問看護師等 <総合相談窓口> ・名称 須賀川市在宅医療・介護連携拠点センター ・開設場所 須賀川医師会館内 ・開設日 月、水、金 10:00～17:00
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
多職種連携による在宅医療と介護サービスの一体的な提供により、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	研修会開催数	回	2	2	0	
	研修会参加者数	人	146	125	0	
成果指標	研修会等アンケートで在宅医療と介護の連携が図られていると思う在宅医療、介護関係者の割合	%	49.0	90.0	90.3	
特財情報		事業費合計	千円	170	3,053	4,114
包括的支援事業費等国庫交付金 (38.5/100) 包括的支援事業費等県交付金 (19.25/100) 介護保険料 (23/100) 一般会計繰入金 (19.25/100)	事業費	国支出金	千円	66	1,176	1,583
		県支出金	千円	33	588	792
		地方債	千円			0
		その他	千円	71	1,289	1,739
		一般財源	千円			0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	（状況）在宅医療と介護の連携が図られていると思う在宅医療、介護関係者の割合は、90.3%となっており、前年度と比較してほぼ横ばいです。 （原因）平成30年7月に在宅医療と介護に関する相談窓口「須賀川市在宅医療・介護連携拠点センター」を開設したことにより、在宅医療と介護の連携強化が図られたことが要因と考えます。
【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（余地）「須賀川市在宅医療・介護連携拠点センター」は、週3日開設していますが、在宅医療と在宅介護の連携をより強化するため、平日週5日相談できる体制を図ることにより、市民サービス向上の余地があるものと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	令和元年度は、台風第19号被害と新型コロナウイルス感染症への対応の関係で、医療・介護研修会が開催できず、会場使用料や講師謝礼が不用額となりました。また、「在宅医療・介護連携拠点センター」を週5日開設するための協議を須賀川医師会などと進めるとともに、同年度から鏡石町と天栄村と「在宅医療・介護連携拠点センター」を共同で実施する方向で協議を進めました。

◆備考

--

介護保険認知症初期集中支援推進事業

開始年度	2017 (H29) 年度	終了年度		事業番号	31085	担当部	市民福祉部
会計	47 介護保険特別会計			キーコード	1615	担当課	長寿福祉課
款	03 地域支援事業費			政策	02	笑顔で健やかに暮らせるまちづくり	
項	01 地域支援事業費			施策	03	高齢者福祉の推進	
目	06 包括的支援事業費			基本事項	01	地域包括ケアシステムの推進	

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上で、在宅生活しており、かつ認知症が疑われる人 ・認知症で医療・介護サービスを受けていない、または中断している人 	専門医及び医療と介護の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を運営し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的・集中的（概ね6か月）に行い、自立生活のサポートを行います。 <認知症初期集中支援チーム> ・構成 認知症サポート医3名、理学療法士1名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、地域包括支援センター職員4名（計10名）
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
認知症の早期対応により症状進行を遅らせるとともに、必要なサービスにつなげられ、自立した在宅生活が続けられています。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	訪問件数	件	0	3	1	
	ケース会議数	回	0	14	5	
成果指標	支援対象者のうち必要なサービスにつなげられた割合	%	0	100	100	
特財情報		事業費合計	千円	420	1,159	1,002
包括的支援事業費等国庫交付金 (38.5/100) 包括的支援事業費等県交付金 (19.25/100) 包括的支援事業費等繰入金 普通徴収保険料 特別徴収保険料	事業費	国支出金	千円	164	446	386
		県支出金	千円	82	223	194
		地方債	千円			0
		その他	千円	174	490	422
		一般財源	千円			0

◆事業進捗と評価

【成果状況】 <input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 【成果向上余地】 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	（状況）支援対象者のうち必要なサービスにつなげられた割合は100%です。 （原因）医療と介護の専門職で構成する認知症初期集中支援チームの相談窓口を市内4か所の地域包括支援センターに設置し、相談の内容に応じて、具体的な支援を行ったためです。 （余地）市で実施している健康長寿健診受診者のうち、認知症の疑いのある人のデータの提供を受け、チームが該当者宅の訪問をすることで、認知症への早期対応が図られるとともに、必要な支援を行うことにより、自立した在宅生活が続けられるものと考えます。
【活動進捗状況（昨年度）】 <input type="checkbox"/> 一部停滞・遅延	令和元年度は活動開始2年度目でしたが、認知症に関する相談件数が少なく、ケース会議やケース訪問に係る経費が不用額となりました。

◆備考

--

特別会計 名称	後期高齢者医療						
開始年度	2008(H20)年度	終了年度		担当部	市民福祉部	担当課	保険年金課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
被保険者	<ul style="list-style-type: none"> 療養給付費の支払い 被保険者が医療機関で受診した際の自己負担額を除いた額について、福島県後期高齢者医療広域連合を通して医療機関に療養給付費を支払います。 保健事業の実施 各種健康診査や保健指導などを実施することにより、医療費の抑制に努めます。
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> 納付相談の開催 滞納保険料の納付が着実に進むよう、7月と1月の年2回、納付相談を行っています。 納付方法の拡充 納付しやすい環境を整えるため、口座振替を推奨し、コンビニ収納を行っています。
制度が適正に運用され、医療費負担が軽減されることで、いつまでも安心して医療を受けることができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名	単位	年度				
		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)		
活動指標	後期高齢者医療被保険者数	人	10,133	10,265	10,311	
成果指標	一人当たりの医療費	円	856,354	841,597	862,363	
	保険料収納率（現年度分）	%	99.7	99.6	99.6	
決算状況	歳出合計		千円	699,133	733,274	742,050
	歳入内訳	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円			0
		その他	千円	700,324	735,384	744,542
歳入歳出差引差額		千円	1,191	2,110	2,492	

◆事業進捗と評価

（状況）一人当たりの医療費は、前年度と比較して17,880円の増額となりました。また、保険料収納率は、99.6%で前年度と比較して0.2ポイントの増で、事業は順調に進捗しています。

（原因）一人当たりの医療費の増加は、医療の高度化や高価格医薬品の増加などが原因と考えられ、収納率の向上は各種収納対策が功を奏していると考えられます。

（余地）一人当たりの医療費については、ジェネリック医薬品の利用促進や保健事業の実施により抑制に繋がると期待できるため、医療費低減の余地はあると考えられます。収納率は各種収納対策の成果により100%に近い実績となっているため、成果向上の余地は小さいと考えられます。

◆備考

--

特別会計 名称	勢至堂簡易水道事業						
開始年度		終了年度	2019(R1)年度	担当部	上下水道部	担当課	水道施設課

◆事業概要

対象（誰、何に対して働き掛けるのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
勢至堂簡易水道給水区域の地区住民	老朽化施設の整備を実施します。また水道水を供給するための維持管理を行います。 ・水質検査の実施 ・配水池等の管理 ・浄水、配水 ・検針料金徴収の実施 <全体計画> 浄水施設整備工 N=1式 管路工 L=1,143m 2016(H28)年度 事業認可委託（浄水方法の変更） 実施設計委託（管路設計） 2017(H29)年度 実施設計委託（浄水施設整備設計） 配水管布設替工事 2018(H30)年度 浄水処理施設設置工事 2019(R1)年度 事業統合届出書作成業務委託
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
水道施設の整備及び水質検査の実施、配水池等の管理を実施することで、対象地区の住民が安全安心な水道水の供給を受けることができます。	

◆活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名		単位	年度			
			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	
活動指標	施設整備事業費	千円	80,633	50,971	9,234	
	実施した水質検査件数	件	46	46	29	
成果指標	事業進捗率（累計事業費ベース）	%	45.8	76.3	100	
	水質基準等の適合率	%	100	100	100	
決算状況	歳出合計		千円	81,774	52,386	11,291
	歳入内訳	国支出金	千円			0
		県支出金	千円			0
		地方債	千円	80,600	50,900	0
		その他	千円	1,174	1,486	12,331
歳入歳出差引差額		千円	0	0	1,040	

◆事業進捗と評価

（状況）令和元年度は、適正な施設維持管理を行い、水質に問題なく安全安心な水道水を供給しました。また、施設整備においては、年次計画に基づき浄水処理施設設置工事を実施したため、順調に成果が向上しています。
（原因）年次計画に基づき事業を実施できたことが原因と考えます。
（余地）本事業は、令和2年度から企業会計に移行します。

◆備考

--